

授業評価調査報告書

—よりよい授業への改善を目指して—

2011

四條畷学園短期大学

FD 委員会

目次

1. 全体像	2
2. カテゴリー別分析	
① 回答率別	4
② 受講者数別	6
③ 1・2年生、2年生別	9
3. 自己点検報告書	11
付表	
「教員による自己点検報告書」	
一学生による授業アンケート調査結果を受けて	
2011年度前期	
2011年度後期	
《保育学科→ライフデザイン総合学科→介護福祉学科の順》	
別紙	
1. 2011年度前期「授業についてのアンケート」実施要領	
2. 自由記述用紙	
3. 2011年度前期「教員による自己点検報告書」(様式)	
《実施要領、自己点検報告書の内容、様式は後期についても	
実質同じであり、前期分だけを掲載》	

2011 年度前期・後期授業評価アンケート調査報告

2011 年度前期から新しい方式での授業評価アンケート（注1）の実施を再開したが、本報告書では 2011 年度前期および後期のアンケート調査結果の内容を取り上げる。

注1：マークシート方式のアンケートから、携帯電話（補完的に学内のパソコン）を使用してアンケートサイトにアクセスする Web 形式のアンケートに変更した。また、質問項目も大幅に変更したが、新しい質問項目は下記を、更にアンケート実施要領についても巻末に掲載しているので、それぞれ参照されたい。

1. 全体像

全体の結果は下記の表1「授業評価アンケート比較（2011 年度前期～後期）」の通りである。学科ごとにアンケートの質問事項に対してその評価点平均値を示している。授業内容が学科ごとに大きく異なることから、学科ごとに集計し、3 学科全体での集計は意図的に避けている。

表 1 授業評価アンケート比較(2011年度前期～後期)

年度・期	学科	回答率	I			II-A				II-B		II-C	II-A 1～4 平均	II-B 1～2 平均	II-A/ II-B 平均 (*)
			1	2	3	1	2	3	4	1	2				
2011年度 前期	保育	59.0%	0.90	3.66	3.93	3.83	3.82	3.92	3.89	3.94	3.84	3.97	3.86	3.89	3.88
	ライフ	67.2%	1.12	3.81	4.06	4.17	4.16	4.26	4.25	4.27	4.10	4.25	4.21	4.19	4.20
	介護	69.1%	0.78	3.36	3.68	3.98	3.94	3.95	3.93	4.00	3.93	4.04	3.95	3.97	3.96
2011年度 後期	保育	42.0%	1.59	3.68	3.96	4.14	4.14	4.21	4.15	4.19	4.17	4.24	4.16	4.18	4.17
	ライフ	60.4%	1.48	3.87	4.16	4.31	4.24	4.40	4.35	4.37	4.28	4.37	4.33	4.33	4.33
	介護	68.9%	1.06	3.51	3.72	3.90	3.92	4.01	3.92	3.99	3.98	4.17	3.94	3.98	3.96

・数値は授業科目ごとの結果を単純平均したもの。

* II-A 1～4平均とII-B 1～2平均

・授業科目ごとに担当教員に還元しているグラフ入りの結果では平均は項目ごとの平均で

のさらに平均をとったもの

I は学生が授業評価を行うに当たってまず自分自身の受講態度を振り返るために設けた質問項目である。このような導入プロセスを踏むことで授業評価に真摯に取り組む姿勢を助長することを狙ったものである。（注2）

注2：「自己点検報告書」では、一部の教員の間でこの I の点数も学生の授業評価の対象と理解されている向きがあったが、FD 委員会としては、このデータは参考として捉えている。

II が授業評価の中心となるものだが、教員の姿勢（授業の「教え方」）についての質問項目（II-A）と授業の内容（授業の「中身」）についての質問項目（II-B）に大きく分かれる。

次に、新方式のアンケートでは授業全体の総合評価を II-C として独立させている。

質問項目は次の通りである。

授業評価アンケート項目

あなたの授業への取り組み姿勢について評価して下さい。

1. あなたのこの授業の欠席回数を選択して下さい。

0回・1回・2回・3回・4回・5回

2. 授業中に私語、メール、居眠りなどしませんでしたか。

そう思わない（私語などした）・あまりそう思わない ・ どちらでもない ・
ややそう思う ・ そう思う（私語などしなかった）

3. 授業中、勉学に集中していると思いますか。

そう思わない ・ あまりそう思わない ・ どちらでもない ・ ややそう思う ・ そう思う

教員の取り組み姿勢と授業内容について評価して下さい。

A) 教員の姿勢（授業の「教え方」）

1. 教員の話し方は聞きとりやすかった（声の大きさ、スピードなど）。

そう思わない ・ あまりそう思わない ・ どちらでもない ・ ややそう思う ・ そう思う

2. 内容が理解できるように授業が工夫されていた

（テキスト、プリント、板書、スライド、視聴覚教材、実演など）。

そう思わない ・ あまりそう思わない ・ どちらでもない ・ ややそう思う ・ そう思う

3. 教員は、学生の質問や発言に適切に対応していた。

そう思わない ・ あまりそう思わない ・ どちらでもない ・ ややそう思う ・ そう思う

4. 教員は、学生の私語を注意し、勉強しやすい環境を作っていた。

そう思わない ・ あまりそう思わない ・ どちらでもない ・ ややそう思う ・ そう思う

B) 授業の内容（授業の「中身」）

1. シラバスに書かれた授業目標を達成するのに、適した授業内容だった。

そう思わない ・ あまりそう思わない ・ どちらでもない ・ ややそう思う ・ そう思う

2. 授業内容は理解しやすかった。

そう思わない ・ あまりそう思わない ・ どちらでもない ・ ややそう思う ・ そう思う

C) 総合評価

良くなかった ・ あまり良くなかった ・ どちらともいえない ・

やや良かった ・ 良かった

各教員にはこの II-C までの数字が還元されているが、表 1 では II-A の中の項目 1~4 の単純平均および II-B の中の項目 1~2 の単純平均を算出している。授業の教え方と授業の自身とで評価に差がないかを見るためのものである。そして最終的にこの II-A の平均と II-B の平均のさらに単純平均をとったのが II-A/II-B 平均である。この数値と II-C を比較することで、総合評価の数字の出方の傾向を見ようと試みたものである。

尚、表 1 では回答率というデータを提供しているが、これは授業ごとの有効回答数を当該授業の受講者人数（アンケートを行う時点での UNIPA での履修登録人数）で割って得られる百分率の形で示している。主に携帯電話でアンケートを行う方式としていることの副作用としてマークシート方式でのアンケートに比べて回答率の低下が顕著にみられることから、このデータを算出している。履修登録人数には失格者やアンケート実施日に欠席した学生も含まれており、これらの学生にはアンケートを実施していないため、回答率は実際より過小評価される傾向がある。

こうした理解をした上で、表 1 を見ると、学科ごとの数値の高低はあるものの、また同一学科内でも前期と後期とで数字の出方が異なっているが、次のことが共通して言える。

- ① II-A 1~4 平均と II-B 1~2 平均の間には大きな差がない。
- ② 従って II-A/II-B 平均も II-A 1~4 平均と II-B 1~2 と大差ないが、II-C はこれらの数字より大きい（総合評価は高くなる）傾向が見られる。

一方、回答率に注目すると、保育学科（以下、「保育」と略す）、ライフデザイン総合学科（以下、「ライフ」と略す）では、前期に比べ後期は著しく低下している。特に、保育の回答率が低いのが目立つ。介護福祉学科（以下、「介護」と略す）はこれに対して、前・後期でほとんど同じ回答率となっている。

同一学科内でも前期、後期とではカリキュラムが異なり、単純に前期の数字と後期の数字とを比較することには問題がありうるが、保育とライフでは前期に対して後期の方が評価点が上昇している。特に保育の上昇が目立つ。一方介護では、前期・後期で評価点は同一であった。

2. カテゴリー別分析

こうした全体的な傾向を掘り下げて分析するため、次の 3つのカテゴリーに分けてデータを分析してみた。

- ① 回答率別
- ② 受講者数別
- ③ 1・2年生、2年生別

①は回答率を20%刻みで5つの階層に分け、階層ごとの評価点平均値を上記Iと同じ項目について算出した。②は上記Iの回答率を算出する際に用いた受講者数データを利用して、50人以上、30～49人、10～29人、10人未満の4つの階層に分けて同様に平均値を算出した。

③はシラバス記載ベースで2年生しか受講できないものと1,2年生双方が受講できるものとに区分して、それぞれの評価点平均値を同じく算出した。尚、①～③のそれぞれのカテゴリについて階層毎にどれくらいの授業科目が分布しているかを見るため、階層毎の授業科目数とその構成比率も算出してみた。

①の回答率別のカテゴリでは、学科毎に次のことが言える。評価点平均値（以下「評価点」と記述する）は上記のII-A/II-B平均を指す。（下記の表2「回答率別」を参照）

（保育） 全体の評価点は前期が3.88に対して後期は4.17と上昇。

前期 20～40%未満の階層を除いて回答率が下がるほど評価点は高くなる傾向がある。

後期 回答率が下がるにつれて評価点も下がる傾向がある。（前期と逆の現象）

前期・後期を比較すると、回答率が評価点に及ぼす一定の影響は確認できない。同じ回答率の階層を前期・後期で比較した場合、20%未満の授業構成比率の少ない階層以外は後期の方が評価点が高。したがって回答率とは別の要因が評価点の上昇に影響していることが示唆される。

（ライフ） 全体の評価点は前期が4.20に対して後期は4.33と上昇。

前期 回答率と評価点との相関関係は確認できない。

後期 20%未満の階層を除くと回答率が低くなると評価点も下がる傾向がある。

保育と比べ評価点の水準自体が高いが、後期に上昇した主要因は回答率の高い上の二つの階層で評価点が増したことにある。ここでも回答率と評価点の関連は明確ではない。

（介護） 全体の評価は前後期共に3.96で不変。

前期 60～80%未満の真ん中の階層の評価点が高く、これより高い階層、低い階層では評価点がやや低くなる傾向が見られる。

後期 前期と反対に60～80%未満の真ん中の階層で評価点が低く、これより高い階層、低い階層では評価点が高くなっている。

前期・後期を比較すると、回答率の高低で評価点が変わるという説明はしにくいことが分かる。

表 2 回答率別

年度・期	学科	回答率	授業科目数	授業科目数構成比率	I			II-A				II-B		II-C	II-A 1~4 平均	II-B 1~2 平均	II-A/ II-B 平均 (*)
					1	2	3	1	2	3	4	1	2				
2011年度 前期	保育	80%~100%	14	16.3%	1.00	3.46	3.87	3.48	3.53	3.76	3.87	3.62	3.59	3.90	3.74	3.76	3.75
		60%~80%未満	30	34.9%	0.90	3.63	3.94	3.81	3.77	3.92	3.90	3.87	3.80	3.95	3.85	3.84	3.84
		40%~60%未満	25	29.1%	0.89	3.71	3.90	3.95	3.93	4.01	3.95	4.01	3.96	4.07	3.96	3.99	3.97
		20%~40%未満	14	16.3%	0.88	3.64	3.91	3.72	3.81	3.79	3.70	4.00	3.76	3.75	3.75	3.88	3.82
		20%未満	3	3.5%	0.67	4.00	4.20	4.27	4.27	4.27	4.27	4.20	4.27	4.60	4.27	4.23	4.25
		計	86	100.0%													
	ライフ	80%~100%	24	25.8%	1.06	3.80	4.09	4.26	4.24	4.39	4.33	4.34	4.20	4.37	4.31	4.27	4.29
		60%~80%未満	45	48.4%	1.22	3.82	4.00	4.08	4.08	4.21	4.18	4.21	4.01	4.19	4.14	4.11	4.12
		40%~60%未満	16	17.2%	1.00	3.69	4.12	4.22	4.29	4.36	4.34	4.37	4.16	4.22	4.30	4.26	4.28
		20%~40%未満	6	6.5%	1.12	3.93	4.17	4.45	4.14	4.27	4.32	4.21	4.31	4.28	4.29	4.26	4.28
		20%未満	2	2.2%	0.63	4.38	4.38	3.88	4.00	3.13	3.88	4.13	4.00	4.00	3.72	4.06	3.89
		計	93	100.0%													
	介護	80%~100%	6	20.0%	0.67	3.46	3.71	4.03	3.92	3.91	3.90	3.97	3.80	4.04	3.94	3.89	3.91
		60%~80%未満	20	66.7%	0.78	3.25	3.67	3.99	3.95	3.98	3.93	4.03	4.00	4.06	3.96	4.02	3.99
		40%~60%未満	4	13.3%	0.92	3.75	3.72	3.84	3.91	3.86	3.94	3.90	3.78	3.93	3.89	3.84	3.86
		20%~40%未満															
		20%未満															
		計	30	100.0%													
2011年度 後期	保育	80%~100%															
		60%~80%未満	10	12.0%	2.06	3.58	3.98	4.22	4.23	4.32	4.27	4.33	4.35	4.37	4.26	4.34	4.30
		40%~60%未満	33	39.8%	1.63	3.58	3.89	4.13	4.11	4.24	4.20	4.19	4.15	4.21	4.17	4.17	4.17
		20%~40%未満	35	42.2%	1.43	3.79	4.03	4.15	4.18	4.20	4.12	4.18	4.22	4.29	4.16	4.20	4.18
		20%未満	5	6.0%	1.58	3.83	3.93	3.88	3.93	3.82	3.91	4.03	3.58	3.85	3.89	3.81	3.85
		計	83	100.0%													
	ライフ	80%~100%	19	21.1%	1.27	4.10	4.30	4.51	4.48	4.65	4.59	4.63	4.49	4.57	4.56	4.56	4.56
		60%~80%未満	29	32.2%	1.59	3.81	4.17	4.26	4.17	4.39	4.29	4.30	4.23	4.34	4.28	4.27	4.27
		40%~60%未満	30	33.3%	1.50	3.80	4.11	4.24	4.19	4.29	4.27	4.33	4.23	4.32	4.25	4.28	4.26
		20%~40%未満	10	11.1%	1.39	3.67	4.04	4.19	4.12	4.20	4.23	4.21	4.12	4.12	4.19	4.17	4.18
		20%未満	2	2.2%	1.84	4.67	4.00	4.67	4.34	5.00	4.84	4.17	4.67	4.84	4.71	4.42	4.56
		計	90	100.0%													
	介護	80%~100%	3	12.5%	0.97	3.78	3.91	3.95	4.02	4.20	4.12	4.12	4.09	4.35	4.07	4.10	4.09
		60%~80%未満	14	58.3%	1.14	3.51	3.63	3.82	3.87	3.91	3.86	3.87	3.91	4.09	3.86	3.89	3.87
		40%~60%未満	7	29.2%	0.96	3.40	3.82	4.04	3.97	4.12	3.96	4.17	4.07	4.25	4.02	4.12	4.07
		20%~40%未満															
		20%未満															
		計	24	100.0%													

②の受講者数別に見ると学科毎に次のことが言える。(下記の表3「受講者数別」参照)

(保育)

前期 受講者数が少ないほど評価点は上がる傾向がはっきり見える。50人以上の授業科目の評価点は全体の評価点3.88に対して3.72と低い。全体の約30%のクラスがこの階層に入る。

後期 前期と同じ傾向が見られるが、10～29人のクラスでは評価点が50人以上のクラスより良いが、30～49人のクラスの評価点より下がっている。

クラスの大きさ（受講者人数）が評価点と相関が高いことが言える。後期の評価点が前期より良くなった理由は、相対的に評価点の低い50人以上のクラスの比率が後期は前期比減ったことおよび回答率と同様、クラスの大きさ以外の要因が関係している可能性がある。同じクラスのサイズでも後期はいずれの階層も前期より評価点が良くなっている。

(ライフ)

前期 50人以上のクラス（1科目だけ）を除くと受講者数が減るにしたがって評価点が確実に上がっている。ライフでは3分の2強のクラスが10～29人規模となっている。

後期 受講者数が減ると評価点上がる現象がはっきり見られる。後期も3分の2近いクラスが10～29人規模となっている。

前後期を比較すると評価点の上昇原因は50人以上のクラスを除いて評価点がどの階層でも上がったことと、10人未満の少人数のクラス（評価点は4.48と高い）の比率が前期の10%程度から約4分の1に増えたことによる。

(介護)

前期 他の学科と同じく受講者数と評価点とは負の相関関係にある。受講者数が少なくなると評価点は上昇している。介護では10～29人のサイズのクラスが圧倒的に多く約4分の3強を占めている。

後期 前期と全く逆の現象で受講者数が減ると評価点も下がっている。クラスのサイズの構成比率は前期と大きく変わっていない。

前後期共に受講者数の大半を占める階層の評価点は微減であったが、30～49人のクラスの評価点が上がったため全体的には前後期で評価点平均値は不変であった。

表 3 受講者数別

年度・期	学科	受講者数	授業科目数	授業科目数構成比率	回答率	I			II-A				II-B		II-C	II-A 1~4 平均	II-B 1~2 平均	II-A/ II-B 平均 (*)
						1	2	3	1	2	3	4	1	2				
2011年度 前期	保育	50以上	27	31.4%	64.6%	0.63	3.45	3.67	3.65	3.68	3.80	3.74	3.77	3.68	3.79	3.72	3.72	3.72
		30-49	26	30.2%	55.6%	0.87	3.78	4.06	3.91	3.89	3.95	3.87	3.97	3.89	4.01	3.90	3.93	3.92
		10-29	33	38.4%	57.0%	1.14	3.73	4.04	3.91	3.88	3.99	4.03	4.05	3.93	4.08	3.95	3.99	3.97
		10未満																
		計	86	100.0%														
	ライフ	50以上	1	1.1%	69.0%	1.58	3.75	4.18	4.20	4.28	4.20	4.38	4.28	4.30	4.38	4.26	4.29	4.28
		30-49	19	20.4%	72.2%	1.36	3.67	3.79	3.82	3.85	4.06	3.94	4.06	3.83	3.97	3.92	3.94	3.93
		10-29	64	68.8%	65.8%	1.03	3.85	4.12	4.22	4.21	4.29	4.29	4.30	4.14	4.26	4.25	4.22	4.24
		10未満	9	9.7%	66.2%	1.18	3.84	4.20	4.54	4.48	4.49	4.60	4.50	4.40	4.71	4.53	4.45	4.49
		計	93	100.0%														
	介護	50以上																
		30-49	6	20.0%	60.6%	0.89	3.61	3.59	3.72	3.78	3.74	3.72	3.97	3.78	3.86	3.74	3.88	3.81
10-29		23	76.7%	71.2%	0.73	3.33	3.74	4.03	3.98	4.00	3.98	4.01	3.95	4.08	4.00	3.98	3.99	
10未満		1	3.3%	71.4%	1.20	2.40	3.00	4.20	4.00	4.00	4.00	4.00	4.40	4.20	4.05	4.20	4.13	
計		30	100.0%															
2011年度 後期	保育	50以上	9	10.8%	33.4%	1.25	3.82	3.97	4.09	4.11	4.08	4.07	4.04	4.02	4.11	4.09	4.03	4.06
		30-49	45	54.2%	42.4%	1.34	3.72	3.98	4.20	4.19	4.27	4.21	4.23	4.22	4.30	4.22	4.23	4.22
		10-29	29	34.9%	43.1%	2.06	3.59	3.93	4.03	4.06	4.13	4.08	4.17	4.10	4.18	4.07	4.14	4.11
		10未満																
		計	83	100.0%														
	ライフ	50以上	3	3.3%	45.7%	1.61	3.61	3.65	3.89	3.91	4.05	4.03	4.05	3.93	3.98	3.97	3.99	3.98
		30-49	9	10.0%	64.1%	1.59	3.69	4.09	4.01	4.04	4.28	4.18	4.27	4.10	4.23	4.13	4.18	4.16
		10-29	57	63.3%	57.6%	1.43	3.92	4.16	4.29	4.26	4.39	4.34	4.35	4.26	4.35	4.32	4.31	4.31
		10未満	21	23.3%	68.5%	1.56	3.85	4.27	4.53	4.31	4.54	4.50	4.50	4.48	4.53	4.47	4.49	4.48
		計	90	100.0%														
	介護	50以上																
		30-49	3	12.5%	55.8%	1.01	3.31	3.65	4.04	4.10	4.18	4.03	4.21	4.20	4.45	4.09	4.20	4.15
10-29		19	79.2%	70.2%	1.02	3.54	3.75	3.89	3.90	3.98	3.90	3.96	3.97	4.15	3.92	3.97	3.94	
10未満		2	8.3%	77.1%	1.52	3.52	3.52	3.77	3.82	4.04	3.97	3.97	3.65	3.91	3.90	3.81	3.85	
計		24	100.0%															

③の年次別では学科毎に次のことが言える。(下記の表4「1年・2年別比較」参照)

(保育)

前期 2年次のクラスの方が評価点が良い。クラスの構成比では過半数を若干下回る46.5%となっている。

後期 1年次のクラスの方が2年次だけのクラスより評価点が若干高い。2年次のクラスの構成比が53%と前期と逆転している。

全体では前期より後期の評価点が良くなっている理由は、1年次のクラスの評価点が上がったことがあげられるが、同時に2年次のクラスの平均も上昇している。年次別とは異なる要因が影響していることが示唆される。

(ライフ)

前期 1・2年次共に受けられるクラスが80%強を占めているが、評価点では2年次だけのクラスの方が高い。

後期 クラスの構成比率は前期とほとんど同じであったが、1・2年次共に受けられるクラスの評価点は上昇し、2年次だけのクラスは微減となっている。

クラスの構成が圧倒的に1・2年次共に受けられるクラスとなっていることから、2年次だけのクラスの評価点が前後期で余程大きく変わらない限り全体への影響は限定的と言える。

(介護)

前期 1年次のクラスが約57%で、評価点は2年次のクラスより良い。

後期 クラスの構成比率は前期とほぼ同じだが評価点は逆転して2年次のクラスの方が良くなっている。

前後期で評価点が逆転しているが、全体では同じ評価点となっている。したがって介護に関しては1年・2年別の要因は評価点に影響していない。

表4 1年・2年別比較(2年:2年生だけが受講可; 1年:1年生も2年生も受講可—表の欄外の注記参照)

年度・期	学科	年次	授業科目数	授業科目数構成比率	回答率	I			II-A				II-B		II-C	II-A 1~4平均	II-B 1~2平均	II-A/II-B 平均(*)
						1	2	3	1	2	3	4	1	2				
2011年度 前期	保育	1年	46	53.5%	64.0%	0.68	3.65	3.89	3.74	3.77	3.86	3.80	3.84	3.80	3.89	3.79	3.82	3.81
		2年	40	46.5%	53.1%	1.15	3.67	3.97	3.92	3.88	3.99	3.99	4.04	3.89	4.05	3.95	3.96	3.95
		計	86	100.0%														
	ライフ	1年	77	82.8%	65.8%	1.12	3.83	4.06	4.13	4.13	4.22	4.25	4.25	4.09	4.22	4.18	4.17	4.18
		2年	16	17.2%	73.9%	1.14	3.71	4.10	4.37	4.31	4.44	4.26	4.36	4.17	4.39	4.35	4.26	4.30
		計	93	100.0%														
	介護	1年	17	56.7%	71.2%	0.72	3.09	3.69	4.02	4.01	4.02	3.95	4.01	3.98	4.08	4.00	3.99	3.99
		2年	13	43.3%	66.4%	0.85	3.71	3.67	3.92	3.85	3.86	3.91	3.99	3.88	3.98	3.88	3.94	3.91
		計	30	100.0%														
2011年度 後期	保育	1年	39	47.0%	38.0%	1.07	3.82	4.05	4.18	4.17	4.21	4.17	4.16	4.19	4.24	4.18	4.17	4.18
		2年	44	53.0%	45.5%	2.06	3.55	3.88	4.10	4.12	4.21	4.14	4.22	4.14	4.24	4.14	4.18	4.16
		計	83	100.0%														
	ライフ	1年	75	83.3%	60.0%	1.43	3.87	4.17	4.31	4.25	4.40	4.36	4.39	4.30	4.37	4.33	4.35	4.34
		2年	15	16.7%	62.8%	1.71	3.85	4.09	4.29	4.17	4.44	4.29	4.27	4.19	4.36	4.30	4.23	4.26
		計	90	100.0%														
	介護	1年	14	58.3%	75.5%	1.01	3.51	3.67	3.78	3.86	3.90	3.83	3.87	3.95	4.12	3.84	3.91	3.87
		2年	10	41.7%	59.8%	1.14	3.51	3.79	4.07	4.00	4.16	4.05	4.15	4.02	4.24	4.07	4.09	4.08
		計	24	100.0%														

・保育、介護では「1年」の授業は原則1年次生が受講する授業で、1年次で不合格等で単位修得ができていない場合、2年次生も受講。
 ・ライフでは一部の科目を除いて大半が1、2年次生双方が受講可。

上記の三つのカテゴリー別の分析を通して言えることは、クラスのサイズは授業評価にかなり大きな影響力を持っていることであろう。これは常識的にも、クラスのサイズが、

大きくなるほど教員と学生との距離は遠のき、授業の学生へのインパクトが届きにくいことにつながる。教え方としても、学生ひとりひとりが理解しているかを確認することはクラスのサイズが大きくなるほど困難であり、ひいては学生の理解度も低くなりうる。

一方、回答率と評価点との関係は、上記1.中の表1のように全体的な数字を用いると、負の相関関係、すなわち回答率が下降すると評価点は上昇し、逆に回答率が上昇すると評価点は下降する関係があるように見受けられる。授業に興味がないか不満がある場合、回答しない学生が増え回答率が下がることは十分考え得る。この想定では、回答した学生は授業に満足度を比較的多く持ち、従って回答した学生の結果を集計すると評価は上がる傾向が出るはずである。しかしながら、こうした想定を覆しているのが本2.①の分析結果であろう。回答率を一定の率毎の階層に分けて分析すると、回答率と評価点に負の相関関係は確認できなかった。

本2.①、②、③の分析結果の説明の中でも度々ふれたが、前期、後期の授業評価結果の比較を行う際、その差異の原因について数字のデータから割り出せることには限界がある。

従来から授業評価アンケート調査結果の分析は年度単位として前期と後期をひとまとめで行ってきたが、カリキュラムの実態が前期と後期で大きく異なるのであれば、同じ期の間で比較を行う方が意味があるように思われる。この扱いは今後の課題としたい。

最後に、個別の授業科目の評価結果をリストアップすることはできないが、評価点を一定のバンドで分類し階層化したデータは各教員がその担当授業科目の評価を全体と比較する上で参考に資するものと判断し、表5「学科別評価点順」のようにまとめた。

表 5 学科別評価点順

学科	回答率	2011年度前期		2011年度後期	
		授業科目数	授業科目数構成比率	授業科目数	授業科目数構成比率
保育	4.50～5.00	4	4.7%	19	22.9%
	4.25～4.49	13	15.1%	18	21.7%
	4.00～4.24	18	20.9%	19	22.9%
	3.75～3.99	17	19.8%	17	20.5%
	3.50～3.74	19	22.1%	8	9.6%
	3.25～3.49	10	11.6%	1	1.2%
	3.00～3.24	4	4.7%		
	3.00未満	1	1.2%	1	1.2%
計		86	100.0%	83	100.0%
ライフ	4.50～5.00	17	18.3%	37	41.1%
	4.25～4.49	30	32.3%	19	21.1%
	4.00～4.24	21	22.6%	16	17.8%
	3.75～3.99	14	15.1%	7	7.8%
	3.50～3.74	5	5.4%	8	8.9%
	3.25～3.49	5	5.4%	2	2.2%
	3.00～3.24	1	1.1%		
	3.00未満			1	1.1%
計		93	100.0%	90	100.0%
介護	4.50～5.00			1	4.2%
	4.25～4.49	2	6.7%	3	12.5%
	4.00～4.24	13	43.3%	8	33.3%
	3.75～3.99	8	26.7%	7	29.2%
	3.50～3.74	6	20.0%	2	8.3%
	3.25～3.49	1	3.3%	2	8.3%
	3.00～3.24			1	4.2%
	3.00未満				
計		30	100.0%	24	100.0%

3. 自己点検報告書

授業毎に学生によるアンケート評価結果を担当教員に還元しているが、従来通り、この結果に対して担当教員がアンケート結果をレビューし、授業改善に取り組むFD活動の実践を自己点検報告書の作成の形で行っている。新方式でのアンケートへの切り替えと同時に、この自己点検報告書の様式の一部も授業改善の意識向上、また改善を容易にするための道筋の提供を目的として、新たにチェック項目も設けた。この自己点検報告書は従来から全面公開を行ってきたが、新方式の授業評価に移行後もこの慣行を踏襲することをあらかじめ担当教員には断り、協力を得た。前期、後期と分けて、授業科目コード順（保育、ライフ、介護での開講科目順）に以下の通り、この自己点検報告書内容を掲載している。

この自己点検報告書の内容については、授業を担当している各教員のレビューの内容を他の教員も授業改善の参考としてご覧いただくこととして、本報告書ではコメントは差し控えたい。

以上

付表:「教員による自己点検報告書」
—学生による授業アンケート調査結果を受けて—

2011年度前期 保育学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が増えた	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
子ども文化 I (音楽)	淡路和子他	話し方については、学内平均を下回った。タイミング・スピードなど充分気をつけていたが、教室の構造上か、注意散漫な学生も見受けられた。	白紙回答が多かったが、気ぐるみ人形劇に興味を持った、楽しかったという回答もあった。	大教室での授業だが、音楽系なのでマイクを使用できない。私語対策など、今後更に工夫したい。	1	1	1
腹話術 (腹話術)	谷本丹津子	授業内容はよく理解しているように見える	今後の教育実習で試してみたいという記述が多く見られたので期待したい	クラスの人数が多く、個別指導ができていなかったので全体の要求度を高くして強引な進め方をしたのが功を奏した	1	1	1
日本国憲法と人権 (1・2・3組)	曾和信一	全体的に見て、学内平均よりも私の授業平均の方がやや上回っているが、勉学への集中について、それが下回っているという結果になっている。	授業に関して、好意的な意見が多く見られるが、授業内容が難しいという記述も見られた。	授業への集中を高める工夫をしていくとともに、授業内容は深く、その表現は平易さを心掛けていきたいと思う。	1	1	1
日本国憲法と人権 (4・5・6組)	曾和信一	授業内容の理解度だけ、授業平均が学内平均を下回っているといった集計結果になっている。	授業についての否定的な意見はほとんど見られず、前向きに授業に臨んでいることがわかった。	専門的知識を知るだけでなく、その知識を身につけるとともに、活かしていくにはどのようにすればよいのかについて探求していきたいものである。	1	1	1
英語 (英会話A) 1・2・3組	伊藤紀美江	大教室なので、マイクも使い、かなりやさしい内容も板書し、どんな質問にも必ず答えていたつもりだったが、まだまだ努力が足りないことが分かった。	授業の前に毎回洋楽のリスニングをしているが、それをこれからも続けて欲しいという意見が多くあった。またとても分かりやすいと言ってくれた学生もいて、励みになった。	対面式の大教室で50人を相手に語学の授業をするのはある一定以上の学力がある場合なら機能するが、そうでない場合はかなり難しいを実感している。教科書もかなりやさしいものを選んだが、ノートを取ることが難しそうなので、後期からはこちらでノートを作ってプリントにし、そこに簡単な単語から一つずつ書き込めるようにした。作業することで私語がしにくくなり、1回目の授業は前期の後半よりかなりやりやすくなったので、この手順で進めていこうと思う。	1	1	1
英語 (英会話A) 4・5・6組	伊藤紀美江	1, 2, 3組の授業に比べ、クラスのコントロールが難しく、あまり良い結果ではないのも納得がいく。	リスニングを希望する意見もあったが、何度教員が注意しても大声で構わずに話し続ける人がいて勉強に集中できない、という意見が2名あった。	対面式の大教室で50人を相手に語学の授業をするのはある一定以上の学力がある場合なら機能するが、そうでない場合はかなり難しいを実感している。教科書もかなりやさしいものを選んだが、ノートを取ることが難しそうなので、後期からはこちらでノートを作ってプリントにし、そこに簡単な単語から一つずつ書き込めるようにした。作業することで私語がしにくくなり、1回目の授業は前期の後半よりかなりやりやすくなったので、この手順で進めていこうと思う。	1	1	1
スポーツ I (Aクラス)	鎔 功	実技教科なので、多少の私語はあったと思うが、居眠りはなかったと思う。学生からの評価も、よかった。	1眼目から、北条の体育館はきついという意見があった。	特になし			
スポーツ I (Bクラス)	鎔 功	実技教科なので、多少の私語はあったと思うが、居眠りはなかったと思う。学生からの評価も、よかった。	休み時間の間に、着替えて、体育館に行くのは、時間が足りないという意見があった。	特になし			

2011年度前期 保育学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてはではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不足な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
スポーツ I (学保クラス)	鎔 功	実技教科なので、多少の私語はあったと思うが、居眠りはなかったと思う。学生からの評価も、よかった。	自由記述の提出が、なかった。	特になし			
情報基礎 (1・2組)	柳本哲	評価が学内平均よりやや低かった。	不明 あまり記入していなかった様に思うが…	説明の仕方等、もう少し丁寧に大きな声で指導するようになりたい。			
情報基礎 (3・4組)	柳本哲	評価が学内平均よりやや低かった。	不明 あまり記入していなかった様に思うが…	説明の仕方等、もう少し丁寧に大きな声で指導するようになりたい。			
情報基礎 (5・6組)	柳本哲	評価は普通であった。	不明 あまり記入していなかった様に思うが…	特に問題なし。			
保育者キャリア支援演習A (1・2・3組)	石村 哲代 合田 誠	すべての項目に関して、学内平均を下回っており、厳しい結果となった。教授内容が学生に伝わらなかった証左かも知れないが、そのように結論づけるのも早計であると思われる。	特記すべき記述は殆どない。	「保育者キャリア支援演習」の教授内容を再確認しながら、次年度に臨みたい。	1	1	1
保育者キャリア支援演習A (1・2・3組)	石村哲代	今年度から、従来の「保育者基礎演習」を「保育者キャリア支援演習」と名称変更、合田先生と二人で「キャリア支援」を目的とする授業を実施した。授業開始時点での専門職希望者はほぼ100%、石村は、面接に強い、「美しい振る舞いの出来る」美しい保育者の育成を目指した授業を心がけたつもりであるが、学生の満足度は総じて高いとはいえない結果であった。入学後間もない学生には、2年後の就職は未だずっと先の話で、今一つ実感がわきにくかったことへの配慮が足りなかったのかも知れない。	自由記述用紙に記載して提出した学生は、わずか20%程度の7名であった。何れも授業に対する満足感と、将来の就職に向けて頑張る、といった簡単な記述ばかりで、特に参考になるものはなかった。記載なし、が大半を占めた理由としては、本調査が定期試験開始直前に行われたものであるために、学生側に精神的な余裕がなかったということも考えられる。	本授業では、「キャリア支援」のために有効と考えられる様々な取り組みをおこなった。「理事長からのメッセージ」をはじめ、保育・教育の現場の長を招いての職種研究(合田先生担当分)、ご経験豊かな3名の面接担当者による実際の面接体験等である。教員側としては、これらは極めて有効なキャリア支援になるであろうと考えて導入したものであるが、学生の満足度は期待していたほど高くはなかったと感じている。入学間もない新入生対象の「キャリア支援」の在り方については、今回の経験を元に、再構築を図る必要がある。	0	1	1
保育者キャリア支援演習A (4・5・6組)	石村 哲代 合田 誠	本クラスは、「授業への取り組み姿勢」の項目に関しては、学内平均を上回っていたが、他の項目は「私語の注意」以外は学内平均を下回っている。他クラスと同様に授業を展開しているにもかかわらず、評価が分かれることに対して、原因を探る必要がある。	特記すべき記述は殆どない。	「保育者キャリア支援演習」の教授内容を再確認しながら、次年度に臨みたい。	1	1	1
保育者キャリア支援演習A (4・5・6組)	石村哲代	有効回答数は受講者の約半数に過ぎない。定期試験直前に調査を行っているため、全員出席していることは間違いないのだが、50%の協力しか得られなかったということになる。携帯では、確認の方法がないが、気になる点である。これ以外の点については上記に同じ。	クラスによって大差なし。上記に同じ。	上記に同じ。	0	1	1

2011年度前期 保育学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的な改善に取り組む
言葉と表現 I (1・2・3組)	工藤真由美	新カリキュラムになり内容を一新した。学生からの評価が昨年までと少し変わった。厳しさを求めるあまり内容を消化できない学生が増えたように思う。内容をわかりやすく提供できる工夫を検討したい。	全員の記述がみられず、好意的な記載のみでどこまで信用していいのかわからない。	授業の進め方、資料の提示の仕方について、再考したい。	1	1	1
言葉と表現 I (4・5・6組)	工藤真由美	新カリキュラムになり内容を一新した。学生からの評価が昨年までと少し変わった。厳しさを求めるあまり内容を消化できない学生が増えたように思う。内容をわかりやすく提供できる工夫を検討したい。	全員の記述がみられず、好意的な記載のみでどこまで信用していいのかわからない。	授業の進め方、資料の提示の仕方について、再考したい。	1	1	1
音楽 I (Aクラス)	永井美穂他	全ての項目で、5. そう思う6.どちらかといえばの合計がほぼ60%という評価を頂いた。ピアノ初心者にも授業内容を理解していると思われる結果だった。	ピアノの授業が個人レッスンで良かった、という意見が多かった。反面、課題が多すぎると感じている学生もいる。集団授業の声楽は楽しかったようだ。	ピアノ初心者については、自習の手助けになるよう、本学独自の楽譜プリントを配布している。内容が理解しやすいように、丁寧に説明していきたい。中級者以上の学生も、楽譜についての理解が深まるよう工夫したい。	0	1	1
音楽 I (Bクラス)	淡路和子他	どの項目に於いても、学内平均を上回る良い評価を頂いた。教員の取り組み方を理解し、学生が真剣に授業に取り組んだ姿勢が伺われる結果だった。	教員数が多く、個人レッスンの指導が丁寧で満足したという意見が多かった。進むペースが速いという意見も少数みられた。	ピアノは初心者が多いが本学独自の楽譜プリントで自習できるよう、サポートしている。中級者以上の学生も、楽譜についての知識などについての理解が深まるよう工夫したい。	0	1	1
音楽 I (学保)	永井美穂他	学生の授業への取り組み姿勢(自己評価)が、学内平均と比べ、高評価であるのに対し、教員の取り組み姿勢についての評価は全項目について低く、意外な結果だった。	ピアノの課題曲が多すぎる、もっとゆっくり進めてほしいという意見が多かった。	今回の結果を踏まえ、学生は、ピアノや声楽について、既に3年間以上の経験がある。教員への期待度は高く、今後授業内容の検討が必要であると感じた。高校3年間の積み重ねがあるので教員も学生に期待を掛けている面も大きい。	1	1	1
音楽 II (1・2組)	杉田清子他	2.の項目で私語やメールをしていた学生が6割もいたにも関わらず、3.の項目では7割が勉強に集中している、と解答しているので疑問だ。	課題が多いという意見が最も多かったが、それに加えてピアノのレッスン時間を増やしてほしいという意見もあった。	課題の壁にぶつかったままの学生が意外に多い。卒業後の進路を良く話し合った上で課題の重要性をよく理解させ、前向きに取り組めるよう指導していきたい。	0	1	1
音楽 II (3・4組)	淡路和子他	学生の自己評価が高いが、教員の取り組み姿勢に対する評価は学内平均を下回っている。改善の必要性を深く感じた。	声楽の授業は沢山の歌を学べて、楽しかったという意見が多かった。反面、ピアノの授業については、レッスンが分かり易かったという意見はあるものの、概して不満が多かった。レッスン時間が短い、先生によって教え方に差がある、課題が多いなど。	高校の音楽授業と教室を共用している、又授業担当者が共通しているため、休み時間が短く、交代がスムーズに行かない。時間割・担当教員について改善が必要である。	1	1	1
音楽 II (5・6組)	中谷孝平他	教員への評価に対して、学生の意見が二極化しており、担当教員ごとの姿勢の差異を指摘された結果となった。	ピアノの個人レッスンの形態に対して満足しているという意見がある。しかし、一方ではそのレッスンの時間そのものが短いという意見があり、意欲の高さを窺い知ることが出来た。	学生の学習意欲に十分に答え沿えられるように、授業担当教員が学生のニーズに柔軟に対応し、教員相互の姿勢を均一化する必要性を感じた。	1	1	1
図工 I (Aクラス)	香月欣浩	満点とは言えないが学内平均を基準とすると、それ以上の評価なのでほっとしている。	課題が追い付かないという意見もあったがこれは必要なことなので励ましていこうと思う。	まだまだ改善点があると思うので、研究しより良い教育方法を取り入れて行こうと思います。	0	1	1

2011年度前期 保育学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が増えた	授業改善への意識が高まった	授業の具体的な改善に取り組む
図工 I (Bクラス)	香月欣浩	理解しやすい項目がかなり高い結果なのでうれしく思います。言葉を選び、具体的に指導することを意識しています。ただ私語の注意をもっと期待されていると分かりました。	さらに分かりやすく就職しても役に立つ内容にしていけるよう頑張りたいと思います。	まだまだ改善点があると思うので、研究しより良い教育方法を取り入れて行こうと思います。	1	1	1
図工 I (学保クラス)	香月欣浩	「シラバスに書かれた目標を達成するのに適した授業内容だった」の項目の点が低い。何故だか分からないのでもう一度、内容を吟味してみようと思います。	楽しいながらも未来を見据えた厳しさを含めた授業になるようにこれからも意識していこうと思います。	まだまだ改善点があると思うので、研究しより良い教育方法を取り入れて行こうと思います。	0	1	1
生活 I (1・2・3組)	長谷秀揮	教員の取り組み姿勢と授業内容についての評価は、学内平均より若干低い評価だったが、初めて担当させて頂いた科目であり、今後の課題とした。	授業の内容については、飼育や栽培について、実際に実物に触れることの大切さも含めて多くのことが学べた、等の前向きな記述が多数あり、大変励みになった。	学生自身の授業中の勉強への集中度が学内平均より若干上回っており、この授業への学生の意識は高いように思われる。さらに期待に応えられる授業になるよう、工夫改善に努めたい。	1	1	1
生活 I (4・5・6組)	長谷秀揮	総合評価が学内平均より低く、授業平均で3.5に届かなかったことは、重く受け止めた。初めて担当させて頂いた科目であり、行き届かない点も多々あったのではないかとと思われる。	授業の内容については、適当かという設問で評価が高かったが、理解しやすかったかどうか、で評価が低かった。書くことが多い、ノートが大変である、という意見が複数あり、その点との関連が推測される。	視聴覚機器を活用し、分かり易くかつ充実した内容を、考え授業をすすめた、学生の理解面でさらなる配慮が必要であることが判った。板書やノート記述について改善を図りたい。	1	1	1
教育原理 (1・2・3組)	工藤真由美	教科書を変更し、公務員試験にも対応できる力を求めたが、やはり難度が高かったようである。	小テストに実施に対して、頑張る学生からのみいい取り組みという意見が相次いだ、点数の悪い学生からの意見が全く記入されなかったのが残念。	学生に求めるものと、社会に出た時に必要な力と、学生の現状、三点の見極めがきわめて必要と痛感した。	1	1	1
教育原理 (4・5・6組)	工藤真由美	教科書を変更し、公務員試験にも対応できる力を求めたが、やはり難度が高かったようである。	小テストに実施に対して、頑張る学生からのみいい取り組みという意見が相次いだ、点数の悪い学生からの意見が全く記入されなかったのが残念。	学生に求めるものと、社会に出た時に必要な力と、学生の現状、三点の見極めがきわめて必要と痛感した。	1	1	1
保育原理 (1・2・3組)	長谷秀揮	学生自身の授業への取り組みの姿勢が学内平均を上回っており、この授業への関心、意識が高いように思われる。総合評価では、学内平均を少し下回っている、改善していきたい。	授業の内容について、分かりやすく楽しかったという記述が多かった。覚えることが多く大変だった、といった意見もあったが、そのような学生の認識に対する働きかけの必要性を改めて感じた。	保育の現場での事例や、エピソード等を随所に取り入れ、分かり易くかつ充実した授業をと考え工夫してすすめた。教授の内容を減らすことはできないので、さらに工夫改善に努めたい。	1	1	1
保育原理 (4・5・6組)	長谷秀揮	学生自身の授業への取り組みの姿勢が学内平均を上回っており、この授業への関心、意識が高いように思われる。総合評価では、学内平均を下回っている、結果を来年度の授業に活かしたい。	授業の内容については、とても分かりやすかったという記述があり、励みになった。また、保育現場の実際の状況をさらに詳しく聞きたかった、という意見があったのでさらに工夫し改善に努めたい。	保育の現場での事例や、エピソード等を随所に取り入れ、分かり易くかつ充実した授業をと考え工夫してすすめた。評価を踏まえて改善に努め、現場の実際の状況をさらに伝えられるように工夫したい。	1	1	1
発達心理学 I (1・2・3組)	鍛冶谷静	担当者の授業中の印象とある程度合致する結果であった。	静かな授業だったので受けやすかったとの意見が複数あった。	学生の理解力に合わせた授業内容の精選は必要であるが、まずは学生の集中力が高まるような環境づくりの大切さを再認識した。	1	1	1
発達心理学 I (4・5・6組)	鍛冶谷静	上に同じ。学生の自己評価も、ありのままに近い状況をとらえられていると感じた。総合評価の低さは、学生自身の不完全燃焼感？を反映しているのかもしれない。	記述数が少なく、参考にしにくい。	上に同じ。	1	1	1

2011年度前期 保育学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
幼児臨床心理学 (1・2組)	鍛冶谷 静	担当者の授業中の印象とある程度合致する結果であった。	パワポの使用について賛否が半々ぐらい。否定的な意見を参考に、色遣いや文字の分量など改善したい。	臨床的な知識の習得に関しかなり学生は頑張っていてきてくれていたように思う。それが本当に身となっているのが問題で、学生自身がじっくり考えることを助けるような授業展開も考えていく必要があると思った。	1	1	1
幼児臨床心理学 (3・4組)	鍛冶谷 静	有効回答数が極端に低い(約3割)ことをどうとらえるべきか? 積極的とはいえない普段の授業態度と通じる部分であるかもしれない、残念である。	1限目の授業だから遅刻は大目に見てほしい、板書の分量を減らしてほしいといった授業内容とは関係のない記述がほとんどであった。	遅刻なんてもったいないと学生が思うような魅力的な授業内容が求められているのだろう。学生の知的好奇心を喚起できるような工夫が必要か。	1	1	1
幼児臨床心理学 (5・6組)	鍛冶谷 静	他のクラスとくらべて総合評価が低く、理解の項目が特に低い数値となっている。	記述数が少なく、参考にしにくい。	個々の学生の理解度の差がこのクラスでは大きいかもしれない、双方向でのやりとりなども取り入れ、知識・技能の共有ができるような授業を考えていきたい。	1	1	1
小児保健実習(3・4組)	内田クリ子	授業中の私語、勉強集中は平均より下回っている。学生の質問への対応・シラバスの授業内容については、平均を上回っているが、それ以外は平均を下回っている。	授業時間が長い、休憩いらない早く終わって欲しい2~3名。授業は解りやすいもあるが、反面早口、ついていけないが少数あった。	学生の集中度をアップさせるためにも、授業内容の選択と時間配分のメリハリ、演習・実技を工夫したい。	1	1	1
小児保健実習(5・6組)	内田クリ子	授業中の私語、勉強集中は平均より上回っている。授業の工夫以外は、平均を下回っている。	時間がなくなると早口となりわかりづらい。また、授業の進め方が早い。プリントが多いので、教科書中心も嬉しいのだがの意見もあり。	意識はしているつもりだが、早口の傾向あり、学生の理解度、反応を見ながら余裕を持つ。学生を集中させるには、上記同様、メリハリをつけていく。	1	1	1
子どもの保健 I (1・2・3組)	内田クリ子	授業中の私語、勉強集中は平均より下回っている。授業の工夫・適した授業内容及び理解については、平均をやや上回っているが勉強しやすい環境づくり下回っている。	早口、声が聞こえにくかった。ゆっくり話してほしい。プリント・保健解ったもあるが、全体的に分かりにくいもある。	授業の理解度をアップさせるためにも、内容を基礎的なものから、専門用語の押さえ、なるべく具体性を持たせて話すよう工夫したい。気持ち・振る舞いゆとりを意識する。	1	1	1
子どもの保健 I (4・5・6組)	内田クリ子	授業中の私語、勉強集中は平均よりかなり下回っている。教員の取り組み、授業内容すべてが平均より下回っている。厳しい内容である。	授業中周りがうるさいの意見が多い。注意を、また、喋るのをやめさせてから始めての意見もあり。解りやすいもあるが、早口、授業のスピードが速い意見あり。	授業の理解度をアップは上記同様。静かになる連発になりがち、良い環境とはいえない。十分に待つ、興味の内容への工夫を努力する。	1	1	1
小児栄養 I (Aクラス)	石村 哲代	学生の授業への取り組み姿勢も、教員の取り組み姿勢も学内平均を上回っている。本授業は4時限~5時限と、2コマ続きの授業となっていて、学生にとってはかなりの負担であろうと推察しているが、私語対策がある程度功を奏して、総じて静かな環境で授業ができたことはよかった。唯、授業内容の理解については、他の項目に比べて点数が低いので、更なる工夫が必要と考える。	自由記述の提出者は約半数の8名にとどまった。何れも1~2行程度の記述で、特に参考になる内容のものはない。強制できないことが、提出しなくても良い、というムードを助長しているように思われる。	このクラスでは私語対策が功を奏し、学生が自ら評価しているように、授業に集中できたことが、満足度を高める結果につながったものと考えている。今後も学生が授業に集中できるような環境作りと授業内容の改善(わかりやすい授業)に力を入れていきたい。	0	1	1

2011年度前期 保育学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的な改善に取り組む
小児栄養Ⅰ (Bクラス)	石村哲代	有効回収数は受講者の約半数である。非常に賑やかなクラスで私語対策に苦労した。一部の学生に何度も注意を促すことがあり、仲間意識の強い学生の反感をかう結果になったかも知れない。一応、静かさは保たれたが、学生にとっては窮屈な授業であったと推察している。そうした感情を含めた結果と捉えている。	自由記述の提出者は約半数の7名に留まった。真面目で大人しい学生の身方になりたいと、静かな環境づくりに努力したつもりであるが、そのことに対して満足している、という声は聞かれなかった。	今年度は、私語対策として、イエローカードの提出を提案した(教室内では私語禁止。私語は教室の外である)。実際には活用する機会がなかったが、次回にはこれをうまく活用して、友好関係を壊さず静かな環境づくりに努めたいと考えている。	0	1	1
小児栄養Ⅱ (Aクラス)	石村哲代	「小児栄養Ⅰ」での専門的知識の習得に続き、それに基づいた実習中心の授業である。学生自身の取り組み姿勢、教員の取り組み姿勢の全般を通じて、学内平均を大幅に上回った評価である。この結果から明らかのように、同じ「小児栄養」でも、学生は講義や演習中心の「Ⅰ」よりも実習中心の「Ⅱ」の満足度の方が極めて高いといえる。	自由記述の提出者は10名であった。何れも「実習が楽しかった」、「もっと実習がしたい」といった記述で、参考になる内容のものはなかった。	「小児栄養Ⅰ」での私語対策が功を奏して、また好きな実習、ということもあって、総じて相互に気持ちの良い授業を実施することができた。課題の「食育」をテーマとした絵本作りにも熱心に取り組んでくれた。相当ハードな授業内容であるにも関わらず、大半の学生は最後まで良く努力した。今後も学生の期待に応えられるよう、授業内容の改善に努めていく。	1	1	1
小児栄養Ⅱ (Bクラス)	石村哲代	本講では、「私語や居眠りをしない」が4.40、「授業に集中した」が4.73と授業への取り組み姿勢についての自己評価は極めて高かった。教員の取り組み姿勢についても全項目が4.0以上、総合評価は4.60であった。前述のAクラス同様、実習体験への満足度が高いことが明らかな結果であった。	自由記述の提出者は7名、何れも前述のAクラス同様、参考になるような記述はなかった。	前述のAクラスに同じ。	1	1	1
乳児保育 (1・2組)	城野富美代	前期は90分がほとんど講義中心の授業だったこともあり、理解しにくかったのではないかと授業の取り組み方について考えさせられました。	板書が早く消しすぎると言う意見をもらい、大きな文字で書くため、どうしても見やすい中央に書いてしまおうで先に書いたのを消してから次のを書いてしまおうことなどから、右端から書くようにしていきたい。	前期はほとんどが講義中心の授業となったが、後期は視聴覚教材も含めた授業となるので、前期と後期の配分も検討し、いかに90分を楽しく、理解度が増すように努めたい。	1	1	1
乳児保育 (3・4組)	城野富美代	非常に厳しい評価となっていました。教科書の内容全てを詳細に進めたことで、90分という長い時間がとてもしんどく、反対に理解しにくかったのではないかと思える。	話しをしながら板書をするのも多いので、聞かなければいけないし、書かなければいけないといったしんどさもあるかもしれない。板書のあと再度説明はしているのだが、もう少しゆっくりと進めたい。	授業内容の組み立て方を見直す。	1	1	1
乳児保育 (5・6組)	城野富美代	保育現場において最も必要となる授業が、理解できてなかったことに対して授業の進め方を考えさせられました。	手遊びは楽しいといった記述が多く、板書はしんどいと言った意見もあるため、身体を動かすことを組み入れながら、板書の量も考えていきたい。	授業内容を確実なものにするため、毎回、前回は学習した内容を復習してから、次の章に進めていくようにしているが、もう少しゆっくりと理解ができていくかどうかを確認しながら進めていく。	1	1	1
障害児保育 (1・2・3組)	曾和信一	シラバスに書かれた目標の達成に適した授業内容だったかを問う項目だけ、授業平均が学内平均をやや下回っているといった結果が見られた。	授業内容が難しいという意見と授業のスピードがやや早いのではないかとという意見が少数ながら見られた。	授業目標を達成するための授業内容を展開していくには、その内容それ自体の再検討と再吟味が必要であると思われる。	1	1	1

2011年度前期 保育学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的な改善に取り組む
児童福祉 (1・2・3組)	山戸隆也	授業内容が理解しにくい部分があった。幼保一体化を含めた新しい情報をなんとか授業で紹介しようとしたが、説明の仕方や資料の選び方が学生にとっては不適切であったものも少なくなかったと反省している。	声の大きさなどは良かったようであるが、もっと私語を注意してほしいという意見があった。中盤で大声で怒鳴りつけてしまい、自分がいやな気持ちになってしまったので、終盤では遠慮してしまった。しっかり最後まで注意すべきであった。	他の科目の2倍は準備時間をとったが、もっと内容に習熟する努力をすべきであった。また、新しい情報を取り入れることも大事だが、基本を丁寧に教えていくことがもっと大事である。	1	1	1
児童福祉 (4・5・6組)	山戸隆也	もっと「理解しやすさ」を考えて授業をすべきであった。全般に、前半クラスよりは評価が高かった。前半クラスでの反省点を踏まえて後半クラスを教えたことがその理由かもしれない。前半クラスに申し訳ないと思う。	好意的な意見が多かったが、友好的な雰囲気の中で記入されたためであろうし、あてにはできない。良くない点としては、「板書が最初のほうの回で雑な時があった」「少し私語が多かった」などの機受注があったり、反省すべき点も当然あった。	よりいいいでわかりやすい授業を心がけることが必要である。私語の注意も仕方もより効果的に配慮して行いたい。保育政策等の最新情報を発信することよりも、基礎を具体的に説明することにより力を入れたい。	1	1	1
家族援助論 (1・2・3組)	曾和信一	全体的に見て、学内平均と授業平均との間にそれほどの開きが見られないといった結果になっている。	授業内容に即したビデオ鑑賞について、評価的な意見が多く見られた。	全体的に授業平均を高めるために、視聴覚を組み合わせた授業内容に創意工夫を加えていきたいと思う。	1	1	1
家族援助論 (4・5・6組)	曾和信一	授業内容の理解度を問う質問項目について、授業平均がかなり学内平均を下回っているという結果になっている。	少し授業の進むスピードが速いといった意見が複数見られた。	学生の学びたい、わかりたいという欲求を汲みあげていくために、多様な視聴覚機器を必要に応じて使った授業方法を含む授業内容の精査に取り組んでいきたいと思う。	1	1	1
社会福祉 (1・2・3組)	合田 誠	学生及び教員の評価項目がすべて学内平均を上回っていることに、担当者としては一応満足している。しかしながら、肝心なことは学生が修得した知識を実践に結びつけられるかが、次の課題となる。	取り立てて、特記すべき指摘内容はなかった。記入内容のほとんどが「授業が分かりやすかった。」との記述であったが、一部「授業内容が難しかった。」と素直に記述してくれた学生もあった。	言うまでもなく、保育士という国家資格を認定するためには、専門知識と技術の修得が大前提となる。年々学力的に厳しい学生が見られるようになり、教授方法が比例して難しくなっている。最低限のレベルは維持するための工夫を常に考えていきたい。	1	1	1
社会福祉 (4・5・6組)	合田 誠	シラバス内容の項目以外は、すべて学内平均を上回っていたことについては満足している。しかしながら、他クラスとほぼ同様の内容で授業を実施しているにもかかわらず、評価は、本クラスは若干低い。一方で、他クラスより高い評価をもらった項目に「私語の注意」があり、他科目の授業との関連性もあるかも知れない。	特記すべき記述内容としては、「スライドを使用した方が良いと思う。」との記述が1名あった。他は「分かりやすい。」の記述を中心に、一部「難しい。」という内容であった。	自由記述にあった「スライド使用」に関してだが、確かに授業内容は「社会福祉」全体を広く浅く解説しているため、毎回の授業内容は大変多様な展開となっている。テキスト、プリント及び関連視聴覚教材を使用し、これらの内容を板書してもらっている。担当者としては、学習の基本である「読み・書き」を徹底させる目的もあるので、板書をしてもらっているが、次年度から、記述するのが難しい箇所に限っては「パワーポイント」等の活用を検討したい。	1	1	1
社会福祉 援助技術 (1・2組)	合田 誠	学生の「授業への取り組み姿勢」が学内平均より低く、授業に集中できていなかった実態が浮かび上がった。教員に対する評価は学内平均よりすべて、良い評価が得られた。	グループ・個人発表を経験してもらい、発表に至る大変さ等が経験できたとの感想があり、ひとつのねらいを理解してもらえたようであった。他は、援助方法としての「社会保険」に関する内容教授を力説したこともあり、将来に役立つと記述している学生もあった。しかしながら、反対に内容が理解に至らず、「難しい。」との感想になっている学生もいた。	保育者として、専門職者として有すべき、知識と技術の効果的な修得に関して、さらに考えていきたい。	1	1	1

2011年度前期 保育学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてはではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が増えた	授業改善への意識が高まった	授業の具体的な改善に取り組む
社会福祉援助技術(3・4組)	合田 誠	学生の「私語、メール、居眠り」に関する項目以外は、学内平均を上回っていた。総合評価に関しては高い評価となっている。	全体に高い評価ももっているにもかかわらず、記述内容に目立ったのが、「難しい。」や「テストは持ち込みしてほしい。」などがあり、理解に苦しむ面がある。	保育者として、専門職者として有すべき、知識と技術の効果的な修得に関して、さらに考えていきたい。	1	1	1
社会福祉援助技術(5・6組)	合田 誠	学生の授業への取り組み姿勢は学内平均を上回っていたが、教員の授業内容に関しては学内平均を下回っていた。ただ、総合評価に関しては学内平均を上回っていた。	記述に関しては、教員の授業評価に反して、「分かりやすい。」や「難しかったがためになった。」との記述が多かったのは、授業評価の結果と矛盾している点も感じられた。しかし、「授業内容が難しい。」と記述する学生もあった。	保育者として、専門職者として有すべき、知識と技術の効果的な修得に関して、さらに考えていきたい。	1	1	1
保育内容総論(1・2・3組)	伊東美栄子	授業内容の理解が学内平均を下回っていた。	授業中の声が後ろの席まで聞こえなかった、板書が小さく見にくいとの意見があった。	授業の理解度が悪い、資料を基礎的なものに変更し、理解度アップに努め、授業中はマイクを使用し、板書も大きくして見やすいようにする。	1	1	1
保育内容総論(4・5・6組)	伊東美栄子	授業内容の理解が学内平均を下回っていた。	少数だが「楽しかった、やかましいときもあるが、頑張ってください。」と前向きな姿勢で授業を受けている学生に対して迷惑がわからないよう、より私語を注意していく	授業の理解度が悪い、資料を基礎的なものに変更し、理解度アップに努め、授業中はマイクを使用し、板書も大きくして見やすいようにする。	1	1	1
保育内容演習(言葉・人間関係)1・2・3組	城野富美代	学内平均を下回り、授業内容はあまり理解できていないといった結果となっていた。教本を使用しないで、保育所保育指針及び教育要領を中心とし、ワークショップ形式で、実際に体験しながら授業を進めたのだが、50人のクラスだと、なかなか隅々まで、目が行き届いていなかったようです。	楽しかったと言った意見も多かったのだが、結果的には理解ができていなかったということである。	教本を使いながら、演習をするなど、授業の指導方法を見直したい。	1	1	1
保育内容演習(言葉・人間関係)4・5・6組	城野富美代	プリント、板書、ビデオ、ワークショップ等で演習を実践したが、理解しにくかったようで評価も伸びていない。	楽しかったという意見と、とても勉強になったという意見があるので、全員への問いかけをしながら、理解力を高めていけるように努める。うるさかったという意見もあり、50人だと注意してもなかなか静かに聞かれない学生もいることから、今後はマイクの使用も考えたい。	教本を使いながら、演習をするなど、授業の指導方法を見直したい。	1	1	1
保育内容演習(環境・健康)1・2・3組	美越芳枝	授業の「教え方」・「中身」共に学内の平均を下回っていたことに対して、授業の進め方等について、学生たちの理解度を考慮しながら、課題を達成していく方法を検討していく必要がある。	・板書が追いつかないという意見が少数あった。 ・理解しやすかったという意見もあった。	授業の内容については、基礎的なものを重点的におこない、理解度に合わせて進めていく。	1	1	1
保育内容演習(環境・健康)4・5・6組	美越芳枝	授業の「教え方」・「中身」共に学内の平均を下回っていたことに対して、(上記よりは上回っていたが)授業の進め方等について、学生たちの理解度を考慮しながら、課題を達成していく方法を検討していく必要がある。	・理解しやすかったという意見もあった。 ・プリントの罫線が狭すぎるといった意見が少数あった。	授業の内容については、基礎的なものを重点的におこない、理解度に合わせて進めていく。	1	1	1

2011年度前期 保育学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的な改善に取り組む
保育内容表現Ⅰ (音楽) 1・2組	野秋未紗他	全体的に学内平均を下回っている。	毎回宿題が出て、内容が難しいという意見が多かったが、わからないことが理解でき、作曲が楽しかったという意見もあった。	どの学生にも理解しやすい説明を心掛ける。	1	1	1
保育内容表現Ⅰ (音楽) 3・4組	麴谷さつき 他	全体的に学内平均を下回っており、改善が必要だと思われる。	毎回宿題が多く、内容が難しいという意見が多かった。	基礎的な楽典の説明から、作曲の初歩、伴奏付けまで、ピアノ初心者にも理解しやすい説明を心掛けた。	1	1	1
保育内容表現Ⅰ (音楽) 5・6組	島長恵美他	学生の授業への取り組み姿勢は、学内平均を上回っていました。教員に対する総合評価は、ほぼ学内平均と同じくらいでしたが、授業の「教え方」や「中身」では学内平均を下回っていました。自由記述にもありますが、毎週の課題(楽譜の書き方や作曲など)を負担に思った学生が多かったようです。教える側としても、課題を進めることに重きを置きがちで、全員がかりかいてできるまで説明する時間的余裕が少なかったかもしれません。またⅡA)4の『私語』についても、勉強しやすい環境作りの為、常に心がけなければならぬと思っています。	1でも少しふれましたが、毎週の課題を「むずかしい」と感じた学生が多かったようです。記譜の基礎、伴奏付け、簡単な作曲など、卒業発表やのちに保育者として必要になるであろうことを中心に課題を出したつもりですが、特にピアノが初心者の学生には、少し難しく感じられたのかもしれない。課題の説明にかける時間がもう少したくさんとれるよう、課題の内容を今一度考察することも必要かもしれません。一方、音楽劇にも取り組みましたが、それについては楽しく有意義に取り組めたと感じた学生も多かったようです。後期の卒業発表の準備を前期の早い内に準備をしておきたいという意見があったので、今後の参考にしたいと思います。	授業の理解度が悪いので、時間をかけて説明が必要があると思いました。	1	1	1
保育内容表現Ⅱ(造形) 1・2組	香月欣浩	居眠りはいなかったが、この調査結果で携帯をしていること、集中できていないということが分かった。	課題が多くて大変だったのは授業中の学生の態度からもわかっていた。しかし実習から帰ってきて「あの課題をやっていた良かったです」という学生の声を聞いたので安心しました。	時間が少ないことは行っても仕方がないので、限られた時間の中で有効な授業を展開していきたい。	1	1	1
保育内容表現Ⅱ(造形) 3・4組	香月欣浩	授業内容の評価が良く安心した。	さらに分かりやすく就職しても役に立つ内容にしていけるよう頑張りたいと思います。	油断せず、何がうまくいったから結果良かったのか考えていきたいです。	1	1	1
保育内容表現Ⅱ(造形) 5・6組	香月欣浩	教員の取り組み姿勢と授業内容の評価が低くて驚いた。クラスの雰囲気を出すと学生と教師の関係が左右すると感じた。	コミュニケーションの少なさが授業やり取りに大きく影響していることが分かった。	学生から盛り上がらないクラスの雰囲気を盛り上げていくのは教師の力だ。工夫していきたい。	1	1	1
保育内容表現Ⅲ(身体) 1・2組	谷玲子	学生からは、平均以上の評価をいただいています。実技ですので比較はむづかしいと思います。特に3・4組からは全員がそう思うと答え、100%になるのは意外でした。	楽しかったという記述がありました。今後実習などで役立ててもらえたら幸いです。	清風校舎から北条校舎まで歩き5階まで階段でやるのはたいへんです。実技ですので60分ほとんど動くのはとてもきついと思います。また、90分授業ですが、移動時間と着替えを入れるとしっかり授業ができずに困っています。	0	0	0

2011年度前期 保育学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてはではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的な改善に取り組む
保育内容表現Ⅲ(身体)3・4組	谷玲子	同上	同上	同上	1	0	0
保育内容表現Ⅲ(身体)5・6組	谷玲子	同上	同上	同上	0	0	0
教育相談(1・2組)	森石加世子		学生から予想以上により評価を頂いた。	さらに授業内容が理解しやすいように工夫したいと考えている。	1	1	1
教育相談(3・4組)	森石加世子		学生から予想以上により評価を頂いた。	さらに授業内容が理解しやすいように工夫したいと考えている。	1	1	1
教育相談(5・6組)	森石加世子		学生から予想以上により評価を頂いた。	さらに授業内容が理解しやすいように工夫したいと考えている。	1	1	1
総合演習(1・2組)	伊東美栄子	0.5コマの担当をさせていただきました。授業時間が午後だったので疲れが出た学生が多かったと思います	体育授業の後で疲れがピークになっていたとの意見が少数あった。	授業の理解がより分かりやすくするために、実践事例を増やして具体的に説明し、理解度アップに努めます。	1	1	1
総合演習(1・2組)	伊東美栄子 合田 誠	学生の授業への取り組みのなかで、「私語、メール、居眠り」の項目が学内平均より、かなり低い。この理由のひとつとして、体育の授業が北条学舎であり、その直後の授業であったため、きつかったと自由記述に散見された。	毎回、課題(宿題)を前週に与え、翌週にそれを活用した学習・演習を実施したが、この方式が勉強になったという記述もあれば、反対に、この作業が大変だったとの記述もみられた。また、1名だけ「途中で教員が変わるやり方に対して、戸惑いが大きい。」と記述していた。	この総合表現は、4名の教員がそれぞれの専門分野の学習を演習方式で進める内容となっている関係で、「狭く・浅く」の学習とらざるを得ない面がある。7回という授業枠内で、学習効果を上げる方法をさらに検討したい。	1	1	1
総合演習(3・4組)	伊東美栄子	0.5コマの担当をさせていただきました。授業時間が午後だったので疲れが出た学生が多かったと思います	板書が多かったとの少数意見があった。	授業の理解がより分かりやすくするために、実践事例を増やして具体的に説明し、理解度アップに努めます。	1	1	1
総合演習(3・4組)	伊東美栄子 合田 誠	すべての項目において、学内平均を大きく上回った。各項目に関してのコメントはとくにないが、この評価は素直に喜ぶたい。	自由記述に関しては、「ロールプレイ」を経験でき、学習意欲が高められた記述や、将来現場に就職した際の参考になったなど、殆どが肯定的な記述であった。限られた時間ではあったが、このような感想をもってもらい、担当者としてのねらいが達成出来ており、満足した。	この総合表現は、4名の教員がそれぞれの専門分野の学習を演習方式で進める内容となっている関係で、「狭く・浅く」の学習とらざるを得ない面がある。7回という授業枠内で、学習効果を上げる方法をさらに検討したい。	1	1	1
総合演習(5・6組)	伊東美栄子	0.5コマの担当をさせていただきました。授業時間が午後だったので疲れが出た学生が多かったと思います	板書が多かったとの少数意見があった。	授業の理解がより分かりやすくするために、実践事例を増やして具体的に説明し、理解度アップに努めます。	1	1	1
総合演習(5・6組)	伊東美栄子 合田 誠	各項目で、学内平均を下回った項目もあれば、上回る項目もあるが、双方の大きな開きはなく、担当者としてのコメントはとくにない。	自由記述に関して、特記すべき記述はない。	この総合表現は、4名の教員がそれぞれの専門分野の学習を演習方式で進める内容となっている関係で、「狭く・浅く」の学習とらざるを得ない面がある。7回という授業枠内で、学習効果を上げる方法をさらに検討したい。	1	1	1

2011年度前期 保育学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不足な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
保育実習指導(1・2・3組)	合田 誠	教員の取り組み姿勢の中で、話の聞き取りやすさについての評価が、他の項目より若干低い評価だったので、改善に努めたい。また総合評価も学内平均より少し低い評価であったので、来年度に活かしたい。	教員の対応がとてもよかった、という記述があり、とても励みになった。保育日誌の視写や漢字の書き取りについて、大変だった、等の意見があり、書くことの苦手な学生像が一層明確になった。	保育園での事例、エピソード等を活用し現場の様子を伝えながら授業をすすめたが、書くことの苦手な学生に対する指導の難しさを感じる。評価を踏まえ試行錯誤しながら工夫改善に努めたい。	1	1	1
保育実習指導(4・5・6組)	合田 誠	教員の取り組み姿勢の中で、質問や発言への対応についての評価が、他の項目より若干低い評価だったので、改善に努めたい。また総合評価も学内平均より少し低い評価であったので、今後の課題としたい。	板書をノートしていて、説明や解説と重複してわかりずらかったとの記述があった。時間を割いて、無理なくノートできるように配慮しているが、さらに時間をしっかりと確保するように心がけ、改善に努めたい。	保育園での事例や、エピソード等を紹介し、現場の様子を伝えながら授業をすすめたが、ノートすることの大切さ等の指導の必要性を感じた。評価を踏まえて試行錯誤しながら改善に努めていきたい。	1	1	1

2011年度前期 ライフデザイン総合学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的な改善に取り組む
くらしの マナー (に)	富森盛史・ 奥田玲子	アンケート項目によっては学内平均よりやや下回った項目があり、授業展開の工夫が必要と考えている。	「よく理解できた」という記述と、厳しい意見の両方があり、授業展開の難しさを痛感している。	授業者相互の連携をより密にするとともに、授業の進め方などを再考し、機器の活用を図って理解度の向上に努めたい。	1	1	1
くらしの マナー (い)	富森盛史・ 奥田玲子	各項目とも学内平均を上回っており、指導内容が十分理解されていると思われる。	「よく理解できた」という記述と、厳しい意見の両方があり、授業展開の難しさを痛感している。	授業者相互の連携をより密にするとともに、機器の活用を図って理解度の向上に努めたい。	1	1	1
くらしの マナー (ろ)	奥田玲子	学生からはどの項目も高い評価を頂き予想以上であった。興味を持って受講し、よく理解されたようで嬉しく思う。	初めて知る内容、役に立つ内容が多く興味をもって受講していた。部分的にビデオを取り入れたことで、より具体的に内容を伝えることができ、理解度が高まった。	どの項目も高い評価をいただき改善点は特にない。	0	0	0
くらしの マナー (は)	奥田玲子	全ての項目において、同じ授業の(ろ)組より、評価点が低い結果であった。	初めて知る内容、役に立つ内容が多く興味をもって受講していた。部分的にビデオを取り入れたことで、より具体的に内容を伝えることができ、理解度が高まった。	評価点が全体的に低い原因は学生の私語による集中度の低下が主ではあるが、これらの項目も平均点を上回っている。学生の質や学力に合わせて私語対策と話し方に工夫が必要とは思いますが、改善が必要とまでは感じられない。	0	0	0
日本語 表現法 (に)	富森盛史	授業を受けていた学生数に比して有効回答数が少なく、受講者全体の評価が得られず残念に思う。ほぼ予想していた評価ではあるが、授業の目的が十分に浸透していないことは反省点として改善したい。	毎回、授業プリントを用意していることは好意的に受け止められているようである。	社会人となるに必要な内容であることを理解させるとともに、より興味もてる教材を精選して理解度の向上に努めたい。	1	1	1
日本語 表現法 (は)	富森盛史	学内平均よりもやや高い評価結果は、担当者の意図が伝わったものと理解している。授業内容によっては興味を抱かないと思われる分野もあるが、さらに工夫したい。	授業プリントの配布は、内容がよく理解できるようである。板書が多すぎる、との意見もあった。	より興味・関心を抱くことができる内容を精選して、わかりやすい授業展開に努めたい。	1	1	1
英語 (英会話A) (い)	奥田 純	前期の英語の必修クラスは入学直後のテスト(英検3~4級レベル)の成績順に編成しているが、この「い」のクラスが一番成績の良かったクラス。そのため授業はやりやすく、評価も全学平均を上回り、まずまずだったが、学生の満足度は受講態度でうかがえるほどよくなかったのかと受けとめている。	約半数の学生が自由記述を寄せてくれたが、その大半は、英語の基礎的な内容を学習できよかったというものであった。ただ、一部、プリントに書くのが面倒だったとのコメントがあった。	「い」のクラスでも、左記のクラス編成用テストでかなり成績の良かった3分の1位の学生にはやや単調な授業だったのかもしれない、アクティビティーをもっと入れた授業展開を考え、うまく導入することが課題。	1	1	1
英語 (英会話A) (ろ)	奥田 純	この英語のクラスは上記のクラス編成上は2番目に出来の良いクラス。教科書は「い」と同じものを用い、同じ教え方をしたが、学生の評価はこの「ろ」の方がかなり良い結果となった。学生の授業への集中度は決して高いものではなかったため、評価結果はやや驚きである。	短いコメントだが大半の学生が自由記述を寄せてくれた。一部に英語は難しいというコメントもあったが、分かりやすかったというコメントが圧倒的に多かった。	上記の「い」のクラスの成績の上位以下とこの「ろ」のクラスの学生の英語の力はほぼ同水準で、教科書のレベルはマッチしている。できればもう少し、テンポを早くし、英語の学習内容のレベルアップも図りたい。	1	1	1

2011年度前期 ライフデザイン総合学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
英語 (英会話A) (は)	奥田 純	英語のクラスとしては3番目で、英語の力は「ろ」に比べるとやや厳しくなるので、教科書もワンランク下のレベルのものを採用。評価としては、「ろ」とほぼ同くらい良い評価であった。ただ、「ろ」に比べ、アンケートへの回答率が3分の2とやや低い水準であった。授業に不満のあった学生がアンケートに協力してくれなかった可能性がある。	このクラスでは自由記述をしてくれた学生が極めて少なかった。書いてくれた学生は、英語のレベルは低かったが基礎が勉強でき良かった、テストでの持ち込み可としたのが良かった、等のコメントであった。	「は」のクラスの学生は基本的に英語へのアレルギーが強く、授業時の手ごたえも芳しいとは言えない。ただ、教科書のレベルは合っており、クラスが余りうるさくならない程度に、学生同士での会話の練習を取り入れることも考えたい。	1	1	1
英語 (英会話A) (に)	奥田 純	一番成績の悪い学生のクラスで、評価は学内平均も下回り、他の3クラスと比べかなり低い水準であった。授業中は「は」より積極的な学生もいて、教えやすい印象だったが、授業に参加できていない学生もいて、アンケートの回答率も50%を切る結果であった。	「は」に比べると自由記述をしてくれた学生は多く、アンケートに回答した学生の大半はコメントを書いてくれる。分かりやすかったという意見もあったが、難しい、プリントではなくノート方式の方がよいといった注文もあった。	「に」は「は」と同じ教科書を使ったが、それでも難しいと思える学生がいる。これ以上やさしいテキストは探していくので、進度を落として、中身の理解のため反復練習や簡単なドリル式学習を増やしたい。	1	1	1
情報基礎 (ろ・は)	孫一	学内平均を下回った結果となっている。集中力、私語などについての対策が不十分と言える。授業内容に関しては、授業目的がほぼ達成したと思うが、分かりやすくするための工夫がさらに必要と考える。	授業に分かりづらい時がある、ハワポアのスライドを見せるとき、メモをするかしないかの明確な指示がなかった。などの意見があった。	授業内容をもっと分かりやすく説明すべき。授業中使うスライドをメモしてもらうことで、集中力アップにもつながると考える。そして、私語に対して、強く指導すべき	1	1	1
情報基礎 (い・に)	孫一	学内平均を下回った結果となっている。集中力、私語などについての対策が不十分と言える。授業内容に関しては、授業目的がほぼ達成したと思うが、分かりやすくするための工夫がさらに必要と考える。	私語に対する態度がゆるい。スライドの切り替えスピードが速すぎる。などの意見があった。	授業内容をもっと分かりやすく説明すべき。授業中使うスライドをメモしてもらうことで、集中力アップにもつながると考える。そして、私語に対して、強く指導すべき	1	1	1
情報倫理 (水)	大野麻子	今期は板書を殆どせず、学生に自分で考えてまとめさせるという試みを行った。その分口頭での説明で重要ポイントを明確にすることを心がけた。説明の聞き取り易さと教授法について良い評価が得られたことからこの試みの有効性を確認できた。	ためになった内容を詳しく挙げたものが複数あった。「動画やゲームの併用でより理解が深まった」「説明の仕方や演習中の個別指導が良かった」という声が多かった。少数だが「板書があった方がよい」という意見も見られた。	教授法については今後もこのような試みを積極的に取り入れ、効果を検証していきたい。「授業への集中」についての学生の自己評価が低かったため、対策を検討したい。	1	1	1
情報倫理 (木)	大野麻子	今期は板書を殆どせず、学生に自分で考えてまとめさせるという試みを行った。その分口頭での説明で重要ポイントを明確にすることを心がけた。説明の聞き取り易さと授業内容の理解しやすさについての評価が低かった。	「わかりやすかった」という意見が多数であったが「説明が速かった」「どこをメモしたらいいかわからない時があった」という意見もあった。「授業で学んだことを活かしていきたい」との意見もあった。	木3の「情報倫理」は水3の2/3程の履修者数であるが、授業の理解度については低いことが日頃の授業でも感じられた。今後も学生の「考える力」を伸ばす教授法を試していきたいが、学生の理解度や要望に柔軟に対応し満足度を高めたい。	1	1	1
自分探しの心理学(月)	北村瑞穂	全ての項目において、学内平均を上回った。	ほとんどが真面目な学生で、まずまずよい雰囲気での授業ができた。しかし、一部の学生が何度注意しても私語をやめず、真面目な学生から「うるさかった」というコメントがあった。	初回授業で、携帯電話を使用して、学生に「授業妨害をしません」または「この授業を履修しません」の選択肢のどちらかを選ばせるということをした。効果はある程度あったと思う。後期もこれを継続したい。	1	1	1

2011年度前期 ライフデザイン総合学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的な改善に取り組む
自分探しの心理学(木)	北村瑞穂	全ての項目において、学内平均を上回った。しかし「あなたの授業への取り組み姿勢」の点数が低めだった。	「楽しかった」「わかりやすかった」という好意的なコメントが多かったが、「もっと楽しい内容だと思っていた」というコメントが1つあった。しかし、指摘が曖昧で、どこが面白くなかったかは分らない。	初回授業で、携帯電話を使用して、学生に「授業妨害をしません」または「この授業を履修しません」の選択肢のどちらかを選ばせるということをした。効果はある程度あったと思う。後期もこれを継続したい。楽しい授業内容についても検討したい。	0	1	1
スポーツ I	新野弘美	いい評価をいただきました。2年生がよい雰囲気をつくり、出席した全員が楽しみながら運動が実施出来ていたと思います。	学年を超えて、楽しく運動が出来たという意見が多かったです。	スポーツⅡもⅠに引き続き、履修をしている学生も多く、前期の内容にプラスして新しい情報提供や実技種目の実施を予定しております。	1	1	1
くらしとパソコン(ろ)	岡本久仁子	ほとんどの評価が平均を上回っていたので、まあまあ評価をもらったようである。	回答した学生はあまり多くなかったが、入力練習や内容についてよい評価をもらった。	授業の内容について、理解できたかどうか「どちらでもない」という評価を減らすべく、教材など工夫していきたい。	0	0	0
くらしとパソコン(い)	岡本久仁子	ほとんどの評価が平均を上回っていたので、まあまあ評価をもらったようである。	コンピュータが苦手な学生も得意な学生からも一定の評価をもらった。毎回配布しているプリントがよかったとのことだった。	授業の内容について、理解できたかどうか「どちらでもない」という評価を減らすべく、教材など工夫していきたい。	0	0	0
くらしとパソコン(に)	渡邊伸樹	学生からは予想以上によい評価を頂いた。さらに改善する点もある。	特になし。	身近に役にたつことをさらに採り入れるとよいかもしれない。	1	1	1
くらしとパソコン(は)	渡邊伸樹	学生からは予想以上によい評価を頂いた。さらに改善する点もある。	特になし。	身近に役にたつことをさらに採り入れるとよいかもしれない。	1	1	1
ファッションコーディネート演習	中野恭子	学生から予想以上によい評価を頂き、授業内容の理解も学内平均を上回っていた。学生は講義より、マップを作成しながら、講師に質問して学ぶ方法が適していた。	イメージマップは心の奥にあるライフスタイルへの希望や、言葉で語れない感性やテイストを表現できるので、自己カウンセラー的役割があり、自ら発見し、自己を育む効果がある。学生は集中力を持って、熱心に取り組んだので、優秀な作品を完成させるばかりでなく、満足感と自信を獲得した。	授業への取り組みが熱心で、マップ作成の進度の早い学生には、内容をさらに高度なものに変更する必要がある。この講義では講師の価値観を押し付けるのではなく、学生各自が自ら成長する意欲と方法を身につけるようアドバイスする姿勢を心がけたい。	1	1	1
ファッションビジネス	中野恭子	学生からは予想以上によい評価を頂き、授業内容の理解も学内平均を上回っていた。ほとんどの学生は皆勤で、熱心な授業態度であり、前期試験も多くの学生が好成績であった。	3級受験にも1年間の講義が必要であるが、後期が無くなり、前期につめこんだので、書く時間と聞く時間を持てるように、進度にゆとりをほしいとの意見があった。すると、受験内容の半分しか講義できなくなるので、意欲のある学生にとって不利になるのではと懸念する。	授業の理解度を上げるため、内容の精査に努めるが、単位取得のみを求める学生と検定試験受験を目的とする学生の格差が大きく、受講者が多く、かつ、合格者も出ずには通年で授業の進度をゆるやかにしたい。	1	1	1
メイクアップ(ネイルアート・演習含む)	渡辺千裕	学生からの評価は良い評価を頂いた。	満足してもらえている様子が伝わってきた。	この結果をふまえてさらに次へのステップアップにつなげるよう授業内容が充実するよう努力していきたいと思っています。	1	1	1

2011年度前期 ライフデザイン総合学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的な改善に取り組む
トータルビューティ演習 (エアロビクス含む)	新野弘美	学生さんからは、良いとは言えない(学内平均より低い)、評価をいただきました。少人数で、細やかに対応したつもりでしたが、反省です。	楽しくエクササイズが出来たという意見が、ほとんどでした。	今回いただいた評価を参考に、シラバスに提示した目標に向けて、全項目の改善をはかりたい。	1	1	1
ブライダル総論 I	小野清和	授業姿勢は平均値より高くそれだけ興味のある分野を受講していると思われる。授業姿勢は特に厳しく、勉強する内容も多く、ノートを取る事に終始追われる状況。	ノートに書く事柄が多い為に減らして欲しいとの要望が一部の学生より有るが書かないと理解出来ない事柄から、教員は、学生の質問や発言に適切に対応していた。この箇所が唯一平均より劣っていたと思われる。	真剣に受講している学生と、興味半分の学生との格差が大きくバランスを取るのに改善点が必要と思われるが、真剣に取り組んでいる学生を伸ばす方向性を重視したい。	1	1	1
ブライダル演習 I	國田育代	予想以上の評価を頂きましたが、全員からの提出ではない所に授業目的の理解の希薄を感じ反省しています。	提出数が少ない中ですがその中の学生は、自分の目的を持ってたと思います。	授業ポイントの強弱をつけてもっと理解を深め目的が何かを明確にしていきたいと思います。	1	0	0
ブライダルプロデュース I	國田育代	想像以上の評価で恐縮しています。授業としてはメリハリのある内容ができたと思っています。	左記と同じ	今後に活用できる内容を更に授業に取り入れていきます。	0	0	1
ホスピタリティとサービス	小野清和	学内平均値より全て高かった事は嬉しいことです。何故それをしないといかないのか、その意味合いの奥にある本来の意図を具体的に教えた事が良かったと思われる。	社会人となっていく上で大切な事柄やマナーを習得。ビジネスマナーの基本である「報・連・相」が持つ意味とその重要性が習得できたとの趣旨が多かった。	今後はもっと現場の状況を動画配信にて何故そうする必要があるのかを徹底して教えてモチベーションの切り替えの大切さや、自分の仕事のほかの人に与える影響、自分の仕事の社会的な意義や役割は何かと言うサービス業本来の人を中心としたビジネスの本質に触れて行きたいと思っています。	0	1	1
プレゼンテーション概論 (金・3)	畑野清司	学生が前向きに授業に取り組む、その結果、良い評価(総合評価4.64)が出たように思う。学生に満足していただけると同時に、受講生の学力向上に今後も役立つよう努力したい。	学生に共通する記述内容は、「自分のためになる授業だと思った。人前が出るのがあまり得意ではなかったけど、この授業を受けて変わった。授業は難しかったけど、受けて良かった。」などで特に不満の声はなかった。	授業時間内で課題を完成させる学生と、補講や家庭でコンテンツの作成やリハーサルを行っている学生とほぼ2分する。消化速度に大きな差があるためバランスをとるのは難しいが、今後の課題として検討したい。	1	1	1
プレゼンテーション概論 (金・4)	畑野清司	学生が前向きに授業に取り組む、その結果、良い評価(総合評価5.00)が出たように思う。また、受講生の数が少なく、授業の進行に余裕ができ、きめの細かいフォローができたものと思う。受講生の学力向上に今後も役立つよう努力したい。	「人前に立つのが苦手、人前で話すのが上手でない、この授業でプレゼンテーションに関する知識や方法について沢山学び、その結果、話す際に緊張しなくなり、本当にこの授業を受けて良かった。」	このクラスでは、上述のバランスが顕著に崩れ苦労したが、上述同様、今後の課題として検討したい。	1	1	1
プレゼンテーション演習 I (火・2)	服部美樹子	学生からは概ね良い評価を得た。しかし、学生はシラバス内容について理解しているものが少ないように思われるにもかかわらず、評価をつけている点が気になる点がある。	なし	与えた課題について、ほとんどの学生は意欲的に取り組んでいる。しかし、授業以外の予習復習が必ずしも行われているとはいえず、授業中にその時間を割かねばならない状況にある。その点の授業内容と指導の方法を今後の課題としたい。	1	1	1
プレゼンテーション演習 I (火・3)	服部美樹子	学生からは概ね良い評価を得た。ただ、授業内容の性格から言うと、受講生数が少なかったため、他者から学ぶ機会も少なかったのが残念である。	なし	このクラスでは、思い込みが激しい学生がおり、それを学生の気分を害することなく是正していくのが大変であったことを記憶している。学生ひとり一人と向き合うことのむずかしさを実感した。その点が今後の改題である。	1	1	1

2011年度前期 ライフデザイン総合学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてはではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が増えた	授業改善への意識が高まった	授業の具体的な改善に取り組む
色彩の基礎 I (月・1)	倉本真紀	前半を代講したため評価はもっと低いと思ったが、意外に評価が高かった。ただ気になったのが私語についての評価だったので、この点を注意していきたい。	実技(カラーカードを切り貼りする)ことがつらかったという意見もあり、色彩の授業の理論と実践という基本的な内容をどう伝えていくか、考えさせられた。	理解度アップ=理論と実践と考えているため、比重をどのようにするか、また課題をどうするかを検討していきたい。	1	1	1
色彩の基礎 I (月・2)	倉本真紀	同じ教科が2つあり進行状況をあわせていたため、授業内容についての満足度が1限目よりやや低かったのが気になった。	黒板の字が見えにくかったという指摘があり、教室ではホワイトボードだったため、インクが薄いものは使用せず、なるべく大きな文字で書くことを心がけようと思った。	上記と同じで、理解度アップ=理論と実践と考えているため、比重をどのようにするか、また課題をどうするかを検討していきたい。	1	1	1
色彩の活用	倉本真紀	色彩検定に合格するためのだけの授業なので、満足度よりも理解度重視の内容となったが、総合的には意外に高評価で驚いた。	進行スピードの速さと、基礎的な知識を基礎 I、IIでもっと蓄えられていたらよかったという指摘があった。	色を楽しむ授業と色彩検定対策とは内容が異なってくるので、基礎 I と基礎 II の内容を再度見直していこうと思った。	1	1	1
カラーセラピー II	倉本真紀	カラーセラピー I の内容をしっかりと理解できている生徒ばかりの少人数クラスだったため、非常に授業がスムーズに進行した。ただ総合評価が意外に低いため、資格認定レポートに対する授業内容をもう少し加えなければいけないと思った。	カラーボトルを用いてカウンセリングを行うことは難しいが、奥が深くもっと知りたいという意見があった。	カラーセラピー I の内容を見直し、II でカウンセリングの授業を増やせるようにしたいと思う。	1	1	1
医療事務総論	倉戸啓子	内容の理解度については以前の授業評価時より評価が高くなっていったが、話が聞き取りにくいという評価が若干あった。	内容が難しいという感想が何人かあった。今年度から取り入れたプリント集がわかりやすくてよいという感想も複数あった。	教材を整理して量を少し減らす。授業に集中できていない学生に対応するため、今後は個別に指名をするなど、集中できるような進め方をもっと取り入れたい。	1	1	1
医療事務演習	倉戸啓子	概ねどの項目も4, 5の評価が多いが、一部3以下の評価もあった。	内容は難しいけれど、質問すると個別に教えてもらえるのでよかったという感想があった。またプリントの説明が少しわかりにくいという感想もあった。	授業中積極的に質問できる学生とそうでない学生がいるので、なるべく質問する機会が偏らないように配慮したい。	0	1	1
医療秘書実務	東野園子	学生からは予想以上に高い評価を頂いていた。	楽しく授業を受けられたという意見があった。	今後も楽しくて、わかりやすい授業を心がけていきたいと思います。	1	1	1
解剖生理学	奥田喜一	II のA,Bとも学生からは学内平均を上回る評価だったのは予想外だった。	板書の量が多かったという感想があった。プリントの図が分かりにくいという意見もあった。授業内容は難しいがよく理解できたようだ。	具体的にはプリントの図を分かり易いものに書き換えたい。板書の量についてはやむを得ないと思うが少し簡略にしよう。	1	1	1
社会福祉概論	山戸隆也	授業の総合点をはじめ、予想以上に高い評価を頂いた。こうした評価が最初で最後にならないよう、なぜこのような評価になったのか、今後、じっくりと考えてみて他の授業にも生かしていく必要を感じた。	毎年、ライフの学生たちは、概ね授業の良い点についてたくさん書いてくれる。2名ほど、ビデオの回数を多くしてほしい、という内容の意見を書いてくれたので、予定より1回(20分)ビデオを終盤に追加して使用した。	教員になって最初の3年間在籍した他校では、ビデオなどの映像をできるだけ使わないという方針があった。しかし、工夫次第では使うべき時も当然あるうし、使用することに罪悪感を持つのではなく、より映像の有効活用にも検討を加えていきたい。	1	1	1
病院実習	小西浩実	評価については学内平均以下である点を重く受け止めている。	教員は、学生の私語に対して注意不足の意見があった。	今回、初授業担当で有った点を加味しても、反省するに十分な結果である。今後は創意工夫をして効果的に理解を得られる様に、担当授業内容を検討して実践したい。	1	1	1

2011年度前期 ライフデザイン総合学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的な改善に取り組む
介護概論	植北康嗣	授業評価は高く、指導内容については一定の満足があるようだった。しかし、比較的欠席者も多く授業に対する関心度は決して高いとは言えないように思う。	授業では、福祉用具の操作などの体験が興味深かったや介護を身近に感じたという意見が多かった。	授業について、高い評価が得られたことはある程度の満足をしている。今後も自分たちが使える身近な題材を挙げ、福祉サービスの活用方法や介護の技術を習得できるように、実践的な例を要所に取り入れたい。	1	1	1
臨床医学概論Ⅱ	富永純子	初めて担当した教科で専門的な内容でしたので、学生の理解度が心配でした。配布資料を基にパワーポイントで理解しやすい様に工夫をしました。思ったよりもよい評価を頂きました。	少数ですが、むずかしいけれども、自分の体の中の事を知ることが興味深く面白かったという内容のものもありました。	授業中に眠る学生も少なからずいました。B)授業内容アンケートにも「1.そうは思わない」の意見もありましたのでもう少し内容について反省と工夫に努めたいと思います。	1	1	1
診療情報管理論Ⅰ	富永純子	診療情報に関する法律など病院内における情報の収集など学生が病院の現場で実際に経験する内容を重点的に授業を行いました。よい評価を頂いたと思います。	医師法、医療法などの法律に関する内容は面白くなかったと若干名の意見がありました。	病院における診療情報はすべて必要と理解し、知識を深めるためにももう少し内容に配慮し、理解度アップと興味深くなれるように努めたいと思います。	1	1	1
ICDコーディング実務演習Ⅰ	富永純子	学内平均を下まわっている項目が多数ありましたが、授業の中での説明に関して、理解度の問題もあり、それぞれの学生の進行度もまちまちでした。人数が多いため、学生一人一人への対応がうまくいかなかったのが原因かと思えます。	コーディングは楽しかったとの意見が多くありました。	従来通りの授業スタイルではなく、人数に対応するための内容の変更が必要であると思いました。	1	1	1
医療事務コンピュータⅠ	倉戸啓子	授業については予想よりもよい評価になっているが、「私語」について学生自身も「した」と評価し、教員の注意も「十分でなかった」という評価がある。学生同士が互いに教え合いながら理解を深めるといふ点ではよいが多少の脱線はあったといえる。	わからないところはすぐに質問できるのでよかったという感想が割と多かった。少人数なので丁寧に質問に応じることができた。	授業内容についての質問や教え合いはよいとしても、今後はあまり脱線しすぎないように注意をする。	0	0	1
医療事務コンピュータⅡ	倉戸啓子	同上	難しいと思ったけれど、わかるようになったのでうれしかった。楽しい授業だったという感想がありました。	同上	0	0	1
リハビリテーション概論	銀山章代	概論という概念中心の科目なので、学生が理解できる講義が出来るのか心配でした。しかし各項目、学内平均以上の評価をいただけ、安心しました。	老人体験スーツや車椅子・作業療法といった体験授業が良かったとの記述が6割あった。他の4割も授業が面白かったとの事であった。	講義そのものは概好評でした。「概念の講義を体験を通して学ぶ」という工夫をしましたが、何処まで繋がったのかは疑問が残ります。筆記試験は学生なりに暗記し記入してくれました。	0	1	0
外観の社会学Ⅰ(リハビリメイク演習)	村上美樹	すべての項目で学内平均を上まわり、居眠りや集中力もよい評価が得られ工夫の甲斐があったと感じた。	授業内容がわかりやすく楽しかったという意見が多かった。こちらの意図がおおむね伝わっていることが感じられた。	楽しいだけでは駄目なので後期はさらに理解しやすく集中力が持続する工夫を重ねる。	1	1	1
食生活と健康	奥田玲子	学生からは予想以上によい評価を頂いた。学生の理解に合わせ質問に応えてきた効果が表れてきたと感じる。学生の集中力向上が今後の課題である。	自分自身の食生活を見直し、改善に役立てたという意見が多数みられた。	授業中の集中力を高める。より身近な内容を盛り込み興味を持てるよう改善していきたい。	1	1	1

2011年度前期 ライフデザイン総合学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてはではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的な改善に取り組む
食生活アドバイザー	奥田玲子	どの項目も高い評価を頂いた。検定試験の対策講座であるので学生の興味も意識も高い。	課題への満足度は概ね高かった。試験間近になるほど課題量が多くなったことや不満との意見が少数あった。	特になし。	0	0	0
食の歴史と文化	奥田玲子	概ね良い評価をいただいた。学生の集中度のみ平均を若干下回った。	ビデオ学習を含め、わかりやすい内容で、多くの学生が興味を持って受講していた。	学生の集中度のみ評価がやや低いが、居眠りや私語なども少なく、個人の問題と思われる。今後の改善点は特になし。	0	0	0
食の安全性	坂口守彦	本科目は比較的教授しやすいが、学生の評価は学内平均を下回っていた。熱意をこめて授業の実施に努めたが、内容が十分理解されているとはいえない。	全般的に好評であったが、授業のスピードが速すぎるというものもあった。しかし、積極的な意見の陳述は寡少(10%以下)であるから、これが全体の意見であるとは考えにくい。	授業は主としてプリントを配布して進めたが、ときおり写真、図表などを提示した。これらは学生の理解を助けるために不可欠である。プリントの説明、補助教材などを組み合わせて授業の要点を明示し、これまで以上に理解させることに努めたい。	1	1	1
食品材料の基礎知識	坂口守彦	授業開始前に想像したよりも良好な評価を得たが、これで学生が正当に評価したのかどうか疑わしい。昨年度と授業内容、方法などはあまり違いはないが、授業に臨んでリラックスして実施することを心がけ、毎回定刻よりも早く早めに授業を終了したことなどが評価されたと理解している。	科目の性格上基礎的な部分が多く、学生の興味をつなぎとめにくいところがある。授業内容が難解だ、授業内容のポイントが明確ではないなどの指摘がみられた。	今年度はカラー写真などの補助教材を多用し、学生の興味をつなぎとめる方向で授業をすすめたが、これがどの程度学生の理解度増加につながったのか明確ではないので、今後も継続して実施し効果を確認したい。	1	1	1
テーブルコーディネート実習	中出真理子	学生からは予想以上に良い評価を頂いた。しかし授業中に居眠りをした人の平均は学内を上回っており、時間的に眠たい時間ではあるが改善の必要性があると感じた。	全体的に「楽しく勉強になり、いい授業だった」との評価だったが、「板書をもっとわかりやすくして欲しかった」との意見も一人あった。	眠たい時間帯なので、できるだけ自分でテーブルを作る実習を多くして、実践的に学べるように工夫したい。また、板書については、理解しやすいように箇条書き、または表にするなどして改善する。	1	1	1
調理実習 I (テーブルマナー含む)火2	奥田玲子	全ての項目で平均を上回る高い評価をいただいた。殆どの学生の理解度と評価はかなり高かった。	多くの学生が、楽しく実習に取り組んでいた。自宅での調理に役立ったという感想も見られた。	引き続き、学生が興味を持って積極的に学ぶ意欲の持てる、また生活に活かせる授業、実習を目標にする。	1	0	0
調理実習 I (テーブルマナーを含む)月4	末吉明美	ほぼ予想通りの評価をもらったが、授業内容の理解の度合いが思っていたほどに伸びなかった	授業でおいしい料理が作られて、家でも作るようになったという意見が3割ほどあった	デモンストレーションを今より多くして、理解しやすいように努めようと思います。	1	1	1
製菓材料の基礎知識	林 真千子	学生からは予想以上に良い評価を頂き、また学内平均を上回ることができ、うれしく思います。しかし、その中でも、授業内容を理解しにくい学生もいることが分かり、今後、内容理解に努める必要があることが、明確になりました。	プリントの字がもう少し大きければ良かったという意見が少数ありました。	授業内容の理解度向上の為、プリントの内容表示の仕方をよりわかりやすく、論述も基礎的なものに変更していくように努めたいと思います。	1	1	1

2011年度前期 ライフデザイン総合学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてはではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が増えた	授業改善への意識が高まった	授業の具体的な改善に取り組む
製菓・ラッピング実習Ⅰ	粟村初音	学生から全体的に良い評価を頂きましたが、話し方など聞きとりにくい所もあった様です。	実習内容で班ごとではなく1人1人で作りたいという意見が少数ありました。	1人1人で作る授業は後期に入っておりますが、前期にも1人で作る授業を入れるよう考えます。作業しながらの説明が多いので大きな声で話すよう努力したいと思います。	1	1	1
カフェプランニング	勝又貴司	概ね学内平均を上回る結果となっておりますが、履修登録数中60割程度の有効回答数のため実際の評価が出来ません。	実習授業に関して好意的な記述が多く講義中心ではなく「楽しめる」参加意識が高く評価されています。	結果としては比較的「まじめ」な態度で受講されていましたが、内容の一部の難易度が高い部分は理解し難かったようです。	1	1	1
アロマセラピー(演習含む)	倉津三夜子	教員の取り組み姿勢と授業内容については良い評価を得られたが、学生の授業への取り組み姿勢については評価が低く、学生が積極的に授業に参加できるような工夫の必要性を感じる。	実習や、健康・美容に関する内容などに興味を持ち、楽しんで受講できた様子が伝わってきた。一方で、実習の時間を多くしてほしいとの要望もあり、講義の比率が多いことへの戸惑いも読み取れた。	実習以外にも香りを嗅ぐ時間をもっと増やしたり、香り以外に実際に植物に触れたり、画像や写真を見る機会を作って、様々な角度から興味を引き出していきたい。	1	1	1
クロスカルチャー(比較文化)	中村真里絵	予想以上に評価が高かったのほっとしている。理解度もよく安心した。ただ、聞き取りやすさのみ平均を下まわった。	中には、授業が難しいという学生が数人いた。	話すスピードをゆっくりすることを意識して、講義をわかりやすくしたい。	1	1	1
情報活用演習Ⅰ	新田真一	教員として話すスピードが速すぎて聞き取りにくいことがわかる。	質問に際しての対応が良かったという意見が見受けられた。	話すスピードをよりゆっくりとするように努める。	1	1	1
情報応用演習Ⅰ	新田真一	教員として話すスピードが速すぎて聞き取りにくいことがわかる。	後の方は聞こえにくかった、という意見が少数であるがあった。	話すスピードをよりゆっくり、そして大きくするように努める。	1	1	1
情報活用演習Ⅱ月2	新田真一	話し方が聞き取りにくかった、という指摘が明確である。	もっとゆっくり進めてほしいとの要望が目についた。	受講生全員への配慮(とくに理解度チェック)をするように努める。	1	1	1
情報活用演習Ⅱ月1	新田真一	教員として話すスピードが速すぎて聞き取りにくいことがわかる。総合評価はまあよかった。	質問に際しての対応が良かったという意見が見受けられた。	話すスピードをよりゆっくりとするように努める。	1	1	1
情報応用演習Ⅱ	新田真一	話すスピードが速いため、聞き取りにくかったことが明確である(このことは、学生の自由記述からも指摘がある)。	もっとゆっくり進めてほしいとの要望が目についた。	受講人数にもよるが、授業の後半は、できる限り個別対応できるように努める。	1	1	1
情報システム論	大野麻子	教授法については高い評価が得られたが、学生の授業への取り組み姿勢の自己評価が学内平均をかなり下回り、教員の私語の注意についての評価も若干低かった。	「難しかった」という意見も多かったが、「説明が分かり易かった」「楽しかった」という意見が多数であった。「板書が多かったけどどうつやすかった」という意見もあった。	毎回授業中の私語は注意してきたが、なかなか改善されず、真剣に授業に取り組んでいる学生には不満があったように思う。私語対策については、口頭の注意のみでなくペナルティーを与えるなど厳しい姿勢が必要かもしれない。	1	1	1

2011年度前期 ライフデザイン総合学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてはではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
マルチメディア演習	眞下義和	基本的な部分ではよい評価でしたが、理解度を上げていくよう努力が必要だと感じました。	全般的に難解な部分もあったが、個別に対応する姿勢を評価する声と、授業の楽しさを評価する声がありました。	一部さらに高度な内容を求める声もあり、理解度の深化に手間とる声もありて今後の検討の課題となりました。	1	1	1
ウェブデザインⅠ	大野麻子	学生の授業への取り組み・教員の取り組み姿勢と授業内容ともに高い評価が得られた。	「難しかったけど楽しかった」との意見が複数あった。	授業内容の理解しやすさについては、学内平均を上回っているものの比較的评价が低かったため、難易度の調整や説明の工夫について検討したい。	1	1	1
ウェブデザインⅡ	大野麻子	学生の授業への取り組み・教員の取り組み姿勢と授業内容ともに高い評価が得られたが、授業内容の理解のしやすさのみ学内平均を若干下回った。	「難しかったけど説明が分かり易かった」との意見が多数あった。個別の対応や質問への対応が行き届いていたとの意見も複数あった。反面、「教示画面の切り替えが速かった」との意見もあった。	ウェブデザインⅡはウェブデザインⅠと比較して内容がかなり高度になっており、学生の中には戸惑いもあったかもしれない。ガイダンスではこの点を強調してきたが、シラバスにも明記し誤解を与えないようにしたい。	1	1	1
ビジネス実務概論火3	仁平章子	授業内容について、教員の姿勢、授業の内容は、学内平均よりも高い評価である。しかし、総合評価では、学内平均を下回っている。どちらかといえば思わない40.0%と評価しており、内容を理解できていなかったということが分かる。さらに授業内容の理解を深める様に工夫する必要がある。	会社の仕組みなど全く知らなかったが、知ることができたと記述している学生が多かった。今までに経験したことのないことを学ぶことの難しさを体験したのだと感じている。また、グループワークのなかで新しい友達ができたと記述していた。コミュニケーションを回りながら授業を展開することも教育効果があるように感じることもできた。	学生は、今までに経験したことのない会社のしくみ、組織などを学習する授業内容であり、理解を深めるような授業の進め方を工夫したいと考えている。グループワークは、学習効果があったと評価できるので、さらにこの手法を取り入れてみたい。	1	1	1
ビジネス実務概論火4	仁平章子	私語や、勉強しやすい環境を作っていた点を高く評価している。しかし、学生の質問や発言に適切に対応している点は、学内平均を下回っている。	社会に出て、働くときに役に立つ授業であると評価している。説明もわかりやすかったと評価している。	会社で働く経験がない中で一生懸命、将来働くであろう会社のことをわかってもらう姿勢を感じることができた。さらに理解しやすい授業展開を試みたいと考えている。	1	1	1
オフィスマネージメント(経営学を含む)	仁平章子	授業内容が理解できるように工夫されていないと評価している。さらに理解しにくかったということである。	ビデオで理解できたと評価している。また、必ず発表しなければならぬことが苦痛であったという意見であった。	経営に関することに興味のない学生にいかにも理解をさせるのかを工夫する必要があると考えている。また、学生は、人前で話をするのを極力嫌う傾向があることがわかった。しかし、社会にできればコミュニケーションが重要であることは、経済界でもいわれているので、さらに授業の工夫をしていきたい。	1	1	1
事務文書管理	仁平章子	教員の姿勢、内容について高い評価をしている。総合評価も学内平均を上回っている。	ビジネス文書を書くうちに要領が分かって、楽しくなったと評価している。漢字練習も役に立つと思うと感想を述べている。具体的に示すことが、理解の手助けになると考えられる。	プリントを配付したり、毎回記述することを要求した授業内容であるために学生は取り組みやすかったのではないかと考えられる。さらに精度を上げる様に工夫したい。	1	1	1
Business English	奥田 純	2年生だけ受講できる選択科目で受講生が5名と少人数で、授業もまとまって進めやすかったが、評価も良かった。ただ、アンケートには3名の協力を得たにとどまった。	自由記述は全員コメントをしてくれた。分かりやすかった、楽しかったというコメントが大半だったが、授業が少し早すぎるとのコメントもあった。	難解と思われる部分は思い切って授業対象から外し、受講生の実力の若干上のレベルの内容も入れながら進める教え方を踏襲しながら、更に興味を持てる授業内容としたい。また、学生同士の会話練習も検討したい。	1	1	1

2011年度前期 ライフデザイン総合学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてはではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的な改善に取り組む
国内観光地理研究	西川博	人数があまりおらず、進度、内容についてちよっと遅れがちであったが、学生の評価は思った以上に良かったと思います。	身近な観光地や学生の関心のある地域などをもっと重点的に教えていきたいと考えました。	ビデオ教材や、食事等の学生の関心のある分野からの地理学習も考えていきたいと思えます。	1	1	1
トラベル実務基礎	西川博	トラベル実務は、海外、国内とりわけでも計算などが入るためより一層のわかりやすさを考えて授業していかないと感じました。	内容が多いためもっと重点を絞った形でする方法も考えていかねばならないと思いました。	授業の進め方についてももう一度点検して進捗、内容について検討していきたい。	1	1	1
人間関係論	北村瑞穂	「教員の取り組み姿勢と授業内容」は全ての項目において、学内平均を上回った。しかし「あなたの授業への取り組み姿勢」の点数が学内平均を下回った。	「楽しかった」「わかりやすかった」という好意的なコメントが多かった。しかし、学生の取り組みが十分でない授業となってしまった。	一部の学生には、授業に関心をもってもらうことが難しいと感じた。人間関係論は恋愛や友人関係など、学生の興味をひく内容も含まれるので、その部分の内容を再度検討する。	1	1	1
臨床心理学	奥村和弘	授業中に感じていた全体の印象がそのまま反映されている印象を受ける。	説明が長くなる内容の場合に、内容が理解できないうととらえる学生がおり、なるべく説明を簡素なものにしたり、体験的・視覚的ツールといったものをより活用していきたい。	授業中に姿勢保持の困難な学生が多い。授業を通じて授業内容や知識だけでなく、基本的な生活習慣、あるいは社会的ルールといったものを学生自らが気づけるような授業環境作りに努めていきたい。	1	1	1
性格の理解と把握	北村瑞穂	「教員の取り組み姿勢と授業内容」は全ての項目において、学内平均を上回った。しかし「勉学への集中」の点数が学内平均を下回った。	「心理テストが楽しかった」「新しい自分を発見した」という好意的なコメントが多かった。しかし、学生の取り組みが十分でない授業となってしまった。	授業自体は、心理テストを多用するので、学生の満足度は高いと感じるが、楽しただけで終わっている部分があるのかもしれない。学生の取り組みを引き出す試みを考える。	1	1	1
心理学演習	北村瑞穂	全ての項目において、学内平均を上回った。	「内容が高度だったが、先生の例えや問題を解くことで理解できた」というコメントがあった。全体的に高評価だったが、「難しかった」というコメントもあった。	研究法は、統計的な考え方が入ってくるため、難しい内容となったが、少数で楽しみながら授業することができたと思う。しかし、数学の苦手な学生にとってはなかなか理解できない部分がある。来年度は、説明を工夫したい。	1	1	1
カウンセリング概論	鍛冶谷静	「教員の話し方」について、他の担当授業と比べるとこの科目が特に評価が低い。教室のサイズと受講者数のバランスが関係するかもしれないが、自分では気づきにくい点なので、マイクの使用なども今後は考えたい。	難しくよく分からなかったとの声もあったが、「本格的な内容で興味深かった」との意見もあった。	授業の内容をどのレベルに合わせるかは毎年悩むところであるが、学生の理解度をこまめにチェックできるような対応(ミニテストや質問事項を書いてもらう)が必要かもしれないと思った。	1	1	1
子どもと絵画	中路規夫	予想以上の高い評価を頂いた。しかし時間不足の為、完成度の高い作品にまで指導できなかったのが心残りである。時間を捻出する工夫・必要があると考えている。	「絵を描くのが楽しくなった」「幸せな気持ちになれた」など授業を楽しんでもらったのが何よりも嬉しいことである。もっと幸せにしてあげたいものである。	時間不足のため、ビデオ鑑賞の時間が取れなかった。課題を減らすか？ビデオを見せるか？シラバスを改変する必要があるかも？	1	1	1

2011年度前期 介護福祉学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意欲が高まった	授業の具体的改善に取り組む
いのちの科学	坂口守彦	理解度、満足度などが学内平均をいくぶん下まわっていた。授業内容が難解で進め方が速すぎという。本科目は理科室科目の中で重要なものであるから、授業のはじめにこの点を強調するが十分に理解されていない。また授業の過程で難解なところが出現しても授業後に質問したりして十分に内容を把握してほしいものである。	授業のスピードはとくに問題はないが、内容が高度で理解し得ないという意見が少数だが認められた。自由記述は重要な項目であり、今後も継続の必要を認める。ただ、自由記述の用紙に何らかの意見を述べているのは、全体の1割にも満たないので、この意見がきわめて一部のものであるとも解釈される。	授業にたいする熱意が希薄であるため、内容をより基礎的なものに変更し、また授業の範囲を限定する。	1	1	1
くらしと環境	汐見信行	本年の学生は過去、最悪の授業態度であった。毎回、注意、注意の連続でいやになった。そのせいかな？	記述してある内容は「勉強になった」がほとんどで本当かなとギャップを感じた。	用意した内容の半分も講義できていない。さらに減らさざるをえないか？	0	0	1
くらしと情報	村上和繁	理解度などについては、学生から平均以上の良い評価をいただいた。しかし、学生らの授業への取り組みの姿勢に関する項目については、芳しくなかった。原因は、今年度とった方針(学生の学ぶ意志を尊重する。講義と演習の時間を分け、学生の意識を切り替えさせる)が学生に合わなかったということだと感じている。	おおむね、良い意見であった。やはり、数学や算数に苦手意識を持つ学生には、エクセルのような表計算ソフトの内容にはついていくのが大変だったといった意見があった。	学生の授業への取り組みの姿勢の項目については要改善だと考える。次の機会では、指導方針をより厳しく変更し、より学生らが集中しやすい環境を整える必要があると言える。	1	1	1
ことばと現代社会	富森盛史	受講者の授業集中が難しかったようである。平易な内容ではあるが、社会人として重要な学習分野であり、理解をより高めていくように進めたい。	少数の者から授業時の雰囲気に関して意見があった。	興味・関心を抱くことができる内容を精選して、授業展開の方法をより効果的になるよう工夫したい。	1	1	1
くらしと音楽	仲宗根稔	2年生の選択科目であり学習意欲のある学生が多く、充実した授業展開できたことが反映されたと考える。ただ授業目標に到達する為の課題が多すぎたように思う。	楽しかった、実習に役立つと意見があったが、もっと現場で役立つ歌を知りたいとコメントもあった。	介護福祉の現場に役立つ内容で充実度の高い授業計画を工夫したい。歌唱の苦手な学生には個人的なアドバイスを徹底して行う。	1	1	1
人間の尊厳と自立	山戸隆也	学生の受講態度はそれほど悪くはなかったし、授業の最後を書くふりかえりでも熱心な態度の学生も多かったが、思っていたよりも低い評価で、反省点が多い結果となった。	授業の最後に考えや感想などをよく書いてもらっていた。また、学生を指名してあてることも学生への訓練として行っていたが、嫌だと思っている学生もいることが良く分かった。	「人間の尊厳と自立」について、もっと映像や具体例を思い切って使っていくことも必要と思った。基礎項目の説明時間を多く取っていたが、今振り返ると学生には固い内容であった。	1	1	1
人間関係とコミュニケーション	榎原和子	予測通りの総合評価となっている。特に、学生の授業中の私語、メール等をしたかという問いに対して、約22%の学生がそう思わないという回答をしていることについては、今後考えてゆかなければならない点である。	授業の進め方が早く、板書が追いつかないという意見が少数あった。しかし、声が大きくはっきりとしていたという意見も多かった。	授業内容を基礎的なものに変更し、理解度アップに努める。	1	1	1
社会の理解B(社会保障関連・福祉関連施策)	石川 肇	評価1、2は教員の取り組み姿勢中にはなかったが、「理解しやすかった」という項目で3が42%であったことが今後改善すべきことと思う	板書量が多かったという意見が多かった。配布資料やスライド使用も効果的であったとの記述があったが、口頭で伝えるだけでは記憶に残らないと思うので、工夫しながら板書をしていきたい	板書の内容、量を調整しながら、さらに資料などを用いながら、理解しやすい授業を心がけたい	1	1	1

2011年度前期 介護福祉学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的な改善に取り組む
介護の基本A (生活の理解、自立に向けた介護)	榎原和子	学生からは予想以上に良い評価を頂いた。しかし、授業中の質問に対して、より詳しい解説をしてゆきたい。	授業の進め方が早く、板書が追いつかないという意見が少数あった。しかし、声が大きくはっきりとしていたという意見が多かった。また、説明が理解しやすかったという意見も約4割の意見としてあった。	学習に対して、積極的にかかわる学生以外にも興味・関心をもってもらえるような授業構成にしてゆきたい。	1	1	1
介護の基本B (介護の働きと基本的視点)	吉井珠代	全般的に学内平均を上回る授業評価が得られた。当該科目は、介護の概念や本質論なので、学生には難易度の高い科目だと思われたが、視聴覚教材を効果的に取り入れ詳しく説明したので、学生の満足度が高く出たのではないかと推察する。	視聴覚教材と具体的な説明について学生から「わかりやすい」といった好意的な感想を多く受けた。日常の授業が、日ごろ高齢者との接触頻度が低い学生にとって、介護に対する良いイメージ形成に役立っているようである。	私自身、今年度から、授業内容について教える内容をやや少なくして、フィードバックしながら次に進めていく方法をとるようにしたので、学生に受け入れられて、前向きに授業参加してもらえているのではないかと考える。	1	1	1
介護の基本E (介護実践における連携)	山戸隆也	「教員は学生の質問や発言に適切に対応していた」という項目がこの科目では低い評価であった。学生が答えてくれたことについての、返しかたにより工夫が必要と思う。	概ね好意的な内容であった。「楽しかった」という答えが少なくなかったが、緊張感がやや弱かっただけかもしれない。「わかりにくかった」とだけ書いてくれた学生も1名いたことはショックであった。	介護福祉分野での連携に絞って1科目を設けており、各専門職についてのより詳しい、興味深い内容である必要がある。「教科書準拠」に過ぎたかとも感じており、事例の出し方などを工夫していきたい。	1	1	1
コミュニケーション技術A (介護とコミュニケーション)	榎原和子	教員の取り組みの姿勢と授業内容について、学内平均を上回る評価を頂いた。しかし、学生の授業中の私語、メール等をしましたかという問いに対して、約3割の学生がそう思わないという回答をしていることについては、今後考えてゆかなければならない点である。	授業の進め方が早く、板書が追いつかないという意見が少数あったが、ほぼ全員から理解しやすいという評価を得た。	学習に対して、積極的にかかわる学生以外にも興味・関心をもってもらえるような授業構成にしてゆきたい。	1	1	1
生活支援技術A (居住環境・睡眠)	植北康嗣	授業評価は高く、指導内容については一定の満足があるようだった。しかし、勉強には集中していないとの回答も多くあるので何らかの工夫が必要である。	概ね興味をもって授業に取り組めたという意見が多かった。ただし、体験時のグループメンバーによって、演習の取り組みが変わってくるといった不満もあった。	授業評価に関してはやや高い評価を受けたが、実際の演習状況では更なる技術力向上の見込みがあるので一層指導に力を入れていきたい。また、演習でのグループメンバーのマッチングにも配慮していきたい。	1	1	1
生活支援技術C (移動・移乗)	植北康嗣	授業評価は高く、指導内容については一定の満足があるようだった。しかし、演習科目のため私語や隠れてメールをしたという意見も多かった。	概ね興味をもって授業に取り組めたという意見が多かった。校外学習も取り入れているため、車いすの操作などの体験は変化があって良かったとの意見もあった。	演習科目のため、実技練習中は教員の目が行き届かないこともある。今年度はスタンプラリー式の実技課題を与え、練習に取り組まなければ、クリアできないようにしているため昨年度よりは集中できていたように感じるので、継続して取り組みたい。	1	1	1
生活支援技術D (食事)	吉井珠代	全般的に学内平均を上回る授業評価が得られた。当該科目は、介護技術の習得を目指しているため、学生に繰り返しロールプレイによる演習を体験させたので、学生の満足度が高かったのではないかと推察する。	「実技演習が多くて楽しかった」という感想から、体験学習には興味を感じてくれているようである。また、「レポートの書き方を説明してくれたのがうまく書けるようになった」といった、日常のきめ細かな指導に対して好意的な感想があった。	今回の高評価には、実技演習系の授業であるため(受講者数が昨年より減少したことで、学生の授業中の演習回数が増し、個々の指導も行いやすかったという、学生・教員双方の)教育環境の要因が背景にあると考えられる。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的な改善に取り組む
生活支援技術G (家事)	吉井珠代	全般的には学内平均とほぼ同じの授業評価となった。中でも、学生の自己評価項目である「授業の集中度」と教員の評価項目である「学生の私語への注意」に関しては学内平均を下回った。これは、一部の受講態度不良学生による悪影響が原因ではあるが、その学生たちに興味を抱かせられない私自身の授業の進め方によるものと反省させられた。	「知らなかった家事の仕方がわかってよかった」「家で実際にやってみよう」という好意的な感想が数枚あったが、「白紙、未記入」のものも数枚あり、評価が分かれた。これは、前述した理由と同じ傾向だと推察できる。	今回の評価は、実技演習系の授業であるため、受講者数と学内の設備・備品の数が大いに影響する。特に、家事援助の器具物品については、受講者数に比し、数・品数が少なく、学生の授業中の演習回数が十分に満たせず、学生は手持ち無沙汰な状態で待たされることが多くなるため、私語が増える。このような学生・教員双方にとっての教育環境要因が背景にあるのが事実だが、次年度以降は、授業中の演習項目の種類を増やして、物品の不足を手法でカバーしたいと考える。	1	1	1
生活支援技術H (栄養・調理)	林 真千子	残念なことに、学内平均をやや下回っており、今後改善すべき点が多いことがわかりました。特に学生の私語に対する対応が、不十分であることが明確でした。	授業中、一部しゃべる人がうるさくて声が聞こえにくい時があり、集中しにくかったという意見が少数ありました。調理実習の内容をもっと美味しく、手順をわかりやすく、そして、回数を増やして欲しいという意見がありました。	本科目においては、勉強のしやすい環境づくりに努めることが必要と感じました。その為には、私語の多い学生には注意に努め、静かにならない場合には、なんらかの対策をとるようにしたいと思います。調理実習の回数は可能な限り行い、手順をより詳しく説明することに努めたいと思います。	1	1	1
介護過程Ⅰ (意義・目的)	植北康嗣	授業評価の、指導内容については一定の満足があるようだった。しかし、授業の理解度はやや低く、理解が不十分と考えられる。	理解できた学生と難しいと感じている学生とに意見が分かれていた。	授業内容の中心である、介護過程の展開の目的を理解するために介護福祉サービスの概要をさらにわかりやすく、事例や視聴覚教材を用いて解説し、介護過程への導入に時間をかけたい。	1	1	1
介護過程Ⅲ (実践的展開 a)	吉井珠代	全般的には学内平均より若干下回る授業評価となった。中でも、学生の自己評価項目である「授業の集中度」と教員の評価項目である「授業内容は理解しやすい」に関しては特に低かった。これは、『利用者への“個別援助計画”を実際に立てられるようになる』という授業の目標を達成させるためには、宿題(課題レポート)が多くなるが、一部の学生は未提出が常になってしまい、全体の授業評価が低くなったものと推察する。	「授業中に他の学生のケアプランが聞けて、いろいろな援助計画があることがわかり参考になった」「宿題を頑張ってやったので、自分で援助計画を立てられる自信がついた」などの好意的な記述が多かった。おそらく、宿題・未提出学生は、未記入のまま提出しているものと思われる。	2年生次9月に、1か月の介護実習に参加させるための条件である“個別援助計画の立案・実施・評価：介護過程の展開”には、いくつかの介護事例を通して、「実際に援助計画を立案すること」が必須条件である。そのため、ペーパー事例2題、ビデオ事例1題を出しているのがあるが、それを減らすことはできないと考える。したがって、授業で提供する事例の内容を簡易化して、学生が比較的簡単に介護上の課題を見つけることができる(授業中にかなりの範囲の介護計画立案が進む)ように工夫して、宿題の負担軽減を図ってみたいと思う。	1	1	1
介護過程Ⅳ (実践的展開 b)	石川 肇	私語をする学生に十分対応できなかったことに対する指摘が1名いた。授業担当者の授業運営を批判したものだと思われる。	グループ討議に対する不満が数名あった。理解度の違う学生がグループを作るので、理解度の低い学生は討議に入れないということがあったと思う。	グループ討議の時間を最小限にし、個別に理解度を上げていく授業にしたい	1	1	1
介護総合演習Ⅰ	石川 肇	総合評価は高かったが、1名授業中にメール居眠りをした(1)と答えた学生がいた。実習に向けての授業であるから、全員のモチベーションを高める内容にしていきたい	楽しくわかりやすかったという記述が多かった。今後も、実習に向けて、どのような事前の取り組みが必要か丁寧に授業の中で説明していきたい。	居眠りや授業に集中できていないという回答が3名いたので、全員が集中できる様な授業を心がけたい	1	1	1

2011年度前期 介護福祉学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的な改善に取り組む
介護総合演習Ⅲ	植北康嗣	授業評価は高く、指導内容については一定の満足があるようだった。ただ、私語や居眠りは少なかったが、授業に集中できていないのが少し高い傾向があった。	具体的事例などは関心が高く、もっと聞きたいという意見が多かった。	授業について、高い評価が得られたことはある程度の満足をしている。今後も学生の集中力を維持できるよう、福祉に関する時事や現場の具体例を要所に取り入れたい。	0	1	1
発達と老化の理解A(人間の成長と発達の基礎)	吉井珠代	全質問項目に学内平均を上回る授業評価が得られた。当該科目は、教科書の頁数も多く、授業内容が広範囲に及ぶため、学生にとっては理解しにくい科目であろうと考えていたが、視聴覚教材を効果的に取り入れ詳しく説明したので、学生の満足度が高く出たのではないかと推察する。また、乳幼児からの人間の正常な成長発達・発達の説明もあるため、関心が高かったと思う。	当該科目は、高齢者を中心とした知識だけでなく、乳幼児からの成長・発達も学習するため、学生は、自分の育ってきた過程(まだ自分の記憶にない幼少時のことも学ぶ)の学習に興味をもってくれたようである。また、「視聴覚教材が、わかりやすくてよかった」との感想も多い。	今年度から、授業で伝える項目をある程度絞りこみ、視聴覚教材を効果的に取り入れ、詳しく説明すると同時に、毎回学生の理解度をフィードバックしながら次に進めていく方法をとるようにしたので、学生は楽しく前向きに受講してくれたようである。	1	1	1
認知症の理解B(認知症ケアの実際)	榎原和子	学生からは予想以上によい評価を頂いた。しかし、授業中に配布したプリントなどの有効性を考えなければならぬ。	授業の進め方は、声が大きくはっきりしていたという意見が多かった。また、理解しやすいという評価も多かった。	2年生が対象の授業のため、専門用語や認知症の基礎理解ができていたので、良い評価に結び付いてた考えられる。しかし、今後視聴覚教材も活用し、理解を深めてゆきたい。	1	1	1
障害の理解A(障害の基礎的理解)	石川 肇	総合評価は高かったが、1名授業中にメール居眠りをした(1)と答えた学生がいた。実習に向けての授業であるから、全員のモチベーションを高める内容にしていきたい	板書量が多かったという意見が多かった。配布資料やスライド使用も効果的であったとの記述があったが、口頭で伝えるだけでは記憶に残らないと思うので、工夫しながら板書をしていきたい	板書の内容、量を調整しながら、さらに資料などを用いながら、理解しやすい授業を心がけたい	1	1	1
こころとからだのしくみA(身じたく)	榎原和子	教員の取り組みの姿勢と授業内容について、学内平均を上回る評価を頂いた。しかし、学生の授業中の私語、メール等をしましたかという問いに対して、約14%の学生がそう思わないという回答をしていることについては、より講義内容の精選をしたい。	授業の進め方で、板書が追いつかないという意見が少数だったが、ほぼ全員から理解しやすいという評価を得た。	学生は、自分の身体について専門的な知識の吸収したいという反応が授業中に感じられた。したがって、より幅広い知識の習得をめざした授業を展開してゆきたい。	1	1	1
こころとからだのしくみB(移動・睡眠)	植北康嗣	授業評価は高く、指導内容については一定の満足があるようだった。しかし、勉強には集中していないとの回答も多くあるので何らかの工夫が必要である。	覚えることが多かったので苦労したようだった。ごく少数だが、板書については、プリントをして配ってくれたらうれしいといった意見もあった。	授業について、高い評価が得られたことはある程度の満足をしている。今後もさらに理解が高まるよう、身近な事例を基に興味関心を深める工夫をしたい。板書については、今のところ多すぎることもないので様子を見ていきたい。	1	1	1
こころとからだのしくみC(食事・排泄)	吉井珠代	ほぼ一般的に学内平均を上回る授業評価を得ることができたが、「授業内容の理解」に関しては学内平均と同じ値であった。当該科目は、医学知識を覚えることが中心になるので、苦手な学生には難易度の高い科目だと思われるため、評価が分かれたと推察する。	「自分自身の体のことが知れてよかった」「覚える科目は苦手だったが、知識が増えてきていて嬉しくなってきた」という好意的な感想と「覚えることが多く大変」「医学用語が難しい」の感想に分かれる。	私自身、授業内容に関しては教える内容をやや少なくして、復習の意味において、次の週の初めには知識確認しながら新しい単元に入っていく方法(小テストも実施)をとるようにしていたので、今後もよりフィードバックを確実にしていきたい。	1	1	1

2011年度後期 保育学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
英語 (英会話B)	伊藤紀美江	毎回プリントを配るなどの工夫をしたせいか、IIの項目全て評価が高く安堵している。しかし、授業は一方的なものではなく学生との相互作用で成り立っており、このクラスの持つ雰囲気に大いに助けられた気がする。	出来るだけ学生の希望に応じたリスニング教材を毎回作っていたことや和製英語を直す作業など、楽しかったという意見が多数あった。	学生からの感想や要望など、励みになるものが多く、これらを参考により良い授業の実施に努めたい。	1	1	1
英語 (英会話B)	伊藤紀美江	2講時のクラスと全く内容も配布物も同じだがアンケート結果は全く違い、特に勉強しやすい環境と理解度が低い。遅刻や何度注意してもおさまらない私語に悩まされ教員も常にカリカリしていたと反省している。	2講時と同様同じリスニング教材を使ったことに対しての「楽しい」という意見もあったが、普通はそこで落ち着くはずの作業もこのクラスにはあまり効果がなく、自由記述の提出自体が少なかった。	月曜日1講時に英語に対して苦手意識の強い50人以上の学生を相手に授業することの困難さを痛感する一年だった。内容はかなり基礎的なものに変更したが、これ以上は難しいので取りあえず雰囲気作りに努めようと思う。	1	1	1
スポーツⅡ	鎔 功	全体的に、いい評価をもらったが、授業が工夫されていたかの問いに対して、どちらでもないが25%もあるのが気になった。	数は少なかったが、楽しかったという声が多かった。	もっと楽しい授業になるよう、工夫していきたい。	1	1	1
スポーツⅡ	鎔 功	有効回答数が4しかなく、すべての項目がどちらでもないが50%で評価しようがない。	自由記述がなかった。	なし	0	0	0
保育者 キャリア 支援演習B (1・2・3組)	工藤・鍛冶谷	(工藤)満足であるという数字に奮ることなく、改善に努めていきたい。 (鍛冶谷)概ね満足という結果だったが、さらに授業に集中して取り組めるよう工夫していきたい。	(工藤)ノートのとり方から書き写しの速度の上げ方など、細かな指導が必要と感じた。(鍛冶谷)ノートの取りやすさを評価するコメントがあった。演習授業なので、ポイントを明確に示すことの必要性を改めて理解した。	(工藤)小テストにしても頑張る学生はさらに上をめざすが、全く準備をしてこない学生はモチベーションを高めるのが難しいので、より一層工夫していきたい。 (鍛冶谷)コミュニケーションの授業であるため積極的な学生参加が前提となる。クラスによって雰囲気が異なる印象があったので、意欲の低い学生のモチベーションアップについて考えたい。	1	1	1
保育者 キャリア 支援演習B	工藤真由美	基礎力の充実を図るにしても、完全に基礎が欠落するものと、ある一定以上の学生を同一内容で授業展開する難しさは従来以上に感じた。	小テストに実施に対して、頑張る学生からのみいい取り組みという意見が相次いだ。点数の悪い学生からの意見が全く記入されなかったのが残念。	学生に求めるものと、社会に出た時に必要な力と、学生の現状、三点の見極めがきわめて必要と痛感した。	1	1	1
保育者 キャリア 支援演習B (4・5・6組)	工藤真由美・ 鍛冶谷静	(工藤)基礎力の充実を図るにしても、完全に基礎が欠落するものと、ある一定以上の学生を同一内容で授業展開する難しさは従来以上に感じた。 (鍛冶谷)概ね満足という結果だったが、さらに授業に集中して取り組めるよう工夫していきたい。	(工藤)小テストに実施に対して、頑張る学生からのみいい取り組みという意見が相次いだ。点数の悪い学生からの意見が全く記入されなかったのが残念。 (鍛冶谷)提出されたのは好意的なコメントがほとんど。白紙提出を減らすような働きかけが必要か。	(工藤)学生に求めるものと、社会に出た時に必要な力と、学生の現状、三点の見極めがきわめて必要と痛感した。 (鍛冶谷)コミュニケーションの授業であるため積極的な学生参加が前提となる。クラスによって雰囲気が異なる印象があったので、意欲の低い学生のモチベーションアップについて考えたい。	1	1	1
言葉と表現Ⅱ (児童文学を含む)1・2・3組	工藤真由美	新カリキュラムになり内容を一新した。学生からの評価が昨年までと少し変わった。学生の理解力を高めようとしたが、こちらの思いとはずれる学生にたいして、説明を繰り返していく必要を感じた。内容をわかりやすく提供できる工夫を検討したい。	全員の記述がみられず、好意的な記載のみでどこまで信用していいのかわからない。	授業の進め方、資料の提示の仕方について、好評な部分を残し、わかりにくい部分は再考したい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
言葉と表現Ⅱ (児童文学を含む)4・5・6組	工藤真由美	新カリキュラムになり内容を一新した。学生からの評価が昨年までと少し変わった。学生の理解力を高めようと期待したものの、その真意を理解できる学生とそうでない学生の差が大きいと感じた。繰り返し説明をする必要を実感した。	全員の記述がみられず、好意的な記載のみでどこまで信用していいのかわからない。	授業の進め方、資料の提示の仕方について、再考したい。	1	1	1
音楽Ⅰ (Aクラス)	阪口さやか	学生の評価は、学年平均に比べ、全ての項目においてやや下回っていた。しかし、その中でも授業の中身についての評価は「そう思う」と答えた学生が多かったのは良かったと思う。ただ、「どちらでもない」との意見が全体的に多いので、授業に対しての関心をもう少し持って頂けるよう、こちらも工夫していかなければいけないと感じた。	「ピアノが難しく、課題が終わらない」という意見が多かったが、一方で「良かった、楽しかった」という意見も多数頂いた。学生それぞれに進度や技術面に差があり、苦痛に感じる学生もいると思うが、定期的な実技試験を行い、常に目標を定められた点はよかったと思う。	初めてピアノに触れる学生も多い中で、全員が同じ曲数の課題に取り組むという事は、特に初心者の方にとっては大変な事であると思う。しかし、「どうせ出来ない」と悲観的になり、投げ出してしまふ学生も多い中で、同じ初心者であってもコツコツ取り組んだ学生はきちんと課題をクリアできている。諦めずに練習すれば必ず出来るという事を、学生個人個人に理解してもらおう事がもっと必要であると感じた。	1	1	1
音楽Ⅰ (Bクラス)	吉岡紀子	半数以上の学生が授業に対して意欲を持ち取り組んでいることがわかった。また、授業内容の理解度も高いように感じた。	わかりやすくいいいな指導を受けることができた満足している学生が多い反面、課題が多い、練習時間が少ないという不満の声もあった。	1対1の授業形態ということで、各個人に合わせ適した指導ができる。それらが学生の理解と前向きな取り組みにつながっていると感じた。自由記述での「課題が多い」、「練習時間が少ない」というものをうけて、授業内で身につけた技術や知識はその場限りではなく、授業後の自主練習をもって繰り返し行うことが重要であることを伝える必要があると改めて感じた。	1	1	1
音楽Ⅰ (学保クラス)	森脇由紀	すべての項目で学内平均を下回っているのは、反省すべき点である。A教員の姿勢の項目はほぼ4を頂いた。しかしB授業の内容では4をやや下回っている。	課題が難しいが頑張ります、という前向きな意見が多かった。定期的に行われる授業内テストと、定期試験で大変ながらも目標に向け前向きに取り組んでいる学生の本音が少ない言葉からも読み取れ、参考になった。	保育士という資格の重さを再確認し、この授業の中で出来る事を最大限生かしたい。学生に意識を促すとともに、教師側も意識を持って授業にあたらなければならない。熱意を率直に伝え、教材、教師の存在を有意義に活用してもらえよう、話し合いを積んでいきたい。	1	1	1
音楽Ⅱ (1・2組)	久保雅世	ほとんど項目で、4以上の評価をいただいた。特に授業の教え方の項目については、ほとんどの学生から高評価を得ていた点が、特に良かったと感じる。	音楽Ⅱの授業では、就職が目前に控えているため、しっかり頑張ろうという前向きな意見が多くみられた。また、最後の授業で行った発表会が高評価を得ていて、学生の積極性や、やる気の向上につながったのではないかと感じる。	保育現場で通用する力を身につけるためにも、学生時代に1つでも多くの課題をこなしておく必要がある。自分自身で楽譜を読む力をつけるためにも、普段から練習する習慣をつけることの重要性を、もっと学生に伝えていかなければいけないと感じた。	1	1	1
音楽Ⅱ (3・4組)	中東愛子	すべての項目において学内平均より上回っているという結果をいただいた。特にB-1の結果が1番高かった。	「厳しく指導していただき自分のためになった」、「苦手だけど頑張ろうと思った」など前向きな意見が多くみられた。また最終授業の発表会に、学生同士力を合わせて取り組もうという意見も多かった。	音楽Ⅰよりさらに高度な課題をこなしていかなければならない中で、学生の「やる気」を損なわせることなく指導にあたっていきたい。また、授業外での練習の必要性ももっと伝えていきたい。	1	1	1
音楽Ⅱ (5・6組)	小齊由美	学生の授業への取り組み姿勢が学内平均を上回った反面、教員の授業内容に関する評価が下回った。	個人レッスンのため、教員により授業の進度が変わる等の意見や、最終授業の発表会に意欲的に取り組もうとする意見があった。	授業の理解度を深めるため、教材や説明に工夫を凝らしながら学生一人一人の授業が有意義になるように努めたい。	1	1	1

2011年度後期 保育学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
図工Ⅱ	香月欣浩	学内平均を予想以上に上回っていた。選択授業で会ったことが理由だろう。	大変意欲的に取り組んでいて自分の将来のために授業に取り組んだ学生が多かった。	授業の理解度が悪いため、内容を基礎的なものに変更し、理解度アップに努める…	1	1	1
生活Ⅱ	長谷秀揮	教員の取り組み姿勢と授業内容についての評価は、学内平均と比較すると若干低い評価だったが、初めて担当させて頂いた科目であり今後の課題としたい。	ビデオやDVDといった視聴覚教材の活用を評価する意見が複数あり、かづけられた。勉強しやすい環境づくりについては、さらに配慮が必要であることが分かった。	授業の内容については理解の為の授業の工夫の項目で評価が高かった。反面、勉強しやすい環境づくりの面での評価が若干低かった。私語対策等を徹底していきたい。	1	1	1
保育者論 (1・2・3組)	伊東美栄子	授業内容の理解が学内平均を下回っていた。月曜日の1時限目という事もあり、疲れが出ていた学生が多かったと思います。	絵本や、歌を教えてもらって楽しかったとの記述があり、実践に役立つものを増やし、保育士志望がより高まるように努めます。	授業中はマイクを使用し、板書もできるだけ大きくしたので、今後も続けていきたい。資料の難しい言葉の意味を丁寧に説明してもらったと意見もあり、より授業の改善に取り組めます。	1	1	1
保育者論 (4・5・6組)	伊東美栄子	学生からは予想以上によい評価を頂いた。	絵本や、歌を教えてもらって楽しかったとの記述があり、実践に役立つものを増やし、保育士志望がより高まるように努めます。	授業中はマイクを使用し、板書もできるだけ大きくしたので、今後も続けていきたい。資料の難しい言葉の意味を丁寧に説明してもらったと意見もあり、より授業の改善に取り組めます。	1	1	1
発達心理学Ⅱ	北村瑞穂	教員の取り組みでは、全ての項目で高い評価を得たが、学生自身の評価は、私語、メール、居眠りなどの項目で自己評価が悪かった。	「楽しかった」「子どものことが良く分かった」という意見があった。全体的に好意的な評価だった。	(来年度はこの授業を担当しないため、改善には取り組めない。)	1	0	0
発達心理学Ⅱ (1・2・3組)	北村瑞穂	学生自身の授業態度の評価が、あまりよくなかった。総合評価は平均的であった。	「楽しかった」「子どものことが良く分かった」という意見があった。全体的に好意的な評価だった。	(来年度はこの授業を担当しないため、改善には取り組めない。)	1	0	0
発達心理学Ⅱ (4・5・6組)	北村瑞穂	総合評価が4であり、学内平均を下回った。シラバスに書かれた授業目標を達成するために適した授業であったの評価が3.89と少し低めであった。	「DVDが面白かった」「もっと心理テストをやりたい」という意見があった。全体的に好意的な評価だった。	(来年度はこの授業を担当しないため、改善には取り組めない。)	1	0	0
精神保健 (1・2・3組)	石川 肇	8割以上の学生が総合評価で高い評価をしてくれたので、授業の意図が伝わったように思われる。	難しい内容であったが楽しく授業を聞いた学生が多い印象である。板書の量が多いとの指摘が多数あった。	板書方法の工夫やスライドの使い方などを工夫し、より興味を持ちやすい内容にしていきたい。	1	1	1
精神保健 (4・5・6組)	石川 肇	半数以上の学生が総合評価で高い評価をしてくれたので、授業の意図が伝わったように思われる。	表現が難しい、ノートに書く量が多かったとの指摘があったが、楽しかった何度の肯定的な評価も多く見られた	板書方法の工夫やスライドの使い方などを工夫し、より興味を持ちやすい内容にしていきたい。	1	1	1
幼児臨床心理学 (1・2組)	鍛冶谷静	一部学生の私語を注意しきれず、クラスの雰囲気を立て直すことができなかった点が一番の反省点である。それが評価にも反映されている。	やはり、授業環境に不満を訴えたコメントが複数あった。	かなり専門的な内容も取り上げたので心理学に興味を深めてくれた学生も少なくなかった(コメントより)が、落ち着いた環境があってこそその学習だと思うので、学生との関係のとり方について十分考えたいと思う。	1	1	1
幼児臨床心理学 (3・4組)	鍛冶谷静	概ね肯定的な評価であるが、回答数が履修学生の約25%と低いので、その信頼性を疑う。コメントはその3倍以上提出されているのである。	パワポを使用しているが、それをノートに写させたので書き取る量に関する不満(多い)が散見された。	ノートテイクの量は確かに多かったと思うが、見やすく分りやすかったとの意見もあり、画面切り替えの速度などに留意したい。	1	1	1

2011年度後期 保育学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不足点 が明確に なった	授業改善 への意識 が高まった	授業の具 体的改善 に取り組む
幼児臨床心理学 (5・6組)	鍛冶谷静	教員の話し方についての評価が特に低い。授業途中に学生に声を通っているかどうか確認するなどが必要かもしれない。	臨床的な事例を多く紹介した点は良かったようである。	保育の専門性をこえる内容も扱ったが、より内容を精選し学生の理解を促す工夫をしていきたい。	1	1	1
小児保健実習 (1・2組)	吉井珠代	授業評価実施当日、20名近くの出席者だったにもかかわらず、評価を送信してくれたのが、6名だったことが驚きであり(自由筆記枚数は、ほぼ全員分回収した)、結果数が少ないので、分析が難しい。	当該科目の実技演習には、実習室の設備機器に限りがあるため、全員に体験させようとすると時間配分を綿密に計画しなければならず、毎回配布資料で実技手順を示すなど授業準備を密にして臨んでいるが、配布資料や授業が分かりやすいかの回答が項目中最高点であったことでわずかも私の工夫点が伝わったと胸を撫で下ろしている。また、自由筆記では「実習が楽しかった」との意見が多かった。	携帯メールでの解答は、担当教員が送信の有無をその場で確認できないので、今回のように回答が少ないことがもどかしい。	0	1	1
子どもの保健 I (1・2・3組)	内田クリ子	授業中の私語、勉強集中は平均より下回っている。授業の工夫・内容も下回っている。勉強しやすい環境づくりも下回り、実際環境づくりがうまくいかなかった。	授業中周りがうるさい意見あり。解りやすいもあるが、解りにくい、プリント見づらかった意見もある。また、もっとしっかり聞いておけば良かった意見もある。	授業の理解度をアップさせるためにも、内容を基礎的なものから、専門用語の押さえ、なるべく具体的に、学生に考えさせる方略を工夫したい。意識して話し方、板書、やりとりにゆとりを持つ。	1	1	1
子どもの保健 I (4・5・6組)	内田クリ子	授業中の私語、勉強集中は平均よりかなり下回っている。教員の取り組み、授業内容すべてが平均より下回っている。内容理解も下回り、厳しい内容である。実際環境づくりが非常に難しかった。有効回答数5名少なすぎ、反省である。	早口、声が聞きとりにくかった。ゆっくり話してほしい。字を大きくしてもあり。保健が解ったもあるが、難しい意見もある。	授業の理解度をアップさせるためには上記同様。科目の意義、教員側の意向をしっかり伝える。授業の環境づくりを意識して、学生との関係を築けるよう努力する。	1	1	1
小児栄養 I (Cクラス)	石村哲代	Ⅱ. のA) 教員の姿勢の2～4、B) 授業の内容の1～2、C) の総合評価の評定値が全て5.0という結果である。本来ならば日ごろの労が報われたと喜ぶべき結果であるが、残念なことに評価した学生数が受講者18人中6人のみである。調査に当たり、全員が協力してくれたものどばかり思っていたので、この人数にはショックを受けている。携帯による調査については、意識的に回答数を増やす努力をしなければならない、というのが今後の課題である。	自由記述については、経験上白紙提出が多いので、今回は、予め「最低5行は必ず記述すること」という指示を予め与えたうえで実施した。その結果、記述率はアップしたが、内容的には、改善に資するような指摘は特に見られなかった。	6名という極めて低い回答数で、恐らく超まじめな学生ばかりの評価と考えられるが、当結果から自己評価をすれば、A) の1の評価が4.5と他に比べてや低い点についてである。恐らく授業のスピードが速すぎることに對する不満の表明と思われるので、この点については、今後意識的に改善したいと考えている。	1	1	1
小児栄養 I (Dクラス)	奥田玲子	有効回答数が全体の1/3であるので全体の評価を知りたいところである。(受講人数24に対し有効回答数8) 予測より全体に低い評価であった。	試験範囲が広く、勉強の量が多いという意見が多く見られた。	要点のポイントをもう少し絞り、理解度を確認しながら繰り返し学習する機会を設けるなど、授業方法に改善を加えたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
小児栄養Ⅱ (Cクラス)	石村哲代	Ⅱ. のA) 教員の姿勢の2～3、B) 授業の内容の1～2、C) の総合評価の評定値が全て5.0という結果である。本来ならば日ごろの労が報われたと喜ぶべき結果であるが、残念なことに評価した学生数が受講者16人中5人のみである。調査に当たり、小児栄養Ⅰ同様、全員が調査に応じてくれたものとはばかり思っていたので、この回答数にはショックを受けている。携帯による調査については今後、意識的に回答数を増やす努力をしなければ、というのが今後の課題である。	自由記述については、経験上白紙提出が多いので、今回は、予め「最低5行は必ず記述すること」という指示を予め与えたうえで実施した。その結果、記述率はアップしたが、内容的には、改善に資するような指摘は特に見られなかった。	5名という極めて低い回答数で、恐らく超まじめな学生ばかりの評価と考えられるが、当結果から自己評価をすれば、A) の1と4の評価が4.8と他に比べてやゝ低い点についてである。1. については恐らく授業のスピードが速すぎることに對する不満の表明であり、4. については勉強しやすい授業環境づくりに何らかの物足りなさがあったのかも知れない。これらの点については、今後より意識的に改善したいと考えている。	1	1	1
小児栄養Ⅱ (Dクラス)	奥田玲子	有効回答数が全体の約1/3であるので全体の評価を知りたいところである。(受講人数25に対し、有効回答数9) 教員の取り組み姿勢は概ね良い評価であった。しかし総合評価は平均をやや下回っており改善が必要と感じる。	実習は良く取り組めており満足度が高いと感じられる記述が多く見られた。	実習での満足度、理解度は高いので、講義での授業の進め方を小児栄養Ⅰと同様に工夫したい。	1	1	1
乳児教育 (1・2組)	城野富美代	授業内容の理解が学内平均を少し上回ったことは、視聴覚教材等を利用しながら授業を進めたことで理解しやすくなったと思われる。	後期は実演が多かったことから、授業が楽しかったといった意見も多く、実習時に、実際に実践してみようという意欲がでてきたという意見もあった。	耳で聞くだけではなかなか理解しづらいことが多いことから、目で見ることで子どもの成長を理解していけるようにビデオなども活用しながら、授業を進めていきたい。	1	1	1
乳児教育 (3・4組)	城野富美代	全ての面で、理解しづらいといった評価だった前期から比較すると後期は少し内容の理解もできるようになってきているということなので、実演を取り入れた内容を多くしながら授業の理解を深めていけるようにしたい。	板書を消すのが早いといった意見が、後期も数名あり、そのつど、声掛けをして消すようにはしているのだが、なかなか全員の理解にはつながらない。	学生が前向きに取り組みができるように授業内容を工夫することが必要。	1	1	1
乳児教育 (5・6組)	城野富美代	評価は厳しく、学内平均を下回る授業内容となったことから、項目の1つ1つ(教え方)(授業の内容)などについて、改めて見直しをする。	評価と違い、授業が楽しかった、わかりやすかった、すごく勉強になった、といった意見が非常に多かったのだが、実際には理解しづらいといった評価なので、授業の組み立て、授業の方法など工夫する。	授業のはじめには、前回の授業の大事な箇所を再度復習し、休んでいた場合にも理解できるように授業を進めるようにしているが、再度、方法等について見直しを行う。	1	1	1
障害児保育 (1・2・3組)	馬場耕一郎	予想以上により評価を頂いた。	特記事項なし	質問の時間を積極的に設け、解りやすい授業を提供したい。	1	1	1
障害児保育 (4・5・6組)	馬場耕一郎	予想以上により評価を頂いた。	特記事項なし	質問の時間を積極的に設け、解りやすい授業を提供したい。	1	1	1
児童家庭福祉 (1・2・3組)	曾和信一	全体的に見て、学内平均よりもやや下回っているといった結果になっている。	私語に関する注意喚起をしてほしいといった内容の意見が複数あった。	授業内容の理解度を問う項目について、授業平均がかなり学内平均を下回っており、分かり易さに心掛けることが必要であると痛感した。	1	1	1
児童家庭福祉 (4・5・6組)	曾和信一	教員の姿勢を問う項目について、学内平均と大差は見受けられないものの、総合評価が低いといった結果になっている。	授業の進展するスピードがやや早いという意見が僅かながら見られた。	授業内容を展開していくには、その進度への配慮が必要であると考えさせられた。	1	1	1
社会福祉 援助技術 (1・2組)	石川 肇	9割以上の学生が総合評価で高い評価をしてくれたので、授業の意図が伝わったように思われる。	事例など身近な話題を通しての授業であったのでわかりやすかったと言う意評価と理解しやすかったと言う感想が多いように思えた	板書の字が読みにくい(字が下手)との指摘があったので、丁寧な板書の心がけたい。量的な配慮も必要かと感じた。	1	1	1

2011年度後期 保育学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
社会福祉援助技術 (3・4組)	石川 肇	7割以上の学生が総合評価で高い評価をしてくれたので、授業の意図が伝わったように思われる。	授業での話し方を上手いと言う学生が何名かいたことに嬉しさを感じた。ただ板書量が多い、文字が下手との指摘を多くの学生から指摘された	板書の字が読みにくい(字が下手)との指摘があったので、丁寧な板書の心がけたい。量的な配慮も必要かと感じた。	1	1	1
社会福祉援助技術 (5・6組)	石川 肇	半数以上の学生が総合評価で高い評価をしてくれた。ただ、3クラス同じ内容で授業をしたにもかかわらず評価にばらつきがあったことに、その原因を考えなければと思った	事例など身近な話題を通しての授業であったのでわかりやすかったと言う意見もあったが、演習課題が難しくわかりにくかったと言う指摘も多く見られた	事例に関しても、3クラス同じように説明しているのがあるが、受け取り方、感じ方が違うので、学生の状態を考えながら工夫するべきであると感じた	1	1	1
社会的養護 (1・2・3組)	曾和信一	教員の姿勢を問う項目について、学内平均よりもやや高いが、総合評価は学内平均と同率という結果になっている。	授業内容に即したビデオ鑑賞については、肯定的な意見が多く見られた。	全体的に授業平均をより高めるために、視聴覚教材の活用創意工夫を加えていきたいと考える。	1	1	1
社会的養護 (4・5・6組)	曾和信一	授業内容の理解度を問う項目について、授業平均がかなり学内平均を下回っているという結果になっている。	授業内容がやや難解で、時にはついていけない時があるという意見が見られた。	授業内容それ自体の再度問い直し、よりよいものにしていく必要であると考えます。	1	1	1
保育計画論	曾和信一	シラバスに書かれた内容とはやや異なっていることに対して、評価が低いという結果になっている。	学生がイメージしていた授業とはやや異なっていたことへの戸惑いが書かれたものが散見した。	授業計画に即しつつ、臨機応変に授業を進めることの重要さに気づかされた。	1	1	1
教育課程論 (1・2・3組)	山田秀江	学生からは教員の取り組みに対して、学内平均より高い評価をもらった。しかし学生自身の授業への取り組みについての評価が学内平均より低かった。	静かに授業を聞ける環境を作っていたことを評価する意見があり、分かりやすかったという学生が多かった。板書が早く書くのがしんどいという意見や指導案など理解できないという意見が2割程度あった。	教育課程や指導計画は保育現場で働くには必要不可欠なものだが難しい内容もあるので、全員が理解できるよう繰り返し、丁寧に指導するよう心掛ける。	1	1	1
教育課程論 (4・5・6組)	山田秀江	学生からは教員の取り組みに対して、学内平均より高い評価をもらった。他クラスと違って、学生自身の授業への取り組みについての評価が学内平均より高かった。	静かに授業を聞ける環境を作っていたことを評価する意見があり、分かりやすかったという学生が多かった。板書が早く書くのがしんどいという意見や指導案など理解できないという意見が2割程度あった。	教育課程や指導計画は保育現場で働くには必要不可欠なものだが難しい内容もあるので、全員が理解できるよう繰り返し、丁寧に指導するよう心掛ける。	1	1	1
保育内容健康 (1・2組)	長谷秀揮	総合評価が学内平均より高く、また各項目でもそれぞれ高い評価であった。ただ勉強しやすい環境づくりについては若干だが学内平均を下回った。	授業がわかりやすかった楽しく学べたという意見が複数あり大いに力づけられた。もう少し丁寧に説明してほしいという意見も少数あった。	テキストに沿って丁寧に講義し解説すること、そして適宜ビデオ等の視聴覚教材を活用することが授業理解のポイントになることが改めて確認できた。今後活かしていきたい。	1	1	1
保育内容健康 (3・4組)	長谷秀揮	学生からの評価は予想以上に高く、総合評価をはじめほぼ全項目で平均を上回った。ただ教員の話し方の聞き取りやすさについてはやや平均を下回った。	授業がとてわかりやすかった、しっかり学べたという意見が複数あり力づけられた。ノートの取り方が少し難しかったという意見も少数あった。	学生からの評価では、特に質問や発言への対応についての項目が学内平均を大幅に上回っていたので今後の参考とし、より丁寧な授業づくりにつなげていきたいと思う。	1	1	1
保育内容健康 (5・6組)	長谷秀揮	学生の授業への集中についての項目では平均を上回っていたが、総合評価をはじめ教員の取り組みと姿勢と授業内容の項目では少し平均を下回った。	授業がわかりやすく保育の現場の状況を詳しく知ることができ現場で実際に役立つことを学べたという意見が複数あり力づけられた。テキストのアンダーライン箇所が多かったという意見もあった。	授業がわかりやすく板書の字が大きくて見やすいことも楽しい授業だったという学生からの意見に反映していると思われる。これを参考によりよい授業づくりに繋げていきたい。	1	1	1

2011年度後期 保育学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
保育内容演習(音楽表現) (1・2組)	杉田清子	教員の独りよがりにならないよう、学生と向き合って授業を行うことを心掛けた。その結果、態度の悪い学生を注意しながら学生の反応を見て授業を進めることができ、学生を引き付ける事ができた。ⅡのABの教員の評価で4.5平均の評価が出た	前半に行った保育祭の取り組み(合奏)は大変充実していたようで良い取り組みだったと改めて感じた。毎時間の課題については、多くて難しいと感じながらも、内容の意味を理解して必要と感じて取り組んだ結果、力になったことを実感したようだ。	同じ内容の授業でも毎年学生によって反応が異なる。また、季節や時間帯によっても異なる。集中できる環境を作りながら、常に学生の反応を見て、力の付く授業を行えるよう工夫していかなければならないと感じた。	1	1	1
保育内容演習(音楽表現) (3・4組)	木谷祐子	全体的に、評価が学内平均を下回っていることは、反省すべき点である。ただ、その中でも、総合評価は「良かった」という回答が多く、この授業を通して学生が得たものも多かったのではないかと感じた。	「楽しかった」という意見がある一方、「課題が多い」という意見も見受けられた。	課題については、理解度に差があるため、与える前の説明の段階での工夫が必要だと感じた。学生が意欲的に取り組めるように努めたい。	1	1	1
保育内容演習(音楽表現) (5・6組)	大森由美子	学生からは全体的に良い評価を頂いたが、ⅡA-1、ⅡB-2は学内平均を下回っていることから、反省すべき点、改善すべき点が明確になった。	「楽しかった」「良い経験ができてよかった」と言う記述が多かった。	授業内容をより一層充実させる事で、学生の意欲・集中力を高めるよう努める。	1	1	1
保育内容演習(造形表現) (1・2組)	香月欣浩	だいたい学内平均を上回っていた。	絵を描くことを苦手とする学生は辛い課題もあったようだった。	苦手なことと必要なこと。それを抵抗なくできる方法を考えるのがこれからの課題である。	1	1	1
保育内容演習(造形表現) (3・4組)	香月欣浩	だいたい学内平均だった。	授業環境、学生対応に少し不満を感じられた。	授業環境、学生対応をもっと意識して行きたい。	1	1	1
保育内容演習(造形表現) (5・6組)	香月欣浩	だいたい学内平均を上回っていた。	苦手なりのも頑張った学生が多かったようだ。	より質の高い授業内容を目指して研究を続けたい。	1	1	1
保育内容演習(身体表現) (1・2組)	谷玲子	学生から良い評価を頂きました。今年は、指導法を体験したり、創作活動やビデオ鑑賞も行うことができましたので、良かったと思います。	楽しく受講できたという記述がありました。	学生から良い評価を頂きましたが、授業内容はかなり基礎的な内容にとどまっていますので、レベルを上げた授業ができるように、学生方と格闘していきたいと思います。場所の関係もあり、授業中の学生の動きが弱いように思います。今以上にやる気の出る授業を作り出せるように努力したいと思います。			
保育内容演習(身体表現) (3・4組)	谷玲子	学生から良い評価を頂きました。今年は、指導法を体験したり、創作活動やビデオ鑑賞も行うことができましたので、良かったと思います。	ビデオをもっと見たかったという記述がありました。	学生から良い評価を頂きましたが、授業内容はかなり基礎的な内容にとどまっていますので、レベルを上げた授業ができるように、学生方と格闘していきたいと思います。場所の関係もあり、授業中の学生の動きが弱いように思います。今以上にやる気の出る授業を作り出せるように努力したいと思います。			
保育内容演習(身体表現) (5・6組)	谷玲子	学生から良い評価を頂きました。今年は、指導法を体験したり、創作活動やビデオ鑑賞も行うことができましたので、良かったと思います。	動くことが苦手だったが、楽しく受講できたという記述がありました。	学生から高い評価を頂きましたが、授業内容はかなり基礎的な内容にとどまっていますので、レベルを上げた授業ができるように、学生方と格闘していきたいと思います。場所の関係もあり、授業中の学生の動きが弱いように思います。今以上にやる気の出る授業を作り出せるように努力したいと思います。			
保育内容演習(総合表現) (1・2組)	香月欣浩	どの項目も学内平均を下回っており、全てにおいて評価が悪かった。	授業の環境や、役割分担において不公平を感じた学生が多かったようだ。	あまりにも広い領域にまたがっており、目に見えない不安や不満が学生の中にあることを年々感じてきた。手順やルール、予定、成績の付け方を文章にしたり画像で見せるなどの具体的な手立てを考えて行こうと思っている。	1	1	1

2011年度後期 保育学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
保育内容演習(総合表現) (3・4組)	香月欣浩	学内平均を少し上回っていた。	発表までの準備や仲間との協力が大変だったようだ。	あまりにも広い領域にまたがっており、目に見えない不安や不満が学生の中にあることを年々感じてきた。手順やルール、予定、成績の付け方を文章にしたり画像で見せるなどの具体的な手立てを考えて行こうと思っている。	1	1	1
保育内容演習(総合表現) (5・6組)	香月欣浩	ほぼ学内平均だったが、総合評価は良くない。	授業中の私語など環境に不満を持っている学生もいたようだ。	あまりにも広い領域にまたがっており、目に見えない不安や不満が学生の中にあることを年々感じてきた。手順やルール、予定、成績の付け方を文章にしたり画像で見せるなどの具体的な手立てを考えて行こうと思っている。	1	1	1
指導法の研究 (1・2・3組)	山田秀江	学生からは教員の取り組みに対して、学内平均より高い評価をもらった。しかし学生自身の授業への取り組みについての評価が学内平均より低かった。総合評価では100%の学生が4. 5に回答しており驚いた。	「為になる授業だった」「おもしろい授業だった」と良い評価が多いが、「講義なので眠かった」「寝てしまった」という意見が多く残念だった。	学生にとって興味ももてる授業内容だったようであるが、眠くなるということはそれだけ学生を引き付ける魅力が足りないということだと思われる。もっと緊張感のある授業や目が覚めるような工夫をしなければならぬと感じた。	1	1	1
指導法の研究 (4・5・6組)	山田秀江	学生からは教員の取り組みに対して、学内平均より高い評価をもらった。他クラスと違って、学生自身の授業への取り組みについての評価が学内平均より高かった。私語の注意に関して1人の学生が1と評価しており、気になるところである。	「為になる授業だった」「興味ももてる授業だった」と良い評価が多く、真剣に聞けたという学生も多かった。	他クラスと同じ授業内容で進めているが、こちらのクラスは真剣に授業を聞いていたと答えている学生が多い。実際授業中も、こちらを向いて話を聞いている学生が多く、非常にやりやすい授業であった。このようなクラス間の差はどこからくるの分からないが、今後も学生にとって有意義な授業となるよう努力したい。	1	1	1
情報機器演習 (2年1・2組)	宇治典貞	授業中の私語等が多かったようだが、授業の内容として、演習が多く、特に私語を止める必要がなかったため、問題視していない。「教員の取り組み姿勢」、「授業の内容」は平均または平均以上の評価があり、特に問題なし。	「楽しかった」や「就職後に役立ちそう」といったコメントが多く、授業内容に興味を持ってもらえたようである。	教材等の見直しをするのは当然なので、それ以外は特に考えていない	0	0	0
情報機器演習 (2年3・4組)	宇治典貞	授業中の私語等が多かったようだが、授業の内容として、演習が多く、特に私語を止める必要がなかったため、問題視していない。「教員の取り組み姿勢」、「授業の内容」のすべての項目で平均以上(平均より少なくとも0.21、多いものは0.49)との評価があり、特に問題なし。	「楽しかった」や「就職後に役立ちそう」といったコメントが多く、授業内容に興味を持ってもらえたようである。	教材等の見直しをするのは当然なので、それ以外は特に考えていない	0	0	0

2011年度後期 保育学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
金1・情報機器演習 (2年5・6組)	宇治典貞	授業中の私語等が多かったようだが、授業の内容として、演習が多く、特に私語を止める必要がなかったため、問題視していない。 ただ、欠席回数が他のクラスと比べて、かなり多い。1時間目の授業で、電車の遅延が数回あったが、遅れてくる学生への対処は考慮する必要がある。 「教員の取り組み姿勢」, 「授業の内容」の平均以下の項目が多い。他のクラスと違い、遅刻欠席が多かったため、授業がスムーズに進まなかったことが原因と考えられる。	「楽しかった」や「就職後に役立つ」といったコメントが多く、授業内容に興味を持ってもらえたようである。	教材等の見直しをするのは当然なので、それ以外は特に考えていない。 遅刻学生への対処が甘かった。処罰(出席点の大幅減点など)で、学生の意識を変える必要がある。また、遅れてきた学生に手を取られないようにするために、別途教材を用意すべきである。	1	1	0
情報機器演習 (1・2組)	柳本哲	全体に学内平均より低い結果となった。 A「授業の教え方」については、説明等において改善が必要である。	教室後ろの方では説明の音が聞き取れなかった等の指摘があった。	授業の内容についての事前の教材研究を確実に行う。	1	1	1
情報機器演習 (3・4組)	柳本哲	全体に学内平均と同じ程度の結果となった。 5時間目で、学生も疲れているなど、条件も余り良くなかったことが考えられる。	コンピュータに自信が持てるようになった。 タイピングは上達した。	5時間目の授業は避ける。	1	1	1
情報機器演習 (5・6組)	柳本哲	全体に学内平均より高い結果となった。 4時間目の授業で、3時間目の指導結果を改善して実施していたことに起因していると考えられる。	コンピュータに自信が持てるようになった。 タイピングは上達した。	この時間の指導を、他の2クラスでも行えるようにする。	0	0	0
総合演習 (1・2組)	長谷秀揮・曾和信一	学生からはそれなりによい評価がなされた。しかしながら、私語についての不満が見受けられ、そのことに対する注意喚起が必要であると考えさせられた。	授業が楽しかったという学生の意見がある一方で、騒がしくて授業に集中できなかったという意見もあった。	私語について、折に触れ注意を促し、授業にもう一層入って取り組むように配慮していきたい。	1	1	1
総合演習 (3・4組)	長谷秀揮・曾和信一	全体的に見て、学生からはかなりよい評価がえられた。もともと、より一層授業研究をはじめとして、精進していきたいと考える。	プレゼンのための教材の工夫をすれば、より授業への理解が深まるのではないかと建設的な提案をいただいた。	授業への集中を高める配慮とともに、授業の内容については、その表現は平易さに心掛け、その内容を豊かなものにしていきたいと思う。	1	1	1
総合演習 (5・6組)	長谷秀揮・曾和信一	総合評価が学内平均よりもやや低く、全体的に見て授業評価が低いという結果になっている。他のクラスと比べ、何故評価が低いのかについて、検討する必要がある。	授業内容がやや難解であり、授業のスピードもやや早いという意見が見られた。	授業の内容を理解していくには、授業のほどよいスピードも大切であると思われるので、ゆったりと取り組んでいきたいと考える。	1	1	1
教育実習A (1・2・3組)	山田秀江	教員の取り組み姿勢と授業内容に関しては平均値より高い値となっている。学生自身の取り組み姿勢でメールや居眠りなどの項目が平均より低いのが非常に気になる場所である。	実践的な授業内容だったので、おおむね肯定的なコメントであった。	学生自身の取り組みが、もっと積極的になるようさらなる努力をしたい。	1	1	1
教育実習A (4・5・6組)	山田秀江	教員の取り組み姿勢と授業内容に関しては平均値より高い値となっている。学生自身の取り組み姿勢でメールや居眠りなどの項目が平均より低いのが気になる場所である。	実践的な授業内容だったので、おおむね肯定的なコメントであった。	学生自身の取り組みが、もっと積極的になるようさらなる努力をしたい。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてはなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む			
保育実習指導Ⅰ (1・2・3組)	合田 誠	今回、新カリキュラムが導入され、例年とは大きく異なり、授業回数が大幅に増加したことは、事前指導の中身を充実できた。しかしながら、実習時期は従来通りのため、増えた授業回数を確保するには時間割が前期が隔週授業とせざるを得なくなり、学生にとっては授業理解が難しかったと思われる。このような状況下であっても、学生は真摯に取り組めたようで、評価は高かった。	特記すべきコメントは特になかったが、多くが「わかりやすい授業であった。」と記入してくれていた。	1. でも既述したように授業時期の理想は、「保育実習」を挟んで、事前・事後の授業が開講できれば申し分はない。さりとて実習時期の設定は、先方や他の養成校との関連もあり、こちらが考える時期にはできないことも十二分に承知している。次年度も、今年度と同様に前期は「隔週授業」の変則とならざるを得ないが、学生のモチベーションや興味をもてる内容の授業展開を考えたい。	1	1	1
保育実習指導Ⅰ (4・5・6組)	合田 誠	授業回数等のことは、記述したとおりである。このクラスの授業評価点をみて、他クラスの授業評価点と比較すると、興味あることに気付いた。それは全体的に他のクラスと比較して、このクラスの評価点が各項目すべてに高い点である。授業は、どちらかといえば、もう一方のクラスの方が、受け答えの「反応」等が良好であり、このクラスは今一つ、「反応」が返ってこない傾向があると常々感じていたところだが、評価の高さは意外であった。	他のクラスと同様に、特記すべきコメントは特になかったが、多くが「わかりやすい授業であった。」と記入してくれていた。	他クラスのコメントと同様にはなるが、変則授業をどのように工夫するか、また、「施設」という特殊事情のある世界に、正しい理解と前向きな実習を可能にするための、授業内容をさらに検討し、深めていきたい。	1	1	1
教職実践演習(1・2組)	山田秀江・鍛冶谷静	(山田) 学生の自己評価も学生の授業評価も全体的に学内平均より低かった。(鍛冶谷) 保護者対応や気になる子どもへの対応を取り上げたが、現場に出るとマニュアル通りにはいかない難しさがあり、さらにそれを学生に伝える難しさを痛感している。	(山田)「分かりやすかった」と回答している学生が多かった。反面、「記憶にない」などと回答している学生がおり、より興味を引く授業になるよう工夫したい。(鍛冶谷) 学生の求める「おもしろい授業」とはどのような授業なのか、教員の考える内容とのギャップについて考えさせられる。	(山田) 幼稚園の観察や教材研究など具体的に作業することには集中して取り組めるようなので、今後も保育現場で活かせるようなより実践的な内容を工夫していきたい。(鍛冶谷) 課題の内容、問題設定などを再考したい。もっと学生同士で討論できる時間があつた方がよかつたかもしれない。	1	1	1
教職実践演習(3・4組)	山田秀江・鍛冶谷静	(山田) 授業評価は非常に高く総合評価では100%の学生が4.5と回答している。しかし、学生の自己評価が学内平均より低いのが気になった。(鍛冶谷) 保護者対応や気になる子どもへの対応を取り上げたが、現場に出るとマニュアル通りにはいかない難しさがあり、さらにそれを学生に伝える難しさを痛感している。	(山田)「就職してから役に立つ」や「自分の為になる授業だった」など前向きな意見が多く、否定的な意見はなかった。(鍛冶谷) 保護者対応は学生がもっとも関心をもつ内容らしいことが見て取れた。さらに内容を精選していきたい。	(山田) 後半クラスだったので、前半クラスの反省を活かし、よりよい授業の進め方が見えてきて、私自身とても楽しい授業だった。来年度も引き続き良い授業ができるよう努力したい。(鍛冶谷) 課題の内容、問題設定などを再考したい。もっと学生同士で討論できる時間があつた方がよかつたかもしれない。	1	1	1
教職実践演習(5・6組)	山田秀江・鍛冶谷静	(山田) 全体的に学内平均と同じような評価となっている。聞き取りやすさの評価が平均より低いので、今後気を付けたい。(鍛冶谷) 保護者対応や気になる子どもへの対応を取り上げたが、現場に出るとマニュアル通りにはいかない難しさがあり、さらにそれを学生に伝える難しさを痛感している。	(山田)「分かりやすかった」「勉強になった」など前向きな意見が多く、否定的な意見はなかった。(鍛冶谷)「静かで教員の話がよく聞けた」とのコメントもあつた。	(山田) 全体の評価が学内平均と同程度になっているので、もっと評価が上がるよう、具体的に実践的な内容を取り入れていきたい。(鍛冶谷) 課題の内容、問題設定などを再考したい。もっと学生同士で討論できる時間があつた方がよかつたかもしれない。	1	1	1

2011年度後期 ライフデザイン総合学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的な改善に取り組む
日本語表現法(い)	富森盛史	やや厳しい評価であったと受け止めている。内容が多岐にわたるため、理解に時間がかかったことも理由と考えている。	板書が多い、との指摘があった。	わかりやすく、理解しやすく、を主眼として内容を精選し、より一層展開に工夫して進めていきたい。	1	1	1
日本語表現法(ろ)	富森盛史	予想以上に高評価であった。同じ内容の授業を別に行っているが、受講者との対話が比較的多かったことがプラスの評価となった理由と思われる。	厳しい意見はなく、「おもしろかった」という回答があった。	わかりやすく、理解しやすく、を主眼として内容を精選し、より一層展開に工夫して進めていきたい。	1	1	1
英語(英会話B)	奥田 純	少人数のクラスだが、良かったとプラスに評価した学生とそれほどではないという学生に二分された評価であった。全体的な数字としては良かったという学生の方が多く、良い数字となった。	ためになる内容で、また興味をもってもらって英語を勉強したいとのコメントもあった。	本年度初めて使ったテキストだったが、中身は実際のネイティブ同士の会話でよく使われる表現が多く、英語に関心のある学生には面白かったと思われる。学生に取り組みやすいように、語彙や表現の復習ができるノートの作成を検討したい。	1	1	1
ライフデザイン特論	仁平章子・奥田 純・奥田玲子	学内平均をやや下回る評価であったが、準必修クラスとしてはまずまずではないかと思われる。3人の教員のオムニバス形式の授業で一部の学生には理解しにくい内容や教え方と受けられているのかもしれない。	授業内容は分かりやすいとした学生が難しいとした学生を上回っている。就職、子育て、お金、法律、年金、保険と勉強になったという意見が結構多かった。ただ、スライドが見づらい、プリントとスライドとが連動していないとの少数意見もあった。	授業の大きな枠組みの変更は必要ないと思われるが、各教員の担当分で理解しやすい内容にそれぞれ工夫を進めていきたい。	1	1	1
教養の文学	富森盛史	文学に興味のある学生の選択ということもあり、授業内容を幅広く進めることができたことで、結果として評価も高かった。	「読んだことのない作品の話が聞いてよかった」という記述があった。	多くの学生にとって、読書の機会は多くないことに鑑み、可能な限り作品の紹介やポイントに触れるように進めていきたい。また今後は視覚教材を活用することに努めたい。	1	1	1
情報倫理	大野麻子	学生から全体的に良い評価を頂きましたが、私語への対応については「どちらでもない」と回答した学生が25%でした。	情報倫理の趣旨である「インターネットを安全、便利に、迷惑をかけずに活用するための知識や技術」について理解してもらえたようでした。	講義中は静かに、演習中は協力して取り組むスタイルで上手くすすめられたように感じますが、私語への対応について改善を行い、学生の満足度を上げたいと思いました。	1	1	1
くらしと政経	伏木真理子	良かったと良くなかったとに回答が2極化し、総合評価としては、学内平均を下回った。	・わかりやすかった。将来、役に立つことをもっと教えて欲しいです。 ・株式について何も知らなかったけど、詳しく知ることができてよかったです。 ・株式の運用の仕方とかも勉強したかった。 ・むずかしかった。よく授業がわからなかった。 ・ビデオだけじゃなく、もうちょっと分かりやすく教えてもらいたかったです。思っていた授業内容と違ったので、何ともいえない感じです。	授業の趣旨をつかんで理解した学生にとっては役立つものになったが、理解できなかった学生には難しいものとなってしまった。今回は株式取引に関わる手数料や、預金利息など計算が必要だったが、小数や分数の計算が出てくるだけで拒否反応を示す場合もあった。今後は学生の計算力も見た上で、簡略化することも検討したい。また、株式はあくまでも経済や社会の動きに関心をもつきっかけになるように活用しており、その旨も最初に強調しているのだが運用のほうに目がいっているケースもあったので気をつけたい。ビデオは良くできたものだが、時間が長いので途中で止めて理解できているか、また補足しながら使うようにしようと思う。	1	1	1

2011年度後期 ライフデザイン総合学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
くらしと環境	正岡 明	全体的に学内平均より上回った評価になっているが、17名中の3名しか回答していないため、この評価は正当なものであるかは判断しがたい面もあると思われる。授業開始当初、特に学生の反応に手ごたえがなく、意志表示も非常に乏しく、実際授業内容を理解しているのか、興味を持っているのか心許ない状況が続いた。そのため、授業の終わりにレポートを提出させたり、直接学生に話しかけたりして理解度を測った。途中から授業内容が難しすぎると意見ももらい、具体的にDVDや配布資料でかみくだいて説明することも試みた。又シラバスも当初から変更を試み、徐々に手応えも感じられたが、最後まで、学生の反応には不安材料があった。	学外授業で神社や公園、裏山の森林などへ連れて行き、実際に木や森に触れ、木の生態や森林の機能などを説明したことには学生も興味を示したようである。	もっと学生が積極的に興味を示せるような内容を工夫したい。一方的な講義だけでは退屈するのでさらに学外授業や設計図面など参加型の授業内容に改善していきたい。個々にミニレポートやアンケートを増やし、学生の意志疎通を図って行きたい。	1	1	1
くらしと陶芸	叶 雅夫	この授業は多少の会話コミュニケーションをはかりながら楽しく創作することも大切にしており、間3の集中が出来ていれば良い。	表現する事のむずかしさと楽しさを体験体験させていると実感している。	参考にして今後に行きたい。	0	1	1
日本国憲法と人権	曾和信一	有効回答者数が6名と少ないので、断定はできないが、総合評価は5という結果になっている。	授業に関して、好意的な意見が少なからず見られた。	授業の内容を掘り下げるとともに、わかりやすさに今後とも心掛けていきたいと思う。	1	1	1
スポーツⅡ	新野弘美	良い評価をいただきました。スポーツという科目名から高校の体育の延長的なイメージがあったようですが、実際は違い楽しく運動に向き合ったり、新しい種目に興味を持っていただけだそうです。	楽しかったという意見が大半でした。少人数でもあった為か、学年に関係なくコミュニケーションがとれていたと思います。栄養やダイエット、発育などの講話も興味を持ち、学びになったようです。	1限の開講なので、冬季は特に厳しいのですが、遅刻者が多かったので、開始時間厳守を徹底したいです。女子の2学年の集団ですので、今年度同様コミュニケーションを活発に生涯スポーツに繋がる様、努めます。	1	1	1
くらしとパソコン	渡邊伸樹	学生からは予想以上に良い評価を頂いた。しかし全てが5ではなかった。	学生から予想以上に良い評価を頂いた。	まだ向上できる部分があるため、その点の向上に努める。	1	1	1
社会人としての一般常識	富森盛史 ほかライフ教員	アンケートのいずれの項目も厳しい評価である。社会生活に必要な基本にかかわる内容を取り扱っているが、学生の反応は期待ほどではないことが学生の評価結果につながったと思われる。	とくに記載することなし	コミュニケーションに関すること、一般常識として求められる言語系、非言語系の内容をよりわかりやすく理解させるよう、さまざまな工夫を考えていきたい。	1	1	1
社会人のための国際理解	猪股 祐介	学生からは高い評価を頂いた。特に教員の姿勢に関して、話し方を除けば、3以下の評価が少なかったことは励みになった。ただ話し方・授業の工夫では厳しい評価もあった。プリントを配り板書するスタイルにおいて、授業の工夫が必要と感じた。	学生の自由記述は「国際ニュースや北朝鮮の核問題」などへの理解が深まったという、授業目標の達成を窺わせる内容が多かった。これは現在のニュースに関連づけて講義した成果といえる。他方で国際理解の基礎知識を欠いている学生にとっては、理解しづらかったようである。	どうしても講義1回で扱う分量が多くなる傾向があり、板書も話し方も早くなる傾向があったように思う。そこで、1回当りの分量を減らして、ゆっくり丁寧な説明を心がけたい。またレジュメも地図や写真等ヴィジュアル面を充実させる。必要に応じてDVD等のメディア資料も活用したい。	1	1	1
社会人の英会話	奥田 純	少人数のクラスで社会人の方も入った授業で、熱心な受講態度で非常に教えやすいクラスだった。社会人の方の評価は入っていないが、それを反映した良い評価だったと判断している。	日本語でもよく話題にする内容のテキストを使用した関係で、なじみやすいとのコメントであった。	基本的に内容、授業の進め方は問題なく、リスニング内容をもう少し深く掘り下げ、会話のアクティビティーを増やすことを検討したい。	1	1	1

2011年度後期 ライフデザイン総合学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
ファッションマーケティング	中野恭子	総合評価が全員5で、その他も学内平均を上回っていたが、授業中の生徒の集中力や目の輝きに注意を払っていききたい。また、「どちらかといえば」と答えた生徒にむけて授業内容を改善したい。	「ファッションブランドを立ち上げるのはたいへん難しかったが、楽しかった。」との意見が多かったが、演習を完成する過程でマーケティングを理解する授業内容を工夫したい。	集中力があり、前期のコーディネートで自らのブランドを完成し、後期のマーケティングで他者へのプレゼンテーションを完成した生徒が多かったが、さらに複数のバリエーションができる生徒を増やしたい。	1	1	1
ブライダル総論Ⅱ	小野清和	学内平均値より全て高かった事は嬉しいことです。それだけ学生の興味がある分野で、一度はやって見たい仕事であると思います。今後とも学生が一番知りたい事を教えて行きます。	後期は特に学園祭で模擬挙式・披露宴を実施。大成功した事で、学生のより理解度と満足度が充実したと思います。	時間の共有する意味、達成する喜び、人間関係の絆、すべては自発的行動の結果から得られ体験することで学ぶ事が大変多かった。との意見が多く模擬挙式・披露宴を実施した意味があった。	0	1	1
ブライダル演習Ⅱ	國田育代	学生からは予想以上のよい評価だったので、授業の意図は理解してもらえたと思っている	上記同じ	「学ぶ」「勉強する」「努力する」当たり前のようなあるべき姿を基にひとりひとりにブライダルの切り口から発言する機会を多くつくる内容にする	0	0	1
ブライダルプロデュース	國田育代	学生からは良い評価として点数を頂いたものの、回答数が少なかった為、これだけでは成果はわかりにくいと思っている。	特に目立つ内容はなく御礼の言葉などがあつた	2年生になり、プロデュースで学ぶべきことは、イベントに出ることで無く それを通してもっと大切なことを学んでもらいたいと思っている	0	0	1
ブライダル検定	小野清和	全体的に学内平均を少し下回っており試験対策としての過去問題の傾向と対策は少し難し過ぎたと思われる。	ABC検定対策なので、学生の質問や発言に対しては理解出来る様に対応・強化した事に評価はあつた。	ABC検定受験者全員合格と言う結果は満足している。幅広い試験内容なのでより基本的な知識と応用力に対する強化に今後とも取り組む。	1	1	1
プレゼンテーション演習Ⅱ	服部美樹	受講者が少なかつたので細かい指導が可能となり、学生からの評価もよかつたと思われる。	発表のための準備が大変だという記述があつたが、発表なくしてこの授業はない。	学生に準備が面倒と思わせないための工夫が要となる。	1	1	1
色彩の基礎Ⅱ	倉本真紀	切って貼るという作業も多く覚えることも多かつたため評価が気になつたが、意外に平均を上回る評価が得られた。	「色彩検定を受験したい」という記述もあれば「切り貼りが面倒だつた」という記述もあつたが、全体的には「面白かつた」という意見が多かつた。	授業の内容も確かにしっかりと組み立てなければいけないが、とにかく携帯電話をいじる生徒が多く、注意をしてもきりがないのが実情であるので、カラーワークを増やす方向で改善していききたい。	1	1	1
カラーセラピーⅠ	倉本真紀	思ったよりも学生の理解度が高く、自分自身と向き合うということに対して真剣に考えている学生が多いと感じた。ただカラーセラピーⅡに向けての授業内容だつたため、難しく感じられた感も否めない。	「すごく面白かつた」「必ずカラーセラピーⅡを受講し、セラピストを目指したい」という記述があつた反面、「すごく難かつた」という両極端な記述があつた。	ものさしで測ることができないこころの尺度である「色彩心理」をどのように伝え、また卒業後の仕事につなげることができるように、更に内容を充実させていききたい。	1	1	1
医療秘書実務	東野國子	人数が少なかつたせいか、アンケートの結果は良かつたように思います。	解くにはありません。(楽しかつたという程度です)		0	1	0
解剖生理学	奥田喜一	教員の姿勢、授業の内容ともが学内平均を上回つたが、総合評価では平均に届かなかつた。	内容は難しいが授業は楽しかつたという意見、やはり板書量が多いという意見、プリント一部の図が分かりにくいという意見があつた。	授業の理解度はほぼ良いようだが、更に理解度を深めるようにしたい。プリントの図については改良したい。	1	1	1
社会福祉概論	山戸隆也	学生からは質問への答え方には評価を頂きました。しかし、授業全体としてはもっと学生一人一人をしっかり見て、授業に反映させるべきだつたと反省しております。私語対策も甘かつたです。	「配布プリントもあり福祉のことがわかつてきた」、という指摘が複数ありました。「役に立つ」といった評価が多く励まされました。一方では、意欲の少ない学生をもっと引き込みたかつたです。	真面目な学生も少なくなく、福祉に興味を持ってくれた学生は増えました。学生の私語への注意のしかた、私語予防などを本で学びましたが、学生のことを的確に注意できなかったことが最大の反省点です。			

2011年度後期 ライフデザイン総合学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
介護概論	植北康嗣	授業評価は高く、指導内容については一定の満足があるようだった。しかし、欠席者や失格者もあり授業に対する関心度は決して高いとは言えないように思う。	介護について学ぶことが多かったといった記述がすべてで、不満や改善などについての意見はなかった。	授業の満足度は高かったことは良かったと思う。介護に対する知識や経験のない学生がほとんどなので、わかりやすさとリアルな講義を通じてさらに関心を高めてもらえるよう工夫していきたい。	0	1	1
臨床医学概論 I	富永 純子	自己評価よりも良い評価してもらったと思います。	解剖・生理・病気の成り立ちについてパワーポイントの工夫がされていて解りやすかったとの評価を頂きました。	より専門的な分野でしたので、内容的には大変難しかったと思いますので、もう少し理解度を高めるためにも、もう一工夫が必要かと考えます。	1	1	1
診療情報管理論 II	富永 純子	自己評価よりも良い評価してもらったと思います。	実際に医療現場で使用されているカルテの作成をして、医師が書いた内容から診療情報を拾い出すという作業を何回かに分けて実施したところ多くの学生が興味・関心を持ったようで楽しかったと評価を頂きました。	口頭でパワーポイントに沿って説明しても、理解しがたい部分もありますが、シュミレーションのように実際に医療現場で行われている作業を体験させると学生はかなり熱心に、また説明の理解が出来るようになったので授業内容の構成に努めたいと思います。	1	1	1
ICD コーディング実務演習 II	富永 純子	自己評価よりも良い評価してもらったと思います。	コーディングは楽しかったとの意見が多数ありました。	人数が多かったため、学生への配慮が行き届かない部分も多くありました。演習の授業で多人数の場合の対応を考慮して学生一人一人の理解度を高めていくための努力が必要かと思えます。	1	1	1
医療事務コンピュータ I	倉戸啓子	授業については概ねよい評価であった。	実際にカルテからパソコンに入力することでよく理解できた。(診療報酬算定の仕組みを)理解できていないとパソコンでも入力できないことがよくわかったという感想もあった。	近年の医療現場の実務に即した内容をより多く取り入れる。	0	0	1
医療事務コンピュータ II	倉戸啓子	同上	少人数なのでわからないところはすぐに質問でき、丁寧に教えてもらえるのでよかったという感想があった。	同上	0	0	1
診療報酬請求事務演習	倉戸啓子	概ね良い評価となっていた。	内容が難しかったという感想がある一方で、もっといろいろなパターンの問題を用意して欲しい、認定試験の学科問題で出題の傾向なども教えて欲しいという感想もあった。	特にありません。	1	0	0
外観の社会学 II (リハビリメイク 演習)	村上美樹	リハビリメイクの本当の意味を理解し、こちらが意図することが伝わったと思います。	外観を整えることで気持ちが変わり、行動の変化にもつながることを実習を通して実感してもらえたようです。	機会があれば、また授業を担当したいと思います。	1	1	1
食生活と健康	奥田玲子	前回より内容の充実を図り、平均より高い評価をいただいた。授業内容は概ね理解されたが今回はノートをとるスピードが極端に遅れる学生のスピードに合わせがちになり、他の学生の集中力が低下した。	食の大切さに気付いたという意見が多く見られた。自分の食生活の問題点に気づくことが出来、実際に食生活の改善に取り組んだ学生が多く見られ、目的は達成された。	理解度アップに努めたが、学生の理解力の差が大きい場合、全員の満足度を高める工夫がさらに必要と感じた。	1	0	1
食の歴史と文化	坂口守彦	授業開始前に想像したよりも良好な評価を得た。リラックスして授業に臨むことを心がけ、プリントを配布し、カラー写真やビデオを示して授業を実施したことなどが好結果を生んだものと思われる。	一般常識として既知であったり、高校の歴史の教科ですでに学習したところまで重複して教授しているところがあるので、今期はこの点に注意を払った。そのため、本授業にたいして特段に顕著な不満は見られなかった。	授業評価アンケートで好評であっても、期末試験の結果がこれに見合うものだけならば意味がない。来期はショートテストを実施しつつ、授業の理解度を深めたい。	1	1	1

2011年度後期 ライフデザイン総合学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
食の安全性	坂口守彦	熱意をこめて授業の実施にあたったので、学生の評価は学内平均よりかなり高かった。ただ、授業内容が十分理解されているとはいえない。	積極的な意見の陳述はきわめて寡少であった。印象にのこった事柄を記述させるなど設問の仕方に工夫が必要であろう。	授業は主としてプリン(本文と図表)を配布して進めたが、ときおりカラー写真などを提示した。これらは学生の理解を助けるために不可欠である。プリントの説明、補助教材などを組み合わせることで授業の要点を明示し、これまで以上に理解させることに努めたい。	1	1	1
食品材料の基礎知識	坂口守彦	ほぼ学内平均と同程度の評価を得たが、学生が正當に評価したのかどうか疑わしい。昨年度と授業内容、方法などはあまり違いはないが、昨年度の同期の評価よりもいくぶん低かった。	科目の性格上基礎的な部分が多く、学生の興味をつなぎとめにくいところがある。授業内容が難解だ、授業内容のポイントが明確ではないなどの指摘がみられた。	今年度はプリントなどの補助教材を多用し、学生の興味をつなぎとめる方向で授業をすすめたが、これがどの程度学生の理解度増加につながったのか明確ではないので、次年度も継続して実施し効果を確認したい。	1	1	1
食空間のデザインと演出(水2)	播 賢知	例年いない良い評価を得、驚いています。ただ単純に①ばかりでチェックをしたのではないことを願っています。	講義内容もそうだが、それ以外に作法や行儀など将来的に役立つという声が多かった。面白い、楽しかったという声が多かった。	毎年同じことを話してきているのに、こんなに評価に差が出るのが不思議。今後も今までどおり生活に密着した話、そして一人間として役立ててもらえるよう頑張ります。	0	1	0
食空間のデザインと演出(水3)	播 賢知	同上	同上	同上	0	1	0
調理の基礎と科学	石村哲代	この授業についての回答数は19人中12人の回答数(約63%)である。総合評価は4.08で、項目別ではA、B)共に4.00前後の評価となっている。その内訳を見てみると、半数の50%は教員の姿勢や授業内容の評価を5.0としており、恐らくその同じ学生達の総合評価が5.0となっているものと思われる。高くも低くも、授業内容のレベルが学生の能力レベルに合致している場合には評価が高くなることを示す結果といえる。ただしこの結果からだけでは、授業のレベルが高くて良かったのか低くて良かったのかは判断がつかず、授業改善に役立てにくいのが残念である。	自由記述については、経験上白紙提出が多いので、今回は、予め「最低5行は必ず記述すること」という指示を予め与えたいと実施した。その結果、記述率は大幅にアップしたが、内容的には、改善に資するような指摘は特に見られなかった。	A)の1~2、B)の1において、5の評価が若干減じているので、これらの点については学生の能力レベルに関係ない不満があった点と捉えて今後改善に努めていく。	1	1	1
調理実習Ⅱ(調理機器含む)(火2)	奥田玲子	学生が集中して実習に取り組んでおり、高い評価をいただいた。	集中して楽しく、実習に取り組んだという意見が多かった。カラーコンテストでの満足度も高かったと感じる。	このままの評価を維持できるように努めたい。	0	0	0
調理実習Ⅱ(調理機器含む)(月4)	末吉明美	ほとんどの学生から、予想通りの評価をもらったが、③(どちらでもない)を選んだ学生が少数いた。	おいしかったし、楽しかったという意見がほとんどだった。次週作る料理の予告が欲しかったという意見が1人あり。	学生の間で調理技術、理解度などに大きな差があうので、個々に対応した綿密な指導をしてゆきたいと思います。	1	1	1
製菓材料の基礎知識	林 真千子	残念ながら、全体的に学内平均を下回っており、中でも授業内容の理解度が悪かったようです。	全体的には、製菓材料の色々な知識が得られて良かったという意見が多く、内容的には満足が得られたようです。	授業内容理解度向上に向け、視聴覚教材と実演を今後ももう少し取り入れるようにしてゆきたいです。	1	1	1
製菓・ラッピング実習Ⅱ	栗村初音	学生から最高の評価をいただきとても感謝しております。今後もより工夫をし、楽しい実習内容にしたいと思っています。	学生からは「とてもおいしかったです、ラッピングもとても為になりました。」等、うれしい内容が書かれていました。	今年度はラッピングコーディネーター資格試験の受験者が5名でした。できれば、受講生全員が資格試験を受験し合格していただけるよう授業の中でラッピングの必要性、すばらしさを伝えていきたいです。	1	1	1

2011年度後期 ライフデザイン総合学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
アロマセラピー (演習を含む)	倉津三夜子	指導方法、内容ともに良い評価を受け、学生の満足感が反映されていると感じた。理論より実践を重視する内容に切り替えた結果だと考えられる。一方、総合評価に「良くなかった」という評価があり、A、Bの評価との食い違いの原因を捉えたい。	講義、実習ともに楽しんで受講できた様子が伝わってきた。	理論を基本的な内容にとどめ、実習の楽しさを主に日常の楽しさを伝えるようにすると学生の評価は上がるが、理解が浅くなる傾向が強まるので映像や素材の紹介を通じて理解を深めるよう工夫したい。	0	1	1
生活のサイエンス	緑川知子	全ての項目で学内平均を上回る結果であった。	「生活に役立つことばかりで、受講して良かった」「発言する授業で良かった」「すごくためになった」「いろいろなことを分かりやすく学べ 大満足」との声が多かった。が、少数であるが「パワーポイントが早すぎて分かりにくいところがあった」との記述もあった。	2012年度から開講されなくなるので残念である。	1	1	1
ライフ&ウェア	緑川知子	受講生が少ないこともあって、出席率も高く授業に集中できたようである。その結果、勉強しやすい環境であり、授業内容も理解しやすかったと回答された。	講義を受けていて楽しかった。いろいろなことを勉強できて良かった。という、プラスの声が多い中、パワーポイントをもう少しゆっくりしてほしいところがあったなど今後の授業改善に参考になる声もあった。	受講生が少ないことは学生にとって利点がある。が、資格取得に関連する科目や、必修科目と時間割が重なっていて、受講できず残念であったという学生の声があった。多くの学生が受講できるカリキュラム作りをお願いしたい。PPは欲張らず厳選してより分かりやすい講義を目指したい。	1	1	1
インテリア論	叶 雅夫	集中させられるようにしたい。	理解させられるようにしたい。	参考にして今後にかきたい。	1	1	1
マリッジライフ	小野清和	学生の総合評価は学内平均より高く良かったとの評価を頂く。	PowerPointを使用している授業でより理解度を高める為ノートを取る事が多かった箇所学生の評価は下回った。	女性が生涯強く・優しく・美しい女性になる為の生き方を高度成長期の時代と現在の時代を比較してマナーと品格を修得する内容なので受けて良かったとの声は多かった。更に理解度を高めたい。	1	1	1
クロスカルチャー (比較文化)	中村真里絵	今回はこれまでの学期と比べて全体的に低い評価だった。	ほとんどの学生が講義内容に関心を持ってくれたようだが、1、2人の学生は、私語を頻繁に注意していたことに対して不満を持っていたようである。	講義全体的の雰囲気アップさせるために、学生への注意の仕方や声の掛け方について、さらに配慮が必要だと思った。	1	1	1
情報活用演習Ⅰ (月2)	新田眞一	すべての項目について学内平均を下回っている。特に、話し方が聞き取りにくかったとの指摘をいただいた。今後とくに注意する必要がある。	理解ができたという記述が半数以上あったが、「話のスピードが速すぎる」との指摘がいくつか見受けられた。	よりゆっくりと話すように心がける。	1	1	1
情報活用演習Ⅰ (月4)	新田眞一	すべての項目についてわずかであるが学内平均を下回っている。やはり学内平均とほぼ同じでありたい。	概ねよい評価をえている。「話のスピードが速すぎる」という指摘は2人であった。「進むのが遅すぎる」という指摘も1人であった。	よりゆっくりと話すように心がけるようにするが、手持無沙汰の学生にも注意を払う必要がある。この2つの事柄をうまく実現するための工夫を考える必要がある。	1	1	1
情報応用演習Ⅰ	新田眞一	すべての項目について学内平均を下回っている。特に、話し方が聞き取りにくかったことと、総合評価がよくなかったこと、の指摘が読み取れる。	5人が回答してくれた。うち2人が「進み方が速い」とのこと、3人が「よかった」とのこと。	受講生の理解度を常に確かめながら授業を進めること。	0	1	1
情報活用演習Ⅱ (水1)	新田眞一	概ね学内平均を少しだが上回っている。話し方が少しだが学内平均をしたまわっている。	「わかりやすかった」という意見が多く見受けられた。「ちょっと簡単だった」「話のスピードが速かった」という意見がそれぞれ1人ずつあった。	理解度の程度・速さの異なる学生への対応を今後より工夫をしなくてはならない。	1	1	1

2011年度後期 ライフデザイン総合学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
情報活用演習Ⅱ (水2)	新田真一	全体的に学内平均を少し下回っている。特に、話し方が聞き取りにくいとの指摘が読み取れる。	「話すスピードが速い」との指摘が半数近くあった。「進度が遅い」との指摘が1人であるがあった。「よかった」との指摘は約半数であった。	理解度の程度・速さの異なる学生への対応を今後より工夫をしなくてはならない。	1	1	1
情報応用演習Ⅱ	新田真一	全体的に学内平均を下回っている。学生への対応のみ学内平均を上回っている。	3分の2ほどは「よかった」という指摘であった。3分の1弱が「むつかしい、はやい」との指摘であった。1人だが「進むのが遅い」との指摘があった。	理解度の程度・速さの異なる学生への対応を今後より工夫をしなくてはならない。	1	1	1
情報活用演習Ⅲ	新田真一	全体的に学内平均を少し下回っているが、「総合評価」のみ学内平均を上回っているのでよしとした。	「むつかしかた。進むスピードが速かった」という指摘が約半数あった。	問題演習をより多く取り入れて理解を深めるようにしたい。進むスピードも抑える。	1	1	1
情報機器利用プレゼンテーション演習	畑野清司	学生からは平均を上回る高い評価をいただいた。学生のいかなる疑問や質問にも真面目に答える姿勢も評価されたように思う。	ほとんどの学生は人前で話すことをむしろ苦手としており、就職などを意識して仕方なく受講した。しかしこの授業を通して著しく成長したと語っている。また授業は楽しかったとも述べている。	就職活動を意識して、人前で自分の考えていることをきちんと発表できるように指導して行きたい。またそのためには十分な準備がいることも授業を通して教えた。	0	0	1
通信・ネットワーク論	大野麻子	60名を超える授業で私語への対応に苦労しましたが、全体的には良い評価を頂きました。	特に1年生から、2年生の私語についての不満の声が多くあがっていました。	私語については、教室内の巡回や席替えを行ったり、口頭で注意したり、小テストを挟む等多くの取り組みを行い、だいぶ改善されたと思いますが、まだ他にも対策を講じる必要があると感じました。	1	1	1
マルチメディア論	畑野清司	辛うじて学内平均を上回る評価点をいただいた。内容が結構難しいので解りやすい解説に努めたが、その点は多少評価していただいた。	学生たちは「講義内容はプリントを配布されてそれに沿ってやるので判りやすかった。」「しかし聴く一方なので学生たちにも何かやらせてほしいかった。」「眠かった。」など	一方的に講義するだけではなく、もう少し学生たちに問いかける授業を展開してみたい。	1	1	1
マルチメディア演習	真下義和	全体的に悪くはないが平均を下まわっていた。もう少し学生が意欲を持って取り組める内容にしたい。	遅刻について指摘があった。あつてはならない事なので今後気を引きしめて取り組みたい。	マルチメディア分野は年々技術革新のある分野なので、現代的なテーマを今後も取り入れていきたい。	1	1	1
ウェブデザインⅠ	大野麻子	学生から全体的に良い評価を頂きました。助手の方々のサポートにより、個別対応ができたことが高い満足度につながったのではないかと思います。	説明が分かり易かった、楽しかったという意見が多くありました。	やりがいをもって授業に取り組んでもらえたため、習熟度に差のある学生全てがそれぞれのレベルに応じた目標を達成することができたように思います。	0	0	0
ウェブデザインⅡ	大野麻子	3名という少人数で、習熟度とモチベーションに大きく差があり評価が分かれました。ほぼ全ての項目について1(そう思う):2(どちらでもない)の回答となりました。	難しかったが為になったという意見がありました。	少人数であるからこそ個別のニーズに対応したいという気持ちで若干当初の内容をカスタマイズして授業を進めました。丁度良いと思う学生と物足りなく思う学生に評価が分かれてしまいました。中途半端に個別対応するより思い切って別メニューにするなどの取り組みを試してみるのも一案かと感じました。	1	1	1

2011年度後期 ライフデザイン総合学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
		授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む			
ウェブデザイン演習	大野麻子	全体的に良い評価を頂きましたが、私語について、「そう思う」55%に対し、「どちらでもない」33%、「どちらかといえばそう思わない」が11.1%と不満の声が多かったです。	やりがいを持って楽しく取り組みたいという意見が多かったです。	予想以上に大人数だったため、企画をグループワーク、製作を個人で、という変則的な形で進めました。ディスカッションが苦手な学生にはやや不評でしたが、全体的に高い満足度が得られ、最終課題のレベルも高いものが多かったので良かったですと思います。製作中の私語については打ち合わせ的な内容も多かったため黙認することが多かったですが、静かに作業したい学生への配慮もすべきであったと感じました。	1	1	1
ウェブプログラミング	大野麻子	全体的に良い評価を頂きましたが、授業内容の理解しやすさについて「どちらかといえばそう思わない」が7.7%と、少し難しく感じる学生が多かったです。私語についても「どちらかといえばそう思わない」が7.7%でした。	難しかったが説明が分かり易かった。達成感が得られた。面白かったという意見が多かったです。	ウェブデザイン I と並行で履修する学生が多かったため、HTMLの説明も多く入れましたが、それでも苦戦する学生が多く見られました。自分で考える態度を身につけさせる方針で授業を行ったため、一部の学生には難しいという印象が強く残ったようでしたが、達成感がえられたとの声も多かったため、演習形式の授業には有効であるように感じました。私語については演習中のディスカッションを歓迎したことが賛否両論となったようでした。	1	1	1
ビジネス実務概論	仁平章子	授業内容は理解しやすかったと評価している。しかし、内容に工夫されているかという評価に関しては、学内平均より少し低いことが分かった。	グループワークを行なったことを評価している。一二年合同の授業であり、グループワークによって一二年の交流が図れたことは良かったと考えている。	企業のことや組織のことを知らないために学生は、授業内容が分かりにくいとは思っている。したがって、視覚的に表示するようさらに授業展開を工夫する必要がある。	1	1	1
ビジネス実務演習(月2)	仁平章子	授業内容には高い評価をしている。また、教員の取り組み姿勢と授業内容に関しても総合的に高い評価であった。演習を中心とした科目であり、授業に取り組みやすかったと考えられる。	演習が楽しくわかりやすかったと記述している。	毎回の演習や小テストが適度な緊張感をもって授業に臨めたと考えられる。さらに、学生主体の授業を展開し、授業効果を挙げたい。	1	1	1
ビジネス実務演習(木2)	仁平章子	総合的に高い評価である。	演習が楽しくわかりやすかったと記述している。	毎回の演習や小テストが適度な緊張感をもって授業に臨めたと考えられる。さらに、学生主体の授業を展開し、授業効果を挙げたい。	1	1	1
事務文書管理	仁平章子	総合評価は高い。分かりやすい授業であったと評価している。	繰り返し小テストを行ったことが、勉強になった。また、課題を一人ずつ添削したことを評価している。	講義に加え演習を交えて授業を行なったことが、学生に理解された点だと考えられる。さらに学生主体授業を展開する工夫をしたい。	1	1	1
リテイリング(商品販売)	鴻本久美	全体的に学内平均を若干下回る評価となり、授業のすすめ方の工夫と、私語も注意することや、学生の質問を積極的に受けることなど、学生とのコミュニケーションの重要性を強く感じる結果でした。	社会の流通や販売のしくみに興味を持って頂いた事についてよかったと思います。なお「特になし」の回答も目立ったため、学生にとっての印象度が低かった点を残念に思いました。反省する点でもあります。	来期の授業がキャンセルとなり残念ですが、販売士3級テキストが改訂となり、より学びやすい内容となります。今後、また機会がありましたら、実習プログラムも含め理解度、興味の高まるよう、心がけたいと思います。	1	1	1
マスコミ論	竹原信夫	学生の人数が少ないので評価が片寄るのでは。良い評価をいただいたが素直に喜べない。	学生から分かりやすいと評価をいただいた。もっと楽しい意見も欲しかった。	居眠りの学生に注意しないこともあった。今後はもう少し厳しく指導したい。一方通行ではなく学生への質問をふやしたい。	1	1	1

2011年度後期 ライフデザイン総合学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
国際関係論	猪股祐介	学生からは全体的に高い評価を頂いたものの、授業の工夫に関しては1が2割近くに及び、課題が残った。これは授業理解に影響しており、3が3割近くを占めている。ただ学生への対応に関しては3以下の評価がなく、私語の少ない適切な環境を作れたといえる。	国際関係論は近代日本外交史を扱っている。そのため学生の自由記述では高校日本史と比較した評価が目立った。殆どは高校日本史の不備を補えてよかったという評価であったが、逆に日本史が不得意で大変であったという意見もみられた。	明治から現在の外交史を扱うため、どうしても1回当の分量が多くなる傾向がある。そのため板書も話し方も早くなる傾向があるので改めたい。また外交史をどう国際関係の理解につなげていくか、工夫が必要と感じた。	1	1	1
International Communication	奥田 純	この授業はライフと介護の学生が受講したが、ライフの学生の評価は良く、介護の学生の評価は悪かった。介護の学生でも英語の習熟度によって評価が分かれていると思われる。(1クラスで3つの授業コードに分かれているが、合算した結果でコメント)	分かりやすかったというコメントと難しいというコメントに二分された。	選択科目として英語に興味のある学生が受講することを前提に教材を選び、授業を進めてきたが、本年度の介護の学生のように必修に近い英会話として受講する場合、合わせ所が難しい。来年度は教材を変え、少しでも分かりやすい内容に変えたい。	1	1	1
Media English	奥田 純	英語の読解を主内容とする授業に対して、受講した学生は英語を余り得意とする学生ではなかったが、全体的には評価は良好であった。授業は工夫しているつもりだが、この項目の評価が余り良くなかった。	特になし。	読解に主眼を置いた選択科目で、文法的な知識をドリル式に復習しながら進める基本的な方針は変えず、教材の英文の選択を工夫したい。	1	1	1
Travel English	奥田 純	全体的に評価は良好であった。ただ、アンケートへの回答率が少人数のクラスとしては低く、額面通りには受け入れられない気がする。	自由記述を書いてくれた学生には楽しい授業だった模様。	世界の観光地が画像でも見れるDVD付きのテキストを使っているが、英語のナレーションが学生のレベルと合っていないことから、英語の学習に余力役立っていない。来年度は、テキストを変え、英語の内容で学習意欲を高める改善を行いたい。	1	1	1
観光学	西川 博	授業の中身が大枠なものから入っていくことが多いので、事例をふんだんに入れるなど工夫していきたいと思います。	授業にあまり集中していない学生に対してもっと工夫して対応していきたいと考えます。	スライドやIT技術も利用して、ウィジュアル面の強化をはかって授業効果を上げていきたいと思っています。	1	1	1
人間関係論	北村瑞穂	教員の取り組みでは、全ての項目で高い評価を得たが、学生自身の評価は、私語、メール、居眠りなどの項目で自己評価が悪かった。	「援助行動や自己のところが面白かった」「授業のペースがついていきやすかった」「後ろの方、うるさい」という意見があった。全体的に好意的な評価だった。	一部の学生の私語が授業の妨害になったことがあった。今後は、注意をしていきたい。	1	1	1
臨床心理学	奥村 和弘	アンケート結果からは、授業を通じて伝えたことのある程度は伝わったのではないかと感じている。	授業に集中している学生とそうでない学生に差が見られる。雰囲気や態度など、授業中に感じていたものがそのまま反映されている印象を受ける。	特にありません。			
社会心理学	田端拓哉	総合評価が5点満点中3.80とやや低めであった。私語への注意について特に評価が低くなっていたが(3.5)、それはそもそも私語がほぼなかったために3.「どちらでもない」という評価が多かった(6割)と考えられるため、格段に悪い結果とは考えない。	期待した内容と違っていたために身が入らなかったという感想があった。書くことが多かったため眠く寝られなかったという回答がある一方で、書くことが多かったという回答があり、受講生が記述を要する分量のバランスについての判断が難しく思われた。	期待していた内容と違っていたということをしてできるだけ回避するために、初めのほうの講義で講義の概要についていくらかふれるようにするべきかと考えられた。	1	1	1

2011年度後期 ライフデザイン総合学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の不十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
文化心理学	田端拓哉	総合評価は5点満点中4であったため、学内平均は下回るが、及第点と考える。講義中には前年度からの改善点が奏功したと実感したこともあるが、居眠りをする学生が過去に覚えがないほど多かったこともあり、対策の必要がある。	好意的な評価が半数以上であったが、配付資料に記入が必要な箇所を探しにくい、狭くて記入しづらいといった感想も散見されたため、次年度は改善する。	配付資料をよみやすく、記入しやすいものにするための対策を考える。	1	1	1
発達心理学	北村瑞穂	全ての項目で学内平均を上回った。総合評価も4.95と大変高い評価を頂いた。	「子どもの心に関心をもてた」「自分が結婚して子どもが生まれたときに役立ちそう」という意見があった。	人数が少なめだったため、コミュニケーションを取りながらの双方向的な授業ができたと思う。今後も、この方向で授業を行っていきたい。人数が多くてもこのクオリティを保っていきたい。また、学生の授業態度が良くなるように関わっていきたい。	1	1	1
家族心理学	森石加世子	学生の授業態度から予想していた以上の評価だった。	とても満足しているという意見が多く、授業態度との較差に驚いた。	具体的な事例を提示することには、困難を伴うが、工夫を高じて、学生の一層の意欲向上をはかりたい。	1	1	1
カウンセリング演習	鍛冶谷静	グループワークを多く取り入れた授業を評価してくれた学生が大半であるが、反対にそれが苦痛だった学生もいたようである。	授業環境についての好意的なコメント(私語を注意してくれた)が複数あった。学生の集中度も高かったようである。	少数であってもグループが苦手な学生への目配りに一層留意したい。	1	1	1
ピアヘルパー演習	北村瑞穂	全ての項目で学内平均を上回った。	「繰り返し問題を解くので、身についた」という意見と「同じ問題ばかりなので、色々な問題を解きたかったです」という意見があった。	検定試験対策のために、繰り返し問題を解かせたが、よく出来る学生には退屈な内容になってしまった。問題のバリエーションを増やして対応する。	1	1	1
子どもの生活と文化	長谷雄一	受講者が少人数だったので授業そのものは詳しく出来たと思う。	有効回答数が1なので特にコメントは出来ません。				

2011年度後期 介護福祉学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
こころの科学	岩本真由	全体的に高評価をいただいた印象であったが、学内平均を下回っていたので、反省すべき点だと痛感しています。	評価点の中には反映されにくい評価を聞くことができ、大いに参考となった。	学生の主体性の重視と厳しく接するバランスを再考する必要性を感じた。	1	1	1
くらしと経済	伏木真理子	やや良かったとどちらともいえないという回答で、総合評価としては学内平均を下回った。	何を言っているのか、わからへんし、楽しくなかった。	教員としては、将来実際に役に立つようこの思いがあり、チャレンジングな内容も含まれているのは良かった上で授業を進めたが、内容が高度過ぎた。計算が必要になると、また小数や分数が出てくるとやる気をなくすところがあった。学生の計算力も見た上で、やさしい計算からウォーミングアップすることも検討したい。	1	1	1
人間関係のあり方とマナー	榑原和子 富森盛史	学内平均に比して、やや厳しい評価の設問もあるが、授業内容については十分理解されており、人間関係、日常生活における作法、マナーは興味をもって理解できたと思われる。	扱った内容に興味をもてた、との記述が数名からあった。	授業でとりあげる内容、学習する目的、理解の目標等を明確に示した上で授業を進めていきたい。	1	1	1
聴覚・言語障害者の生活と支援	荻野佐代子	学生から良い評価を頂きました。これは学生が授業に興味、関心を持ち、積極的に関わってくれた証しであると思います。	わかりやすく、楽しく学べたとの声が多かった。また、聴覚障害者による特別講義の中で、得難いコミュニケーション経験をしたことが印象に残った様です。	楽しく興味を持ち続けるため、達成感を得る機会を増やせる様な工夫のある授業を心掛けたいです。	1	1	1
卒業研究	山戸隆也	総合評価を含めて、意外と良い評価が高かったが、選択科目であり、研究が好きな学生があつまってくれたからであると感じております。また性格がやさしい学生が多いので高得点だったのでしょうか。	就職の際に特に役に立った、「一つのテーマについてまとめる方法を習得できた」、「調べる方法が分からなかったがこの授業でいろいろ学べて自身がついた」、など意外と良いことを書いてくれました。	少人数(8名)だからできたという部分が大きいです。執筆のしかた(きまり)を学生がよく理解できなかった部分が少しあり、申し訳ないと思っています。学生各自が研究テーマの設定については真剣に考えました。	1	1	1
英会話(2年)	奥田 純	ライブ「International Communication」参照。	同左	同左	1	1	1
英会話	奥田 純	ライブ「International Communication」参照。	同左	同左	1	1	1
介護福祉総合	榑原和子	学生からは予想以上に良い評価を頂いた。特に、教員の取り組みと授業内容に高い評価を頂いていたので、今後も継続してゆきたい。	問題に関する中で、解剖生理を含めて講義したが、板書する絵が下手という意見が少数あった。	卒業時共通試験対策の傾向が強い科目であったが、2年間の総まとめと復習に視点を当てた授業を心掛けた。しかし、専門科目全ての振りかえのため、全く教授したことのない科目は、学生の理解度に不安があった。したがって、次年度から福祉と介護の教員で分担し改善を図る。	1	1	1
社会の理解A (人間の生活と社会・地域福祉)	山戸隆也	授業内容をもっと広い範囲から学生に内容がしっかりと伝わるテーマを増やすべきでした。視聴覚教材を的確に工夫しよう、と思いました。この科目では学生の興味、関心をより生かすべきでした。	「授業がわかりやすく、満足している」、「もう少しわかりやすくしてほしい」など意見が分かれました。教科書中心であったが、これも学生によって賛否両論があり、私の力不足を感じました。	教科書の選択を十分、学生のことを配慮して行うこと、教科書中心の授業であっても、時事的な話題をうまく用いるべきだったなど、反省材料が多いです。さらに、もっと広い範囲から話をすべきであったと思います。	1	1	1
介護の基本C (介護を必要とする人の理解)	植北康嗣	総合評価以外は、全体的にやや学内平均をしたまわる結果となった。なかでも学生の私語に対する注意や学習しやすい環境づくりをしてほしいといった評価が多く感じた。	特に、授業中に使用した視覚教材に感動したという意見が多くあった。授業は寝てしまうこともあったので工夫してほしいという意見も聞かれた。	授業環境については、講義の流れを壊さないようにここに掛けているが、指導方法を改善したい。また、授業に集中するように資料を配布を減らし、板書の機会を増やすことも考えたい。	1	1	1

2011年度後期 介護福祉学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的な改善に取り組む
介護の基本D (介護福祉士の概要とはたらく場)	山戸隆也	声の大きさ、元気さのような、いつもはできている部分で評価が一番低かった点が、大きな反省点です。他の科目ではそうした指摘は見当たらなかったが、ある時にはマイクを使用すべきだったのかもしれない。	「わりやすさ」を追求するつもりで同じことを何度も説明したことは一部には不評でした。「一生懸命でわかりやすかった」という学生の励ましがありません。「ふまじめな冗談を言う」、との指摘もあり反省しております。	介護保険、自立支援制度など介護福祉に関する仕組みなど、学生にとって分かりにくいと一般に言われている部分が多く、苦勞しました。学生一人一人を見て、また、もっと説明方法などを、図、表なども使って工夫すべきでした。			
介護の基本F (介護における安全確保と健康管理)	石川 肇	9割以上の学生が総合評価で高い評価をしてくれたので、授業の意図が伝わったように思われる。	裁判例や感染症の具体例を通じてリスクマネジメントを楽しく学べたという意見が多かったと思う。ただ板書量が多い、文字が下手との指摘を多くの学生から指摘された	板書の字が読みにくい(字が下手)との指摘があったので、丁寧な板書の心がけたい。量的な配慮も必要かと感じた。	1	1	1
コミュニケーション技術B (記録・報告・情報の共有化)	榑原和子	今回は、シラバス通りに授業が進行せずかなりの工夫を要した部分があった。しかし、総合評価が予想外に良い評価を頂いているので、学生の身近な話題を活用した授業を展開したい。	授業の進め方が早く、板書が追いつかないという意見が少数あった。	演習を取り入れ、実習に関連した授業内容も取り入れてゆきたい。	1	1	1
生活支援技術B (身じたく)	榑原和子	この授業は、講義をした後に演習という形式をメインにしてきた、学生の反応も良かったが、授業内容の2が予想外に低かったため、次回に工夫しなければならぬと考える。	授業の進め方が早く、板書が追いつかないという意見が少数あった。	視聴覚教材を積極的に取り入れているが、より一層理解しやすい資料の作成に心掛けた。	1	1	1
生活支援技術E (清潔)	吉井珠代	当該科目は、演習科目であり、今回の結果は「総合評価」と「授業内容が理解しやすい」において学内平均を上回った。学生の理解を促すために実技演習を多くして、常に学生の興味を引き出す工夫を心がけたことの評価ではないかと思う。	「説明がわかりやすく、重要ところは強調して教えてくれる」、「実技演習は楽しい」「介護技術が上達したと思う」など、好意的な意見が多い。	多くの学生が学内における介護実習室での実技演習に興味を示してくれているので、今後も実技体験の機会を多くして、技術の向上を図るとともに、学生の学習意欲を高める工夫をしたいと考えている。	1	1	1
生活支援技術F (排泄)	吉井珠代	当該科目は、生活支援技術E(清潔)に比べ低い評価となり、学内平均を若干下回った。学内平均を上回る評価は「教員の話し方」だけであったが、科目自体、排泄という介護行為の中で、最も、抵抗感のある授業であることも影響していると思う。	「説明はわかりやすいが、自分が行うには自信がない」「利用者体験をして、プライバシー保護の関心が強くなった」などの好意的な意見と、援助自体への不安が入り混じった感想が多かった。	学生の介護技術向上には反復練習が必要であるが、今年は熱心に行う学生が少ない(毎年、バイトのため急いで帰宅する学生が増えている)。改善が難しい課題である。	1	1	1
生活支援技術I (ターミナル)	植北康嗣	教員の取り組み姿勢や授業内容については、やや高い評価を受けたことは良かったが、シラバスに沿った時間進行についてはやや学内平均を下回っている。	介護場面における死とも向き合い方を深く考える機会になったとの意見が多かった。その他、この授業は、生と死を取り上げるため自身の経験と照らし合わせ重苦しく感じた記述もあった。	シラバス通りの授業内容については、学生の関心を高めるためより多くの具体例を挙げたことで、授業の進行がやや遅れたところもあったので改善したい。授業の内容については、ひとの終末期と恐れず、ともに乗り越えていけるような力をも身につけてもらえるようさらに工夫を凝らしたい。	1	1	1
生活支援技術J (介護予防とレクリエーション)	植北康嗣	すべてにおいて、学内平均を下回っている。特に話し方や聞き取りやすさについては、評価が低かった。	レクリエーションの企画・発表については充実していたとの意見が多かった。その反面介護予防については、制度についての説明をする必要があったためやや難しさを感じたという意見も複数あった	この授業は静と動がはっきりしているため、説明を必要とするところにはわかりにくさや聞きにくさもあったようである。介護予防などの説明には、資料に絵図などを用いてわかりやすくなるよう工夫したい。	1	1	1

2011年度後期 介護福祉学科

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非については、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
介護過程Ⅱ (体系)	植北康嗣	総合評価を除き、全体的に学内平均をしたまわる結果となった。主には、演習時間が長引いたこともあり、授業内容や進捗状況に課題があった。	本学の個別援助計画書や演習シートを用いて説明することが多かったので、もっと板書をしてほしいといった意見が複数あった。さらには、教員の話し方については、聞き取りにくいといった意見については、介護過程の理解が進んでいないことで関心も薄れ、眠気を誘う原因とも思える。授業方法にディスカッションの機会を作るなどの工夫をしたい。	教員の話し方や聞き取りやすさについては、良いという意見とそうでない意見に分かれている。聞き取りにくいといった意見については、介護過程の理解が進んでいないことで関心も薄れ、眠気を誘う原因とも思える。授業方法にディスカッションの機会を作るなどの工夫をしたい。	1	1	1
介護過程Ⅴ (実践的展開c)	山戸隆也	介護過程Ⅰから介護過程Ⅴという科目がある中で、基本的な事があまり理解できていない学生と、よく学んできている学生との差は大きく、テキスト中心で授業をすすめていきました。この方法は良かったようです。	教科書準拠のプリントや、去年受講した学生が作成したレポートを許可を得て配布し、説明したり、学生に検討してもらったりしたことは、予想以上に好評でした。「分かりにくかった」、という声も1名あり反省しています。	「ケアプランについてよくわかるようになった」、「事例からの説明が良く分かった」と書いてくれているが、自身の介護過程についての力量がまだまだ足りない時、教えている時や、準備の時に、反省することが多かったです。			
介護総合演習Ⅱ	吉井珠代	全般的に学内平均を上回る結果が得られた。当該科目は、介護実習と直結しており、後期は入所系実習の事前準備時期にあたり、学生の意欲も高まり積極的であった。私も必要書類の準備や事前学習の大切さなど、あらゆる場面において、学生の自主を促すような授業運営を行ったため今回の高評価につながったと思われる。	当該科目は、介護実習のための積み上げの科目であり、学生は前期に通所系施設での実習体験後の入所系施設での実習(対象者は重度要介護者になっていく)に挑むので、不安が多い反面、専門知識も増えてきて、モチベーションも高まっている様子である。授業スケジュールを各自消化していくことで着々と実習準備が進むことに、「実習に関することなので、集中して聞けた」「専門職に近づくという自覚ができた」「どんどん書類が完成していき、自信が増し、整えることが楽しくなった」と記入してくれている。	総合評価が4.40だったことから、学生の満足感がある程度得られていると判断できるため、次期の授業も同様の授業運営を図りたい。	1	1	1
介護総合演習Ⅳ	山戸隆也	24名の学生に対して、事例研究をすすめていくことは、やりがいのあることでした。「私語が多くなっている」とのことであり、24名一斉に授業しないで、一部の時間は分けるのも、一考であると思いました。	「苦労したけど楽しくできた」「社会にでて役に立ちそう」という学生からの優しい意見が目立ちます。「発表への苦手意識がなくなった」という記述もあり、プレゼンテーションも授業で強調することも大事だと感じました。	事例研究もさることながら、パソコンについての基礎が分かっていない状態で、パソコンで「事例研究」を作成することは、学生にとって容易ではなく、10時間以上、補習を希望者を募り実施してみんなができたことが、楽しい思い出です。			
発達と老化の理解B(発達と老化との関係・理解)	山野雅弘	学生からはかなりよい評価を頂いたが、板書の文字もきれいに書いてとの要望があった。	現場のことや介護職としての心がまえを教えてくれてよかったという意見が多くあった。	テキストに書いてある内容のみでなく、介護現場の実情や社会に出たときの注意点をひきつつき伝えていきたい。	1	0	1
認知症の理解A(認知症ケアの基礎)	榊原和子	Ⅱ A)とB)は学内平均より下回っていたが、総合評価で良い評価を頂いている。この差を狭めてゆきたい。認知症の基礎という側面から、重要なキーワードを幾度と繰返したつもりであったが、不十分だったと考えられる。	授業の進め方が早く、板書が追いつかないという意見が少数あった。	視聴覚教材を積極的に取り入れ、身近なテーマとしての認識を持ってもらえるようにしていきたい。	1	1	1
障害の理解B(障害者の自立支援)	石川 肇	9割以上の学生が総合評価で高い評価をしてくれたので、授業の意図が伝わったように思われる。	授業内容は難しかったが、いろいろな障害やその障害者への支援について興味を持って学んでもらえたと思う。ただ板書量が多い、文字が下手との指摘を多くの学生から指摘された	板書の字が読みにくい(字が下手)との指摘があったので、丁寧な板書の心がけたい。量的な配慮も必要かと感じた。	1	1	1

科目名	担当者	1. 学生による授業評価調査の集計結果について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容について (自由記述実施の是非についてはではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	3. 1と2の結果より今後の改善点について (アンケート実施の是非ではなく、授業に関することに限定して記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない場合は「0」(ゼロ)を入力してください		
					授業の十分な点が明確になった	授業改善への意識が高まった	授業の具体的改善に取り組む
こころからだのしくみD(入浴・清潔)	吉井珠代	全般的に学内平均を上回る結果がでた。当該科目は医学、看護など覚えなければならぬ専門知識が多く、私自身、沢山のことを伝えようと熱が入るが、学生は手ごたえを感じてくれているようである。	「説明がわかりやすく、ビデオも参考になる」「新しいことを覚えるのは大変だが、知識が増えて嬉しい」など、好意的な意見が多い。	「総合評価」が4.50と高かった(例年、医学知識は難易度が高く、学生からはあまり良い評価が得られなかった)が、今年は珍しい結果となり戸惑いがある。しかし、学習成果・成績は、今年も例年のように個人差が大きくて、授業の狙いが達成できたとは言え難く、説明方法を改善していきたい。	1	1	1
在宅保育 (1・2・3組) (4・5・6組)	真下摩里	学生からは高い評価を得ることができた。板書を工夫したり、DVDやビデオの視聴、在宅での遊びの実技などを取り入れ授業内容を飽きないように工夫したのが、高い評価を得られたのではないと思う。しかし、自己評価に関する項目では少し疑問に思うところもある。	ベビーシッターとはどのようなものか理解できていなかったが、ビデオやDVDなども通して仕事の内容をより詳しく知ることができて良かったという意見が多く、興味がわきやってみようという意見も目立ち在宅保育の理解が深まったと評価している。	講義だけでなく、ビデオやDVD実技などを取り入れることで、興味や理解を深めているようなので今後もこれらを取り入れていきたいと思っている。また、もう少し授業に集中するように今後小テストなども取り入れていこうと考えている。	1	1	1
医療事務総論	倉戸啓子	授業での話し方やスピード、授業の工夫などの点で「どちらでもない」の評価が多い。内容の理解度についても「どちらでもない」評価が多く、授業自体への満足度は高くない。	授業内容は工夫されていてわかりやすかったという感想がある一方で、内容が難しい、授業についていけないという感想や、また再受講でよく良かったという感想もあった。	教える内容を整理して減らし製本したプリント集を作るなどの工夫をしてきたが、わからない、ついていけないという学生はあまり減っていない。ただ授業内容のこれ以上の削減は難しい。	1	0	0
医療事務演習	倉戸啓子	概ねどの項目も4、5の評価が多いが、一部3以下の評価もあった。	レセプトを最初から作成することで力がついたらと思う。わからないところは個別に教えてもらえた、質問もしやすく良かったという感想があった。	座席位置によって巡回しにくい人ができてしまったため、今後はこの点に考慮して座席配置できるようにする。	0	1	1

2011 年度前期「授業についてのアンケート」実施要領

2011 年度前期から新しい方式での授業についてのアンケート調査を実施いたします。実施に際しましては、下記の手順に従ってご進行下さいますようお願い申し上げます。従来のマークシート方式は廃止し、主に携帯電話を利用し補足的にパソコンを使用してのアンケート実施となります。実施時間の目安は 15 分です。

授業コードの確認

添付の「授業コード一覧」から、担当科目の授業コードをご確認下さい。同じ科目であっても、曜日と時限でコードが異なる場合があります。ご注意ください。

水 2	2211301	文化と人権	曾和 信一
木 1	2211502	情報倫理	大野 麻子
木 2	2211503	情報倫理	大野 麻子
水 4	2211701	自分探しの心理学	北村 瑞穂
月 2	2211702	自分探しの心理学	北村 瑞穂

* UNIPA で使用している7桁のコードを使用しておりますので、UNIPA の「授業関連 → 出欠管理」からも授業コードを確認することが可能です。

但し、後述の自由記述アンケートのために用意します封筒にも授業コードを表示しています。

授業コードの告知

正確を期するため授業コードを板書して下さい。(コードを間違えて告知した場合は、正しいコードで再実施し、コード入力ミスがあった旨を事務室までお申し出下さい。)

アンケートの実施

形態電話を使用する場合

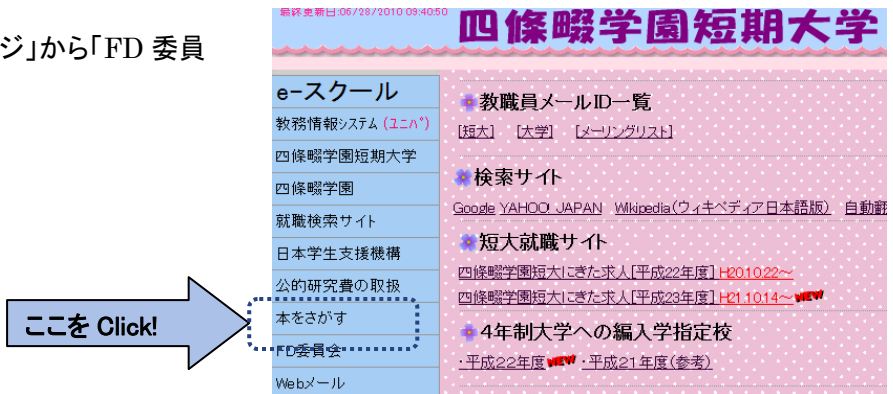
学生に携帯電話を用意させ、すでにブックマークしてある「授業についてのアンケート」のページを開かせ回答させて下さい。

学生からの質問への対応

- 「ブックマークを消してしまった」
 - 「所定の自由記述用紙」(後述)に印字しています QR コードを読み取らせて下さい。
- 「携帯の電池が切れた」
 - 友だちの携帯を借りるようご指示下さい。
- 「ネット接続できない携帯なので、毎回は友だちに借りることができない」
 - 短大の学内リンクのページから FD 委員会のページに行き、授業についてのアンケートを実施するようご指示下さい。授業コードは、UNIPA の「時間割」のページなどから確認ができることも併せてお伝え下さい。
- 「授業コードを間違えて送信した」
 - 正しいコードで再度回答させて下さい。

パソコンを使用して実施する場合（パソコン教室を使用する授業）

- ① 短期大学の「学内リンクのページ」から「FD 委員会」をクリックして下さい。



- ② 2つめの「授業についてのアンケート調査」の水色のボタンをクリックしてアンケートを実施させて下さい。

2. 授業についてのアンケート調査（個別の授業の調査）


前期末と後期末に、それぞれの授業について、皆様のご意見をうかがいます。皆さんから頂いたご意見は集計され、授業を担当している先生に届きます。皆さんの声が個々の授業を、よりよいものに変えていきます。

アンケートは授業中に、パソコンか携帯電話で実施しますので、先生の指示にしたがって下さい。このアンケートは複数の授業で行いますので、ブックマークして下さい。

パソコンから実施するには、ココをクリック!

[授業についてのアンケート](#)

携帯電話から実施するには、QRコードを読み込んで、ブックマークを!!



※1つめの「入学時動機調査」、3つめの「授業についての満足度調査」は今回対象外ですのでお間違いないようお願い致します。

学生からの質問への対応

- ◇ 「授業コードを間違えて送信した」
 - 正しいコードで再度回答させて下さい。

自由記述式アンケートの実施

「所定の自由記述用紙」を学生に配布し、実施ください。下記のように、黒板やホワイトボード等に、学生に尋ねたいことを記載して頂いても結構です。

(例)

- 「授業で分かりにくかった部分は？」、「課題の内容と量は適切だったか？」
- 「学生の私語への注意は適切だったか？」、「興味をもった授業内容は？」

学生からのコメントはお持ち帰り頂き、授業改善に活用して下さい。

※ 後日「自己点検報告書」においてこの自由記述の内容についてもコメントを頂きます。

自己点検報告書の提出

後日、アンケートの集計結果をお届けします。このアンケート集計結果と自由記述式アンケートの内容を整理し、授業改善に活用頂くとともに、自己点検報告書として FD 委員会にご提出頂きます。

なお、自己点検報告書は、FD 委員会や学科で相互に検討を加える資料として使用する場合があります。またインターネット等で公開し、閲覧できるようにしております。

別紙2 自由記述用紙

【自由記述用紙】この授業に対して、“こういうところに満足した”とか、“こういうところが不満であった”とか、“このようにして欲しかった”など、今後先生方が授業をされる上で、ご参考にして頂けるような皆さんの率直な意見を、できるだけ具体的に記述して下さい。

このアンケートに関する皆さんのプライバシーは完全に保護されます。

ご協力有難うございました。

- 授業アンケートに回答するには、携帯で右の QR コードを読み取り、アンケートサイトにアクセスして下さい。
(ブックマークに登録しておいて下さい！)
- パソコンで回答する場合は担当教員の指示に従ってアクセスして下さい。



「教員による自己点検報告書」一学生による授業アンケート調査結果を受けて一
 ファイル名は「年度/〇期/担当者名」で保存して下さい。例:「2011前期四条花子」
 データが紛失した場合に備えてバックアップをお願いします。
 コーケシートは複数作らず、このシートのみ記載して下さい。

年度	前期・後期	授業 コード	科目名	担当者	1. 学生による授業評価調 査の集計結果について (アンケート実施の是非では なく、授業に関することに限 定して記述して下さい)	2. 学生の自由記述の内容 について (自由記述実施の是非につ いてではなく、授業に関する ことに限定して記述して下さ い)	3. 1と2の結果より 今後の改善点について (アンケート実施の是非ではな く、授業に関することに限定し て記述して下さい)	当てはまる場合は、セルに「1」を、あてはまらない 場合は「0」(ゼロ)を入力してください	授業の不十分 な点が明確に	授業改善への 意識が高まった	授業の具体的 改善に取り組む
2011	前期	2100000	授業評価	四条花子	学生からは予想以上によい 評価を頂いた。しかし授業内 容の理解が学内平均を下 回っており...	授業の進め方が早く、板書 が追いつかないという意見が 少数あった。	授業の理解度が悪いため、内 容を基礎的なものに変更し、理 解度アップに努める...	1	1	1	
2011	前期										
2011	前期										

例

ご担当科
目の自己
点検報告
書を順次ご
入力下さ
い

授業評価報告書 2011

—よりよい授業への改善を目指して—

©2012 年 11 月発行

編集 四條畷学園短期大学 FD 委員会

FD 委員長 奥田 純

FD 委員 石村哲代 仁平章子 石川 肇 三木大史
鍛冶谷 静 北村瑞穂

発行 四條畷学園短期大学
〒574-0001
大阪府大東市学園町 6-45
Tel : 072-876-1321